

第3回くらしと生活設計に関する調査 報告書

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査内容	3
3. 調査対象	3
4. 抽出方法	3
5. 調査方法	3
6. 調査期間	3
7. 回収状況	4
8. 回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 未既婚	5
(4) 本人および配偶者の健康状態	5
(5) 本人・父母・配偶者の最終学歴	6
(6) 世帯主からみた続き柄	6
(7) 住居および生計をともにしている家族人数	6
(8) 子ども人数（養子・継子・非同居含む）	7
(9) 子どもの状況	7
(10) 現在同居者	9
9. この報告書を読む際の注意	9
II 結果の概要	11
1. 消費生活について	13
(1) 買い物について	13
2. 小学生の頃のこと	16
(1) 高学年の頃の家族との外食頻度	16
(2) 高学年の頃の家庭の収入状況	16
(3) 高学年の頃の父親と母親の職業	17
(4) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額	18
(5) 高学年の頃の家の仕事の手伝い	18
(6) 小学生の頃の両親の公営競技等	19
3. 金融の知識	20
(1) 暮らしに役立つ金融知識・情報	20
(2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品	21

(3) 金利の計算	21
4. クレジットカードについて	22
(1) クレジットカードに対する意見	22
(2) 自分名義クレジットカードの保有状況	23
(3) 自分名義クレジットカードの利用状況	24
(4) 自分名義クレジットカードの利用金額	24
(5) 年間利用額の多い自分名義クレジットカードの年会費（税抜き）	25
(6) 自分名義クレジットカード選択理由	26
(7) 自分名義クレジットカードの利用先	27
(8) 自分名義クレジットカードを使い始めてからの生活の変化	28
5. カードローン・消費者金融について	29
(1) カードローン・消費者金融に対する意見	29
(2) カードローン・消費者金融からの借入経験	30
(3) カードローン・消費者金融から借入したことによる生活の変化	31
(4) カードローン・消費者金融から借入した理由	32
(5) 現在のカードローンや消費者金融からの借入	32
6. マイナス金利政策について	34
(1) 日本銀行のマイナス金利政策導入について	34
(2) マイナス金利政策に対する不安感	35
(3) マイナス金利導入後の金融資産の運用先	37
(4) マイナス金利導入前後の金融資産	38
(5) マイナス金利導入後に運用先を変更した金融資産の総額	39
(6) マイナス金利導入後の住宅ローン	39
7. ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）について	40
(1) ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の認知度	40
(2) ジュニアNISA口座の開設経験	41
(3) 回答者名義のNISA口座について	42
8. 就業状況	44
(1) 現在就業状況（本人・配偶者）	44
(2) 就業者の雇用形態（本人・配偶者）	45
(3) 就業者の業種（本人・配偶者）	46
(4) 就業者の職種（本人・配偶者）	47
(5) 就業者の就業先従業員数（本人・配偶者）	48
(6) 就業者の就労時間（本人・配偶者）	49
(7) 就業者の就労時期（本人・配偶者）	50

(8) 就業者の仕事に対する満足度（本人）	51
9. 収入と支出、社会保険について	52
(1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）	52
(2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）	53
(3) 昨年ひと月あたりの世帯支出と住宅ローン返済額	55
(4) 家計の収支状況と保有金融資産残高	56
10. 住居について	57
(1) 住居形態	57
(2) 取得経路・取得時期	58
(4) 借入金融機関・金利タイプ・借入金利	60
(5) 住居構造・築年数・敷地面積・床面積	61
(6) 持ち家の3年後の資産価値予測（持ち家居住者）	63
(7) ひと月の家賃（賃貸居住者）	64
11. 金融機関の利用状況	65
(1) 預入の状況	65
(2) 預金等残高上位2機関の自宅からの距離	66
(3) 自宅から最も近い金融機関	67
(4) A T M設置コンビニエンスストアの自宅からの距離	68
(5) コンビニエンスストアのA T Mで利用できる金融機関	69
(6) コンビニエンスストア以外に設置されたA T Mの自宅からの距離	70
(7) 預金等残高上位2機関の営業担当者との接触状況	71
(8) 預金等残高上位2機関での定期預金契約状況	73
(9) 預金等残高上位2機関での利用取引・商品・サービス内容	77
(10) 預金等残高上位2機関で提供を受けている割引・優遇サービス内容	79
III 調査票（付：単純集計結果）	81

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、個人の生活設計や暮らしむきに関する考え方を調査することにより、個人金融に関する調査・研究に役立てることを目的とする。

2. 調査内容

調査項目は次のとおりである。なお、具体的な質問内容については、「Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）」を参照。

- (1) 消費生活について
- (2) 小学生の頃のことについて
- (3) 金融の知識について
- (4) クレジットカードについて
- (5) カードローン・消費者金融について
- (6) マイナス金利政策について
- (7) ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）について
- (8) 就業状況
- (9) 収入と支出、社会保険について
- (10) 住居について
- (11) 金融機関の利用状況

3. 調査対象

全国の20歳以上の男女個人5,000人

4. 抽出方法

- (1) 層化二段無作為抽出法により全国から250の調査地点を選び、各調査地点から20歳以上の個人を無作為に20人選ぶことによって、計5,000の調査対象者（標本）を抽出した。
- (2) 標本抽出は、原則住民基本台帳を使用し、住民基本台帳が閲覧できなかった地点については住宅地図により抽出した。

5. 調査方法

調査員が抽出した調査対象者宅を訪問し、調査票を持参して協力を依頼した。記入済調査票の回収にあたっては、対象者に「調査員による訪問」ないし「郵送」のどちらかを選んで提出してもらった。

6. 調査期間

2016年11月18日（金）～12月12日（月）

7. 回収状況

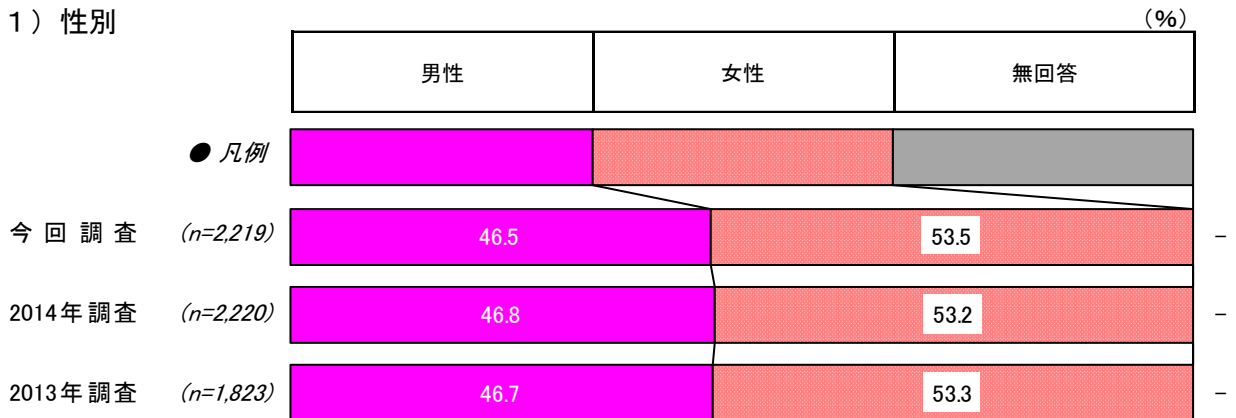
有効回収数（回収率） 2,219 票（44.4%）

〈地域別〉

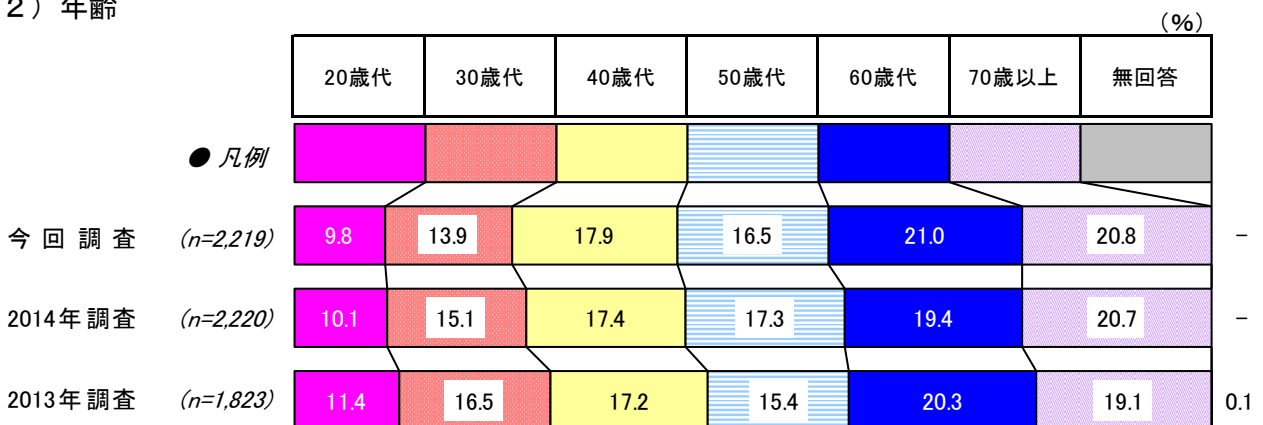
	抽出数	回収数	回収率
全 国	5,000	2,219	44.4%
北海道	220	106	48.2%
東 北	340	190	55.9%
関 東	1,800	706	39.2%
北 陸	240	147	61.3%
中 部	580	286	49.3%
近 畿	820	283	34.5%
中 国	300	158	52.7%
四 国	140	68	48.6%
九 州	560	275	49.1%

8. 回答者の属性

(1) 性別

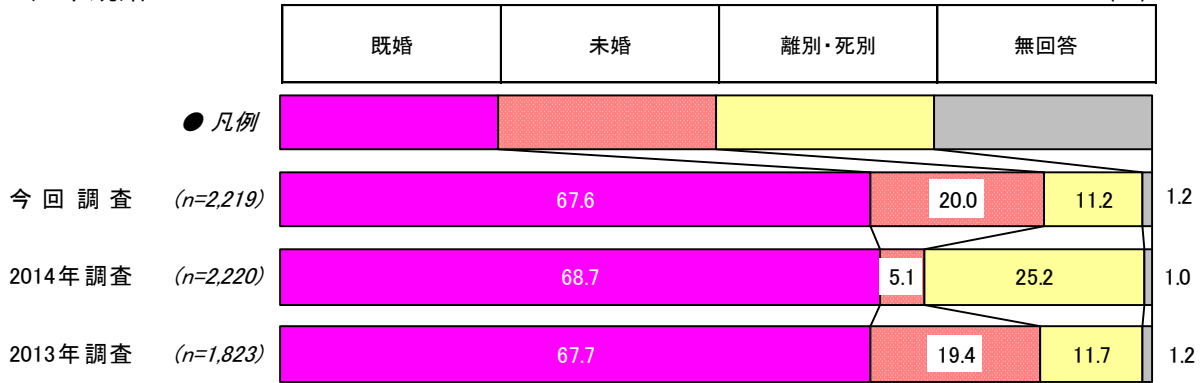


(2) 年齢



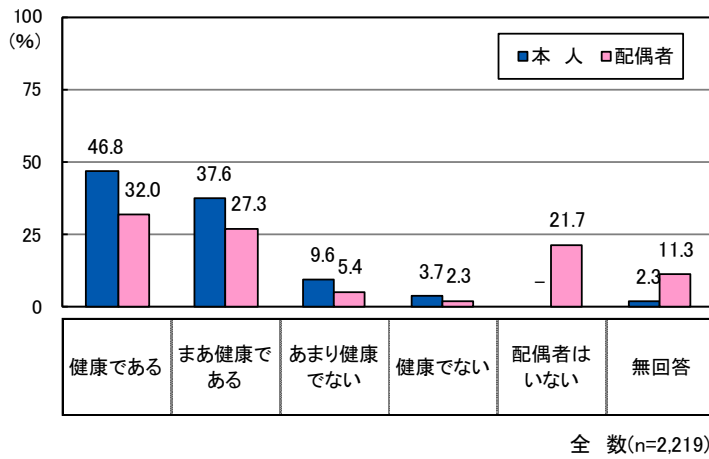
(3) 未既婚

(%)

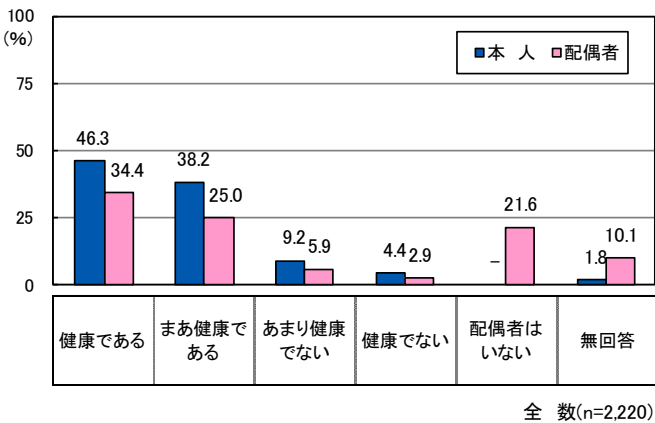


(4) 本人および配偶者の健康状態

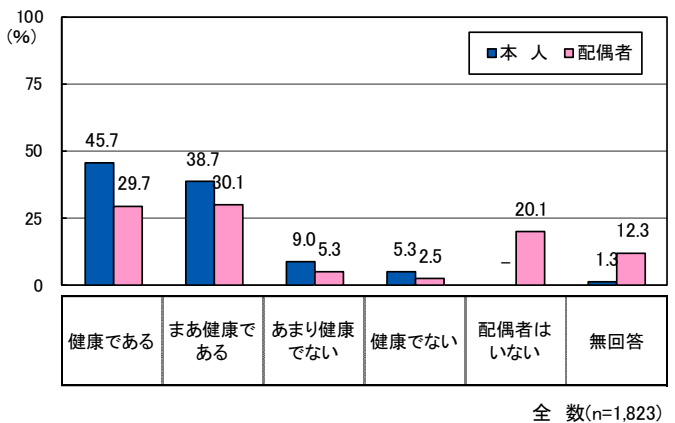
【今回調査】



【2014年調査】



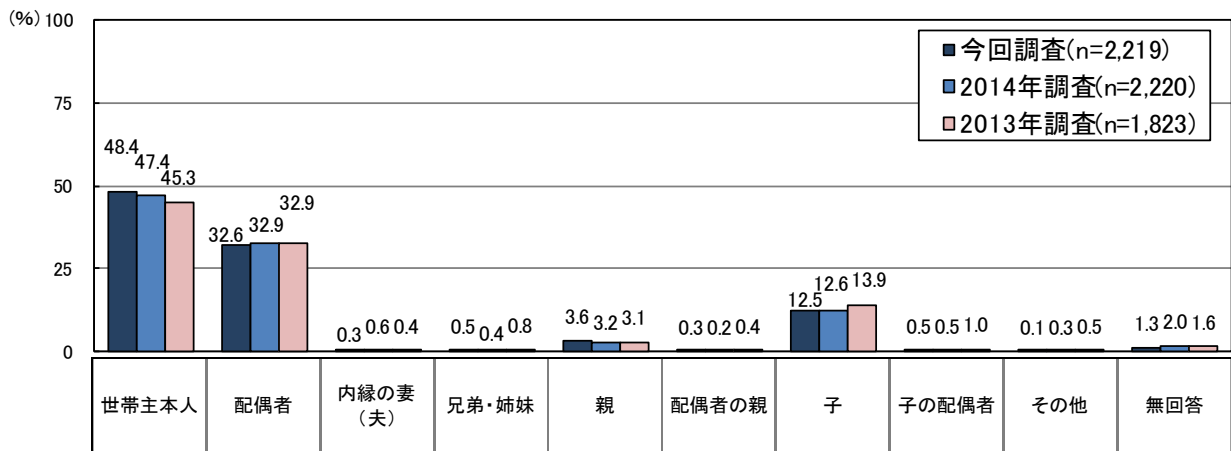
【2013年調査】



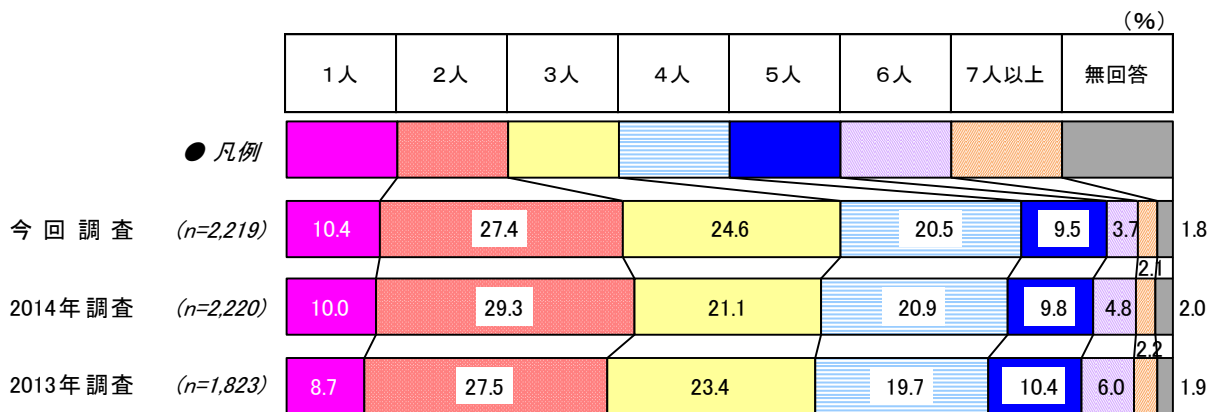
(5) 本人・父母・配偶者の最終学歴

		中学校(旧制小・高等小)	高等学校(旧制中・旧制高女)	専修学校・各種学校	短大・高等専門学校	大学・大学院(文系)	大学・大学院(理系)	その他	わからない	無回答
本人	今回調査 (n=2,219)	10.6	40.4	9.0	12.5	15.9	7.5	0.1	0.5	3.5
	2014年調査 (n=2,220)	12.0	41.2	8.5	12.0	14.1	7.5	0.1	0.3	4.3
	2013年調査 (n=1,823)	13.1	42.6	8.2	12.3	13.2	6.9	0.7	0.6	2.4
本人の父親	今回調査 (n=2,219)	31.2	28.9	2.7	2.7	9.9	3.9	-	12.9	7.9
	2014年調査 (n=2,220)	32.9	27.1	2.8	2.4	8.5	4.2	0.2	13.0	8.9
	2013年調査 (n=1,823)	34.4	28.6	2.0	2.5	9.1	4.2	0.4	11.1	7.7
本人の母親	今回調査 (n=2,219)	29.0	36.3	3.3	7.6	3.2	0.4	0.2	12.0	8.1
	2014年調査 (n=2,220)	31.7	34.3	3.5	6.7	3.0	0.7	0.1	11.1	8.8
	2013年調査 (n=1,823)	34.0	32.4	3.3	7.5	3.6	0.5	0.4	10.3	8.0
配偶者(離別・死別の場合は元配偶者を含む)	今回調査 (n=2,219)	8.1	29.8	6.3	8.8	12.5	5.9	0.1	1.0	27.4
	2014年調査 (n=2,220)	10.1	33.1	5.7	8.2	10.4	5.7	0.2	1.4	25.1
	2013年調査 (n=1,457)	10.7	37.1	5.8	9.0	13.0	7.7	0.3	1.2	15.3

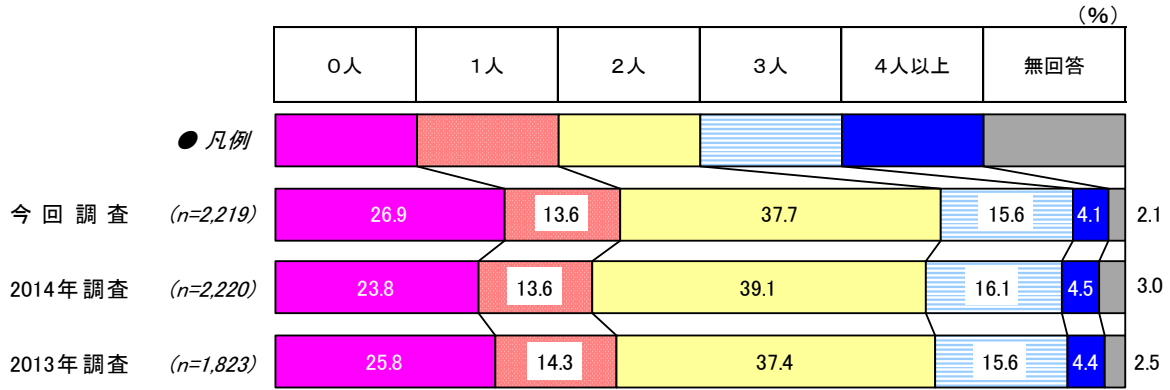
(6) 世帯主からみた続き柄



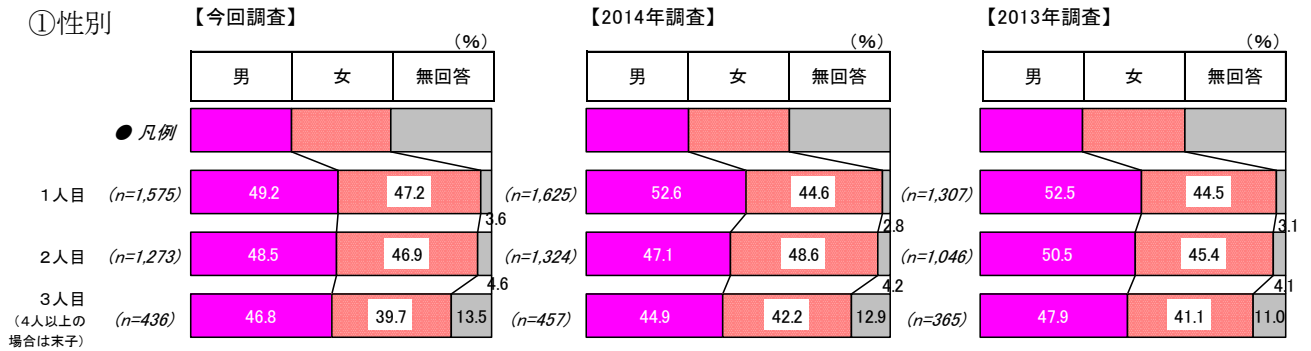
(7) 住居および生計をともにしている家族人数



(8) 子ども人数 (養子・継子・非同居含む)



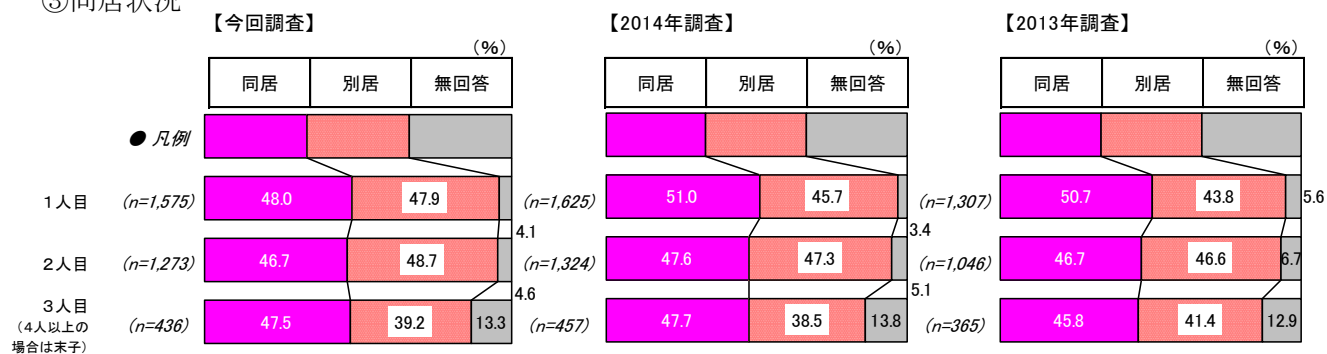
(9) 子どもの状況



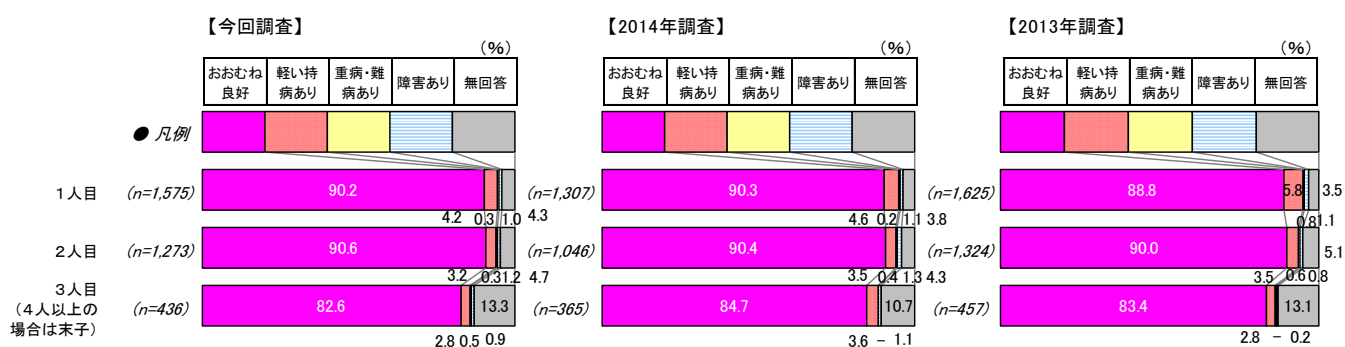
②出生年 (西暦)

		(%)							
		1950年代以前	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	無回答
1人目	今回調査 (n=1,575)	3.5	12.3	20.1	16.4	14.9	13.4	8.4	11.1
	2014年調査 (n=1,625)	5.5	13.2	17.2	13.9	16.1	14.0	5.8	14.2
	2013年調査 (n=1,307)	4.7	11.1	18.5	14.2	15.5	13.8	5.3	16.8
2人目	今回調査 (n=1,273)	2.1	9.9	19.6	20.5	14.3	13.4	8.5	11.7
	2014年調査 (n=1,324)	2.6	11.8	18.6	15.9	14.7	15.1	6.0	15.3
	2013年調査 (n=1,046)	3.5	10.2	19.1	15.2	16.3	13.4	4.5	17.8
3人目 (4人以上の場合は末子)	今回調査 (n=436)	0.7	3.7	15.6	20.0	14.9	12.8	11.2	21.1
	2014年調査 (n=457)	3.1	5.9	13.8	18.6	15.8	13.8	6.3	22.8
	2013年調査 (n=365)	4.1	5.5	13.7	17.0	15.1	14.2	6.0	24.4

③同居状況



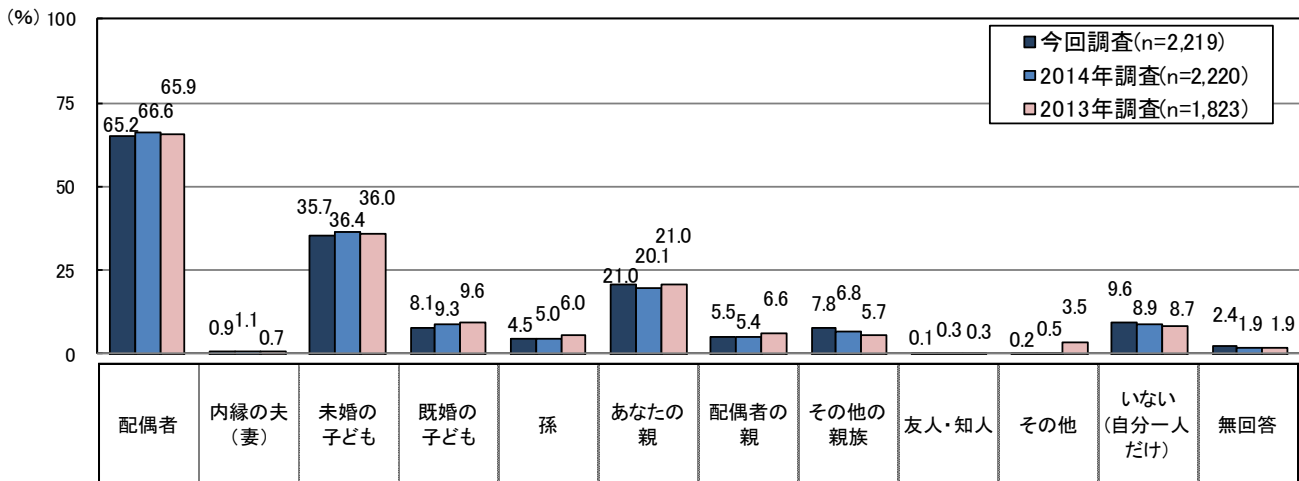
④健康状態



⑤学校等教育機関での在籍状況

		(%)									
		認可保育園	認可外保育施設(認証保育園、ベビーホテル等)	幼稚園	小中高校(国公立)	小中高校(私立)	短大・高専	大学・大学院	その他教育機関	該当なし	無回答
1人目	今回調査 (n=1,575)	2.7	0.3	2.7	14.6	2.7	0.8	16.8	1.2	35.0	23.2
	2014年調査 (n=1,625)	3.1	0.4	2.2	16.6	3.7	1.3	13.2	1.2	37.5	20.9
	2013年調査 (n=1,307)	2.8	0.2	2.4	15.1	2.5	1.0	10.9	1.4	37.1	26.5
2人目	今回調査 (n=1,273)	3.2	0.3	2.0	14.5	2.4	1.1	14.5	0.7	36.2	25.2
	2014年調査 (n=1,324)	2.7	-	3.1	17.6	3.1	0.8	11.3	1.2	36.8	23.3
	2013年調査 (n=1,046)	3.1	0.3	2.1	16.9	2.4	1.3	10.5	0.8	34.0	28.6
3人目 (4人以上の場合は末子)	今回調査 (n=436)	5.7	0.5	1.6	14.9	1.8	0.7	8.7	1.1	35.3	29.6
	2014年調査 (n=457)	2.4	0.7	2.0	19.9	2.6	0.9	7.7	1.8	33.9	28.2
	2013年調査 (n=365)	3.8	0.3	3.0	16.4	3.0	1.1	7.7	1.6	30.7	32.3

(10) 現在同居者



9. この報告書を読む際の注意

- (1) 図表中の n とは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数 (2,219 人)、または分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は、小数点第 2 位で四捨五入して、小数点第 1 位までを表示した。四捨五入したため、合計値が 100% と一致しないことがある。
- (3) 「複数回答」と表示のある設問は、2 つ以上の複数回答を認めているため、回答計は 100% を超える。
- (4) 図表中“—”は、回答者が皆無であることを、“0.0”は 0.05 未満の数値であったことを示す。
- (5) 回答者数が 50 人より少ない場合は傾向をみるにとどめ、コメントは百分比でなく人数を紹介している。
- (6) 前々回調査 (2013 年 3 月実施) 及び前回調査 (2014 年 8 月実施) と同一設問については、図表中に「2013 年調査」「2014 年調査」として数値を紹介している。

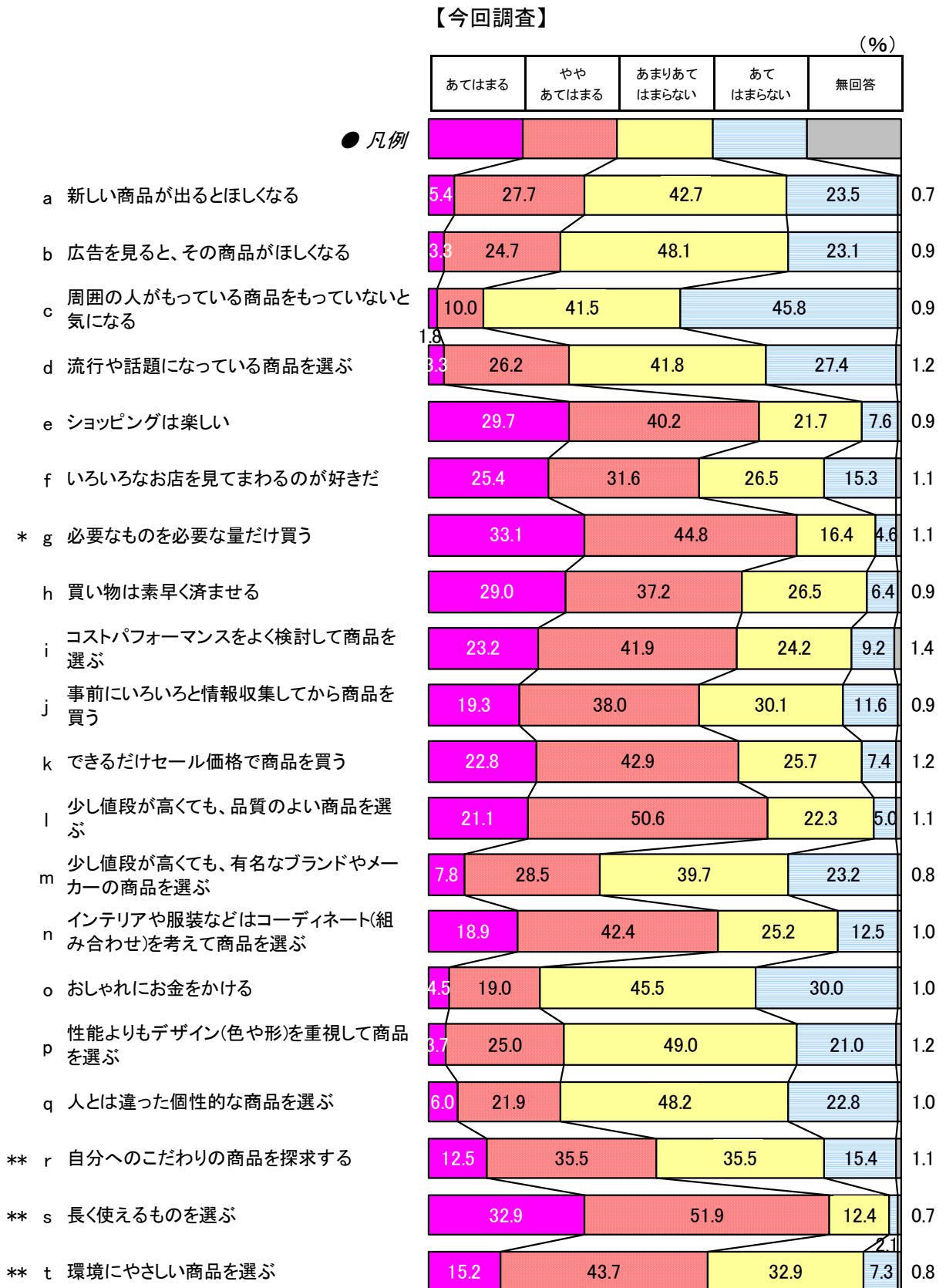
II 結果の概要

1. 消費生活について

(1) 買い物について

- 買い物についての考え方や行動 20 項目について、回答者にあてはまるかどうかを聞いた(図表 1-1)。
- 『あてはまる』(「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計)という回答者が最も多かったのは、今回調査での新規項目である“長く使えるものを選ぶ”の、84.8%であった。
- “必要なものを必要な量だけ買う”(『あてはまる』77.9%)、“少し値段が高くても、品質のよい商品を選ぶ”(同 71.7%)は、それぞれ7割以上であった。
- “ショッピングは楽しい”(『あてはまる』69.9%)、“買い物は素早く済ませる”(同 66.2%)、“できるだけセール価格で商品を買う”(同 65.7%)、“コストパフォーマンスをよく検討して商品を選ぶ”(同 65.1%)、“インテリアや服装などはコーディネート(組み合わせ)を考えて商品を選ぶ”(同 61.3%)は、『あてはまる』が6割台を占めた。
- 一方、“周囲の人がもっている商品をもっていないと気になる”では、『あてはまらない』(「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計)が87.3%と、最も多かった。
- また、“おしゃれにお金をかける”(『あてはまらない』計 75.5%)、“広告を見ると、その商品がほしくなる”(同 71.2%)、“人とは違った個性的な商品を選ぶ”(同 71.0%)、“性能よりもデザイン(色や形)を重視して商品を選ぶ”(70.0%)なども、『あてはまらない』が7割以上を占めた。

(図表 1-1) 買い物について (問 1)

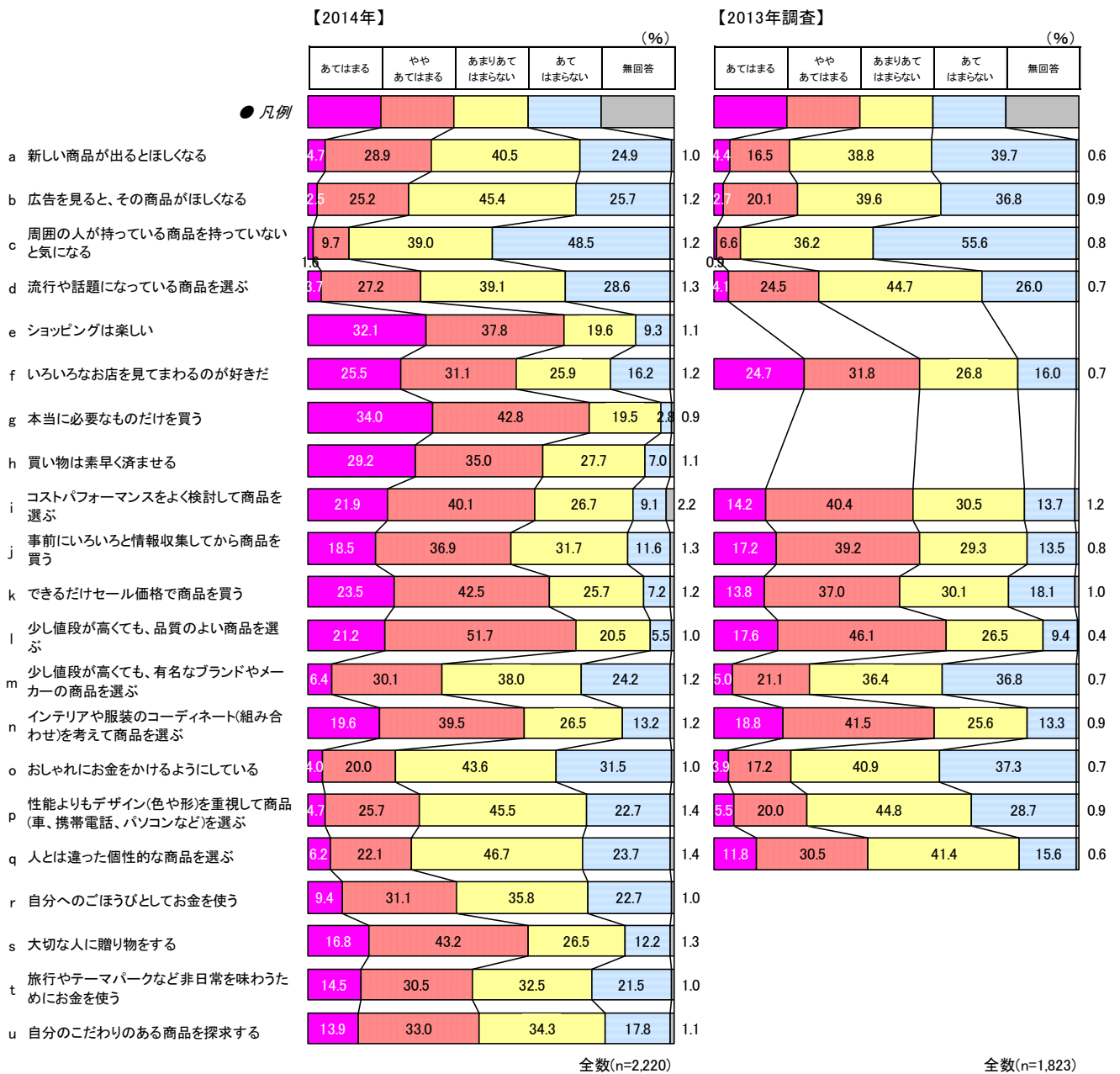


全数(n=2,219)

* 前回調査と表記内容が若干違う項目

** 今回調査の新規項目

(図表1-2) 買い物について (2014年調査・2013年調査)

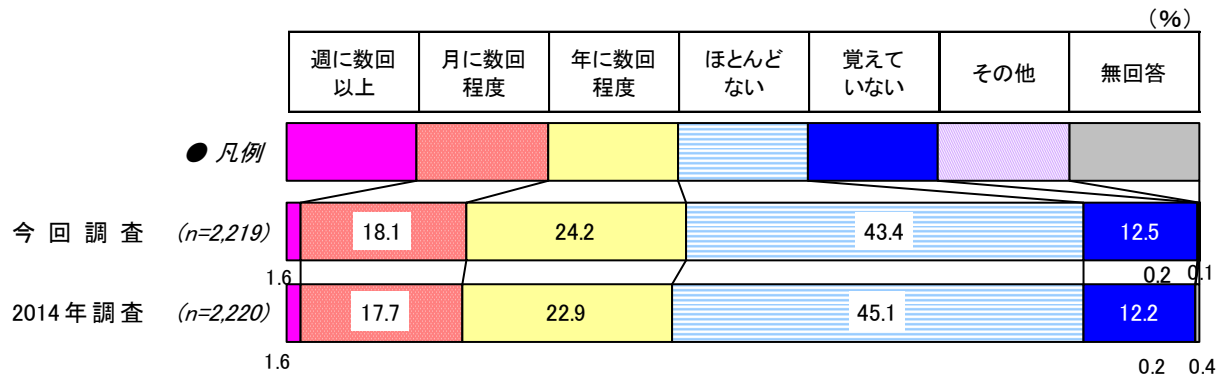


2. 小学生の頃のこと

(1) 高学年の頃の家族との外食頻度

- 小学校高学年の頃の家族との外食頻度は(図表 2-1)、「ほとんどない」が 43.4%で最も多かった。以下、「年に数回程度」(24.2%)、「月に数回程度」(18.1%)、「週に数回以上」(1.6%)の順となっており、頻度が高くなるにつれて比率は低くなる。

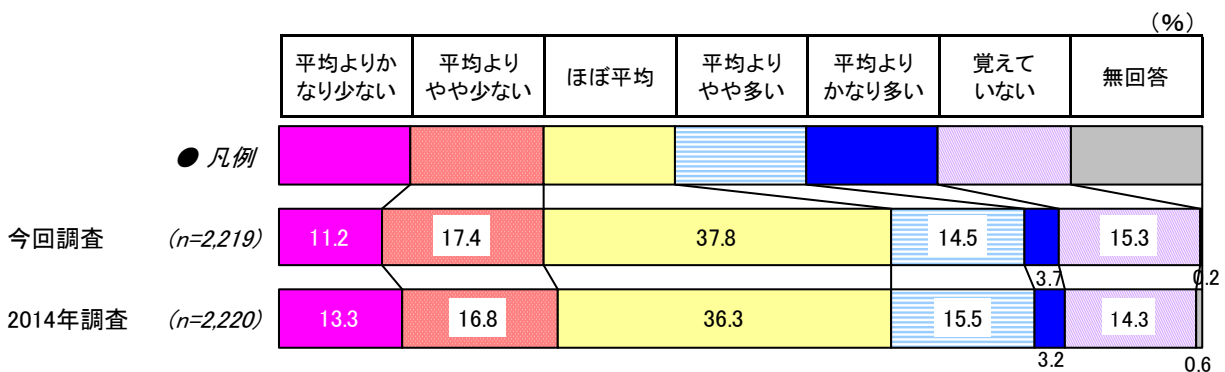
(図表 2-1) 高学年の頃の家族との外食頻度 (問2)



(2) 高学年の頃の家庭の収入状況

- 小学校高学年の頃の家庭の収入状況は(図表 2-2)、「ほぼ平均」が 37.8%で最も多かった。以下、『平均より少ない』(「平均よりかなり少ない」と「平均よりやや少ない」の合計)は 28.6%で、『平均より多い』(「平均よりかなり多い」と「平均よりやや多い」の合計)の 18.2%を上回った。

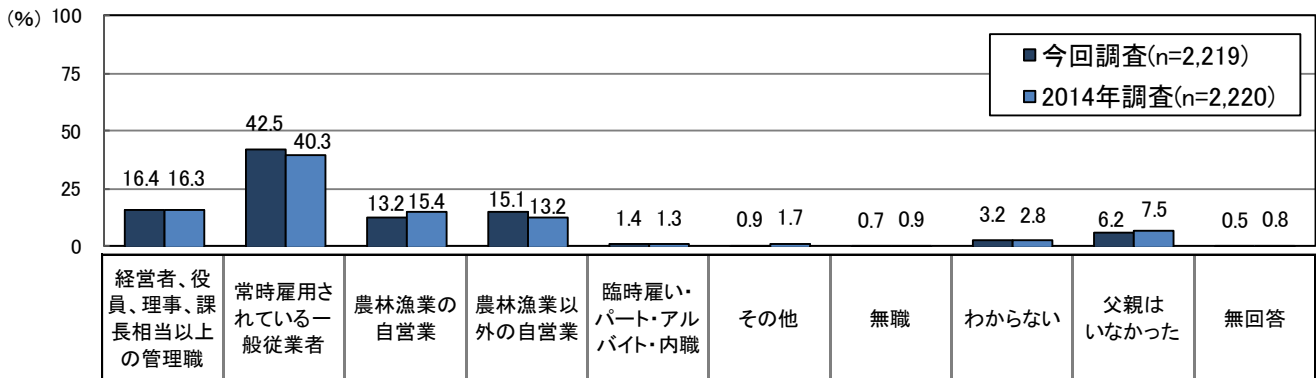
(図表 2-2) 高学年の頃の家庭の収入状況 (問3)



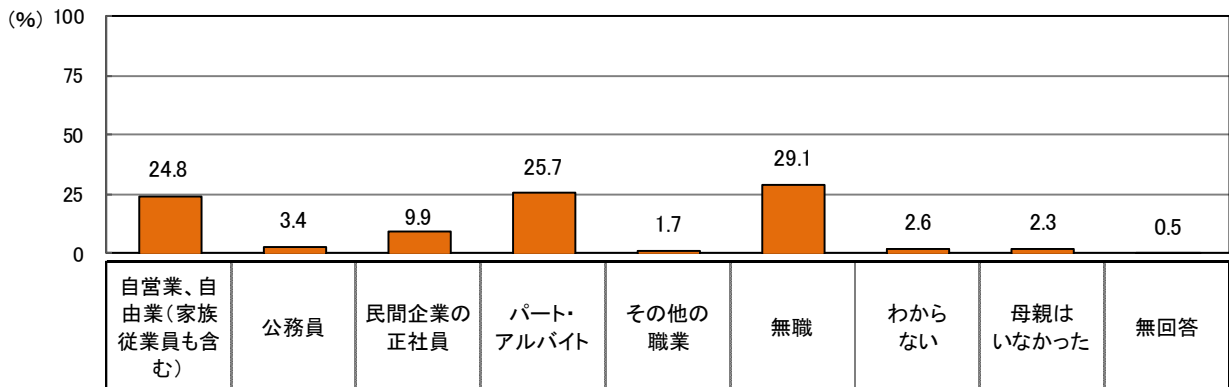
(3) 高学年の頃の父親と母親の職業

- 小学校高学年の頃の父親の職業は(図表 2-3)、「常時雇用されている一般従業者(公務員を含む)」が42.5%で最も多かった。以下、「経営者、役員、理事、課長相当以上の管理職(公務員を含む)」(16.4%)、「農林漁業の自営業」(13.2%)、「農林漁業以外の自営業」(15.1%)の順となった。
- 一方、母親の職業については(図表 2-4)、「無職」が29.1%で最も多かった。次いで、「パート・アルバイト」(25.7%)と「自営業、自由業(家族従業員も含む)」(24.8%)が、ともに2割台で続いた。

(図表 2-3) 高学年の頃の父親の職業 (問4)



(図表 2-4) 高学年の頃の母親の職業 (問5)

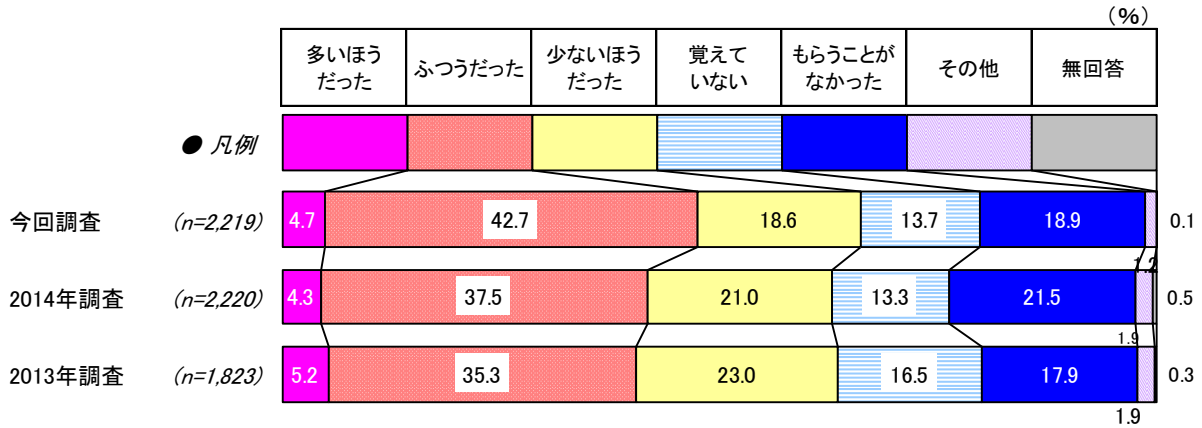


全数(n=2,219)

(4) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額

- 小学校高学年の頃の両親からもらうこづかいやプレゼントの金額は(図表 2-5)、「ふつうだった」が 42.7%で最も多かった。「少ないほうだった」は 18.6%で、「多いほうだった」の 4.7%を上回った。また、「もらうことがなかった」という回答者は、18.9%であった。

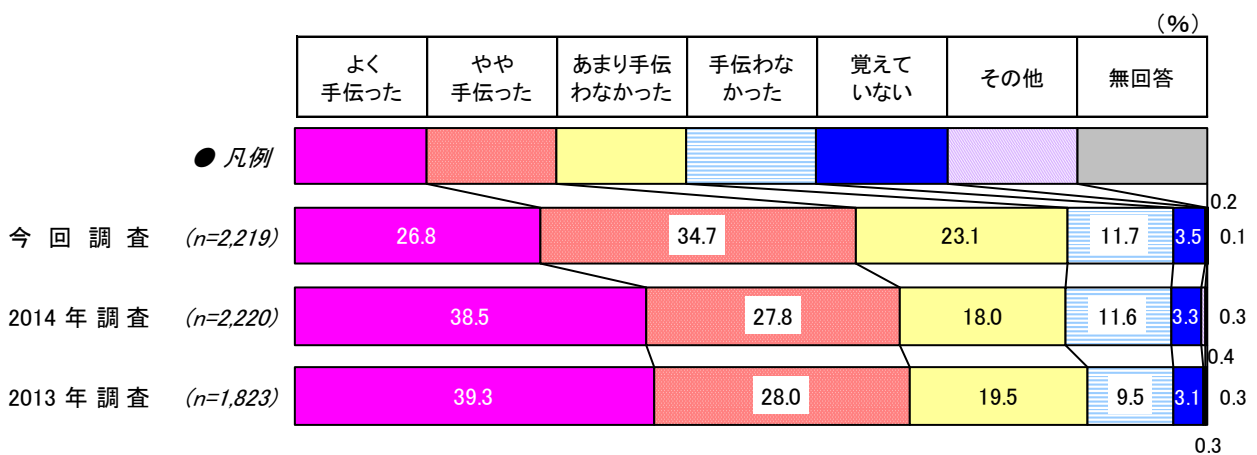
(図表 2-5) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額 (問 6)



(5) 高学年の頃の家の手伝い

- 小学校高学年の頃、家の仕事(料理、洗濯、掃除、おつかいなど)については(図表 2-6)、「手伝った」が 26.8%で、「やや手伝った」(34.7%)を合わせると、6割以上が『手伝った』と回答した。
- 一方、「あまり手伝わなかった」は 23.1%であり、「手伝わなかった」(11.7%)を合わせると、『手伝わなかった』という回答者は3割台であった。

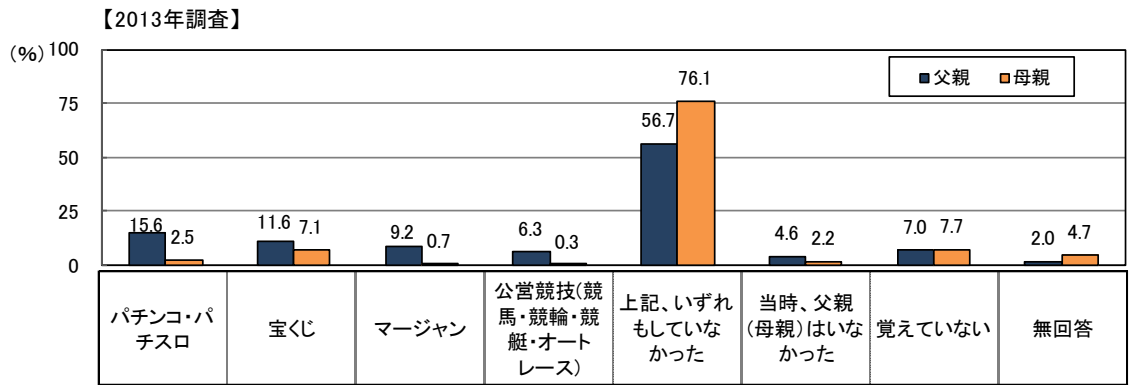
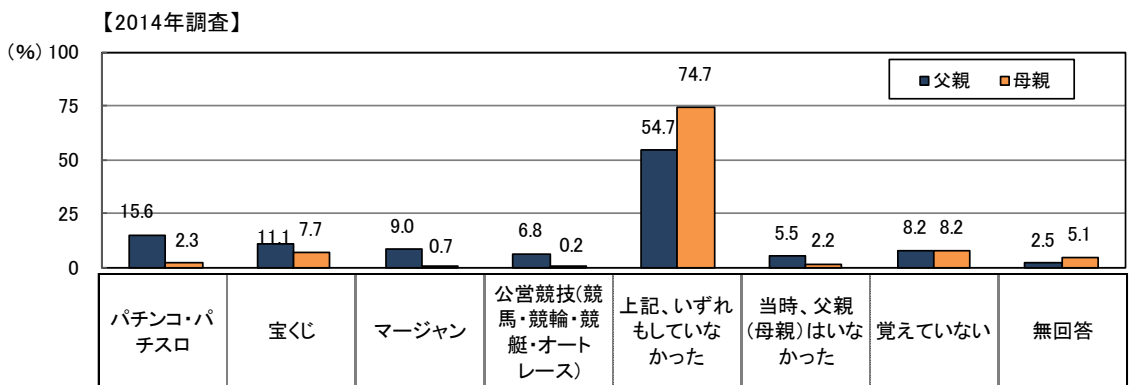
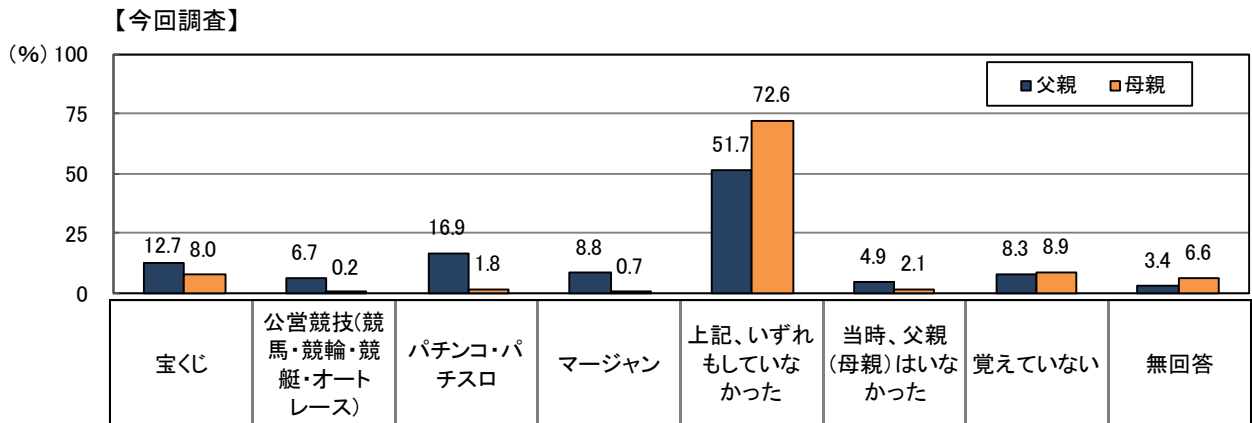
(図表 2-6) 高学年の頃の家の手伝い (問 7)



(6) 小学生の頃の両親の公営競技等

- 小学生の頃、両親がしていた公営競技等（複数回答）としては(図表 2-7)、父親は「パチンコ・パチスロ」が 16.9%、「宝くじ」が 12.7%、「マージャン」が 8.8%、「公営競技（競馬・競輪・競艇・オートレース）」が 6.7%の順にあげられた。過半数が、「上記、いずれもしていなかった」（51.7%）と回答した。
- 一方、母親は「宝くじ」が 8.0%、「パチンコ・パチスロ」が 1.8%で、7 割以上は「上記、いずれもしていなかった」（72.6%）と回答した。

(図表 2-7) 小学生の頃の両親の公営競技等（問 8、複数回答）

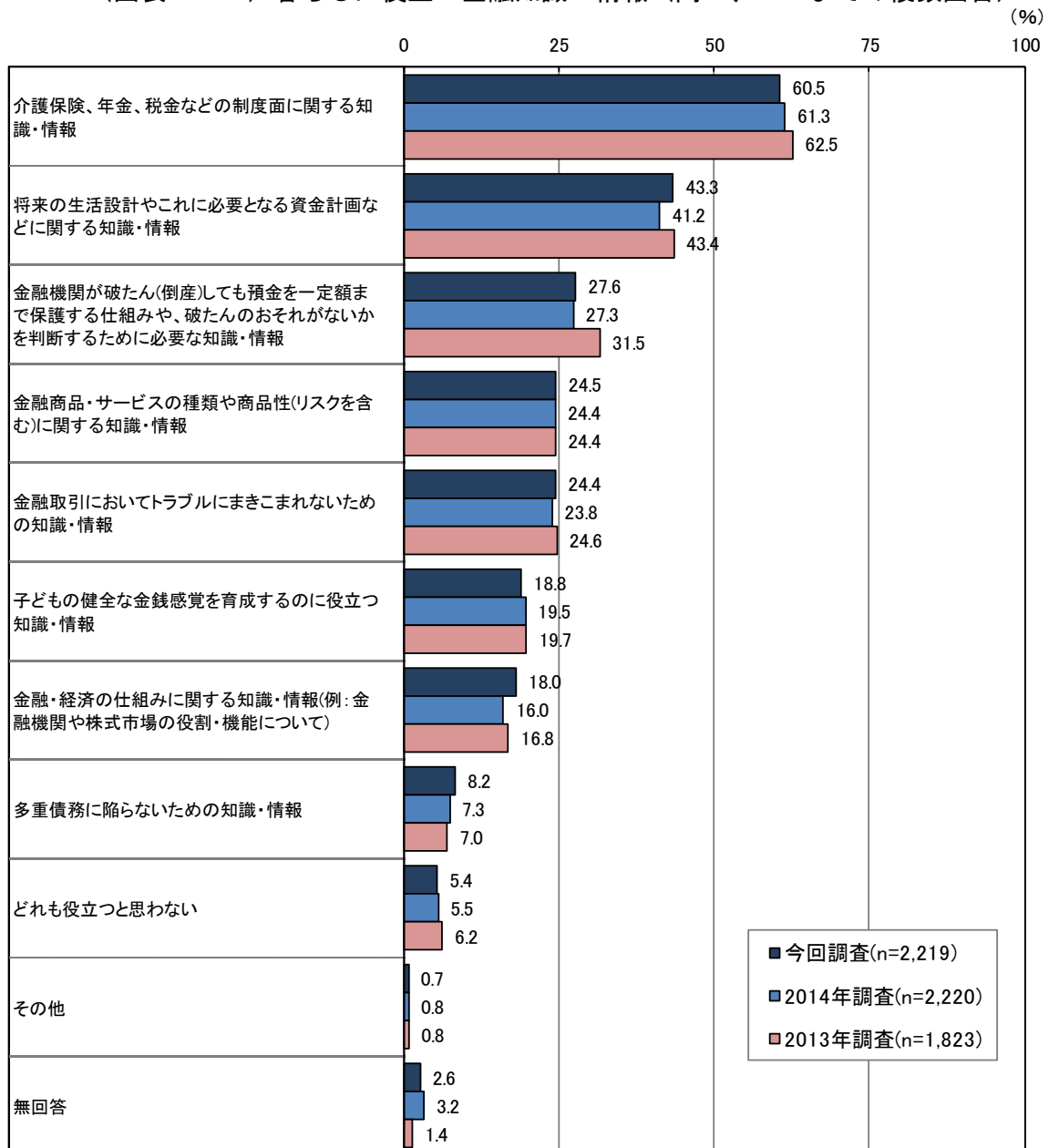


3. 金融の知識

(1) 暮らしに役立つ金融知識・情報

- 暮らしに役立つと思う金融に関する知識・情報（3つまでの複数回答）としては(図表 3-1)、「介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報」が 60.5%で最も多かった。以下、「将来の生活設計やこれに必要なとなる資金計画などに関する知識・情報」(43.3%)、「金融機関が破たん（倒産）しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報」(27.6%)、「金融商品・サービスの種類や商品性（リスクを含む）に関する知識・情報」(24.5%)、「金融取引においてトラブルにまきこまれないための知識・情報」(24.4%)、「子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報」(18.8%)、「金融・経済の仕組みに関する知識・情報」(18.0%)、「多重債務に陥らないための知識・情報」(8.2%) の順で続いた。
- 「どれも役に立つと思わない」は、5.4%となった。

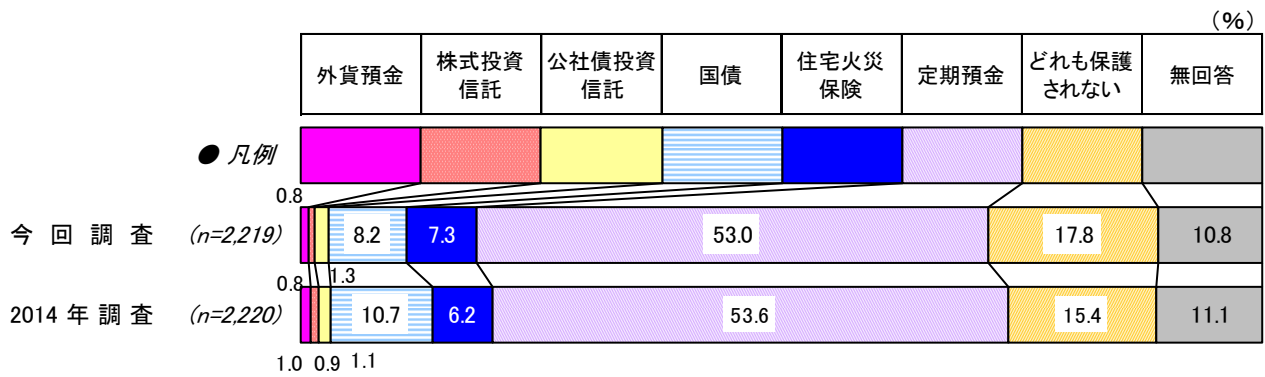
(図表 3-1) 暮らしに役立つ金融知識・情報（問 9、3つまでの複数回答）



(2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品

- 預金保険の保護対象だと思う金融商品の正答率(「定期預金」)は53.0%で、半数を超えて最も多かった。誤回答として、「どれも保護されない」が17.8%で最も多く、次いで「国債」(8.2%)、「住宅火災保険」(7.3%)となった(図表3-2)。

(図表3-2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品 (問10)

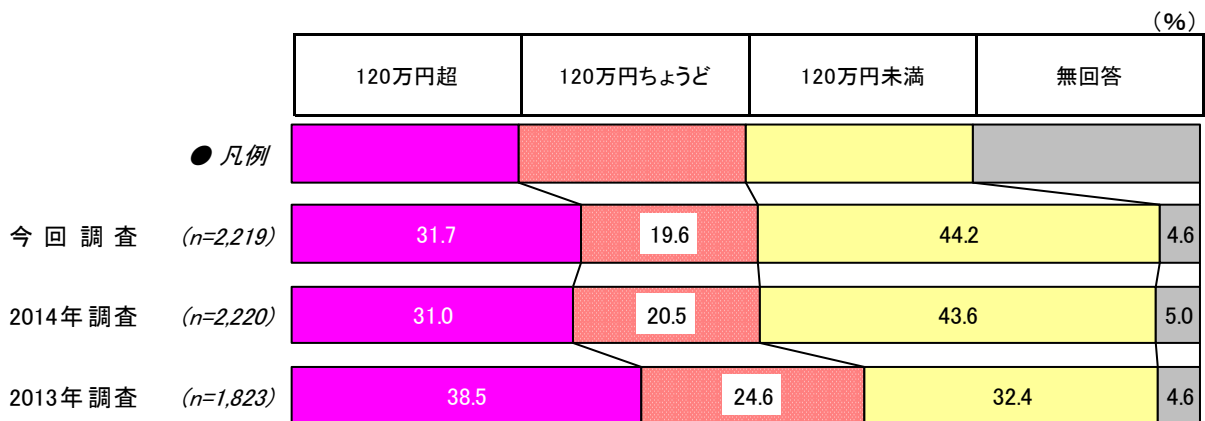


(3) 金利の計算

- 複利計算の正答率(*)は31.7%で、誤回答の「120万円未満」は44.2%、「120万円ちょうど」は19.6%であった(図表3-3)。

*預金金利が年率2%の場合100万円を10年後まで預けたときの金額を「120万超」と答えた比率。

(図表3-3) 金利の計算 (問11)

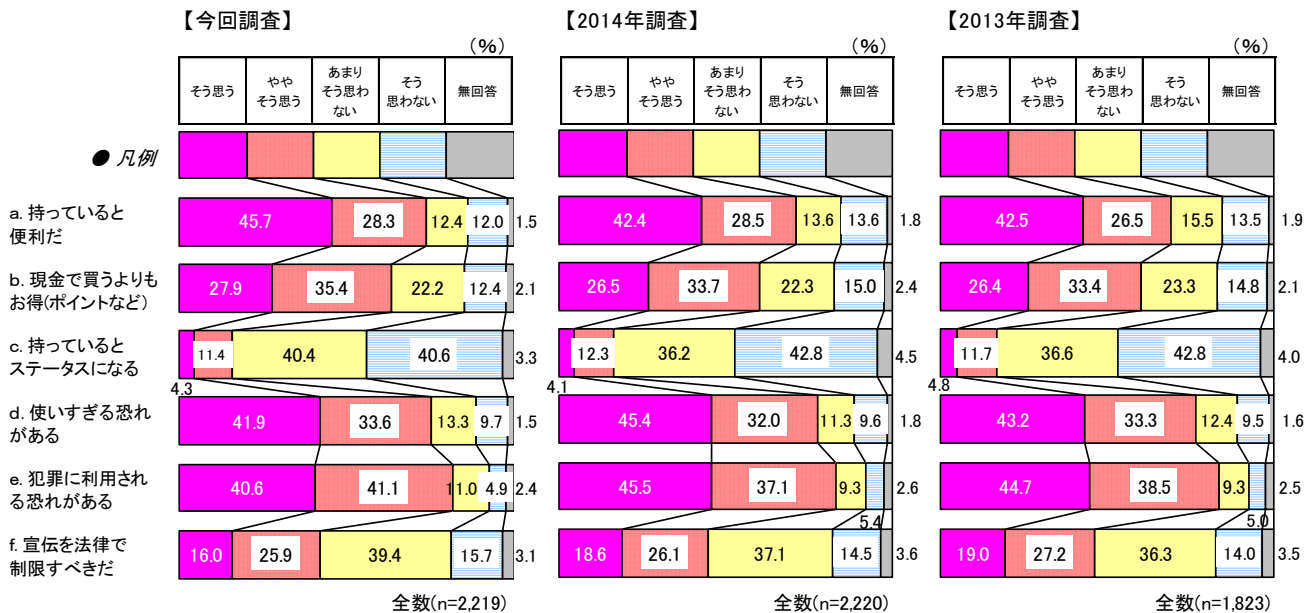


4. クレジットカードについて

(1) クレジットカードに対する意見

- クレジットカードに対する意見を6つあげて、それぞれに対する考え方を聞いた(図表4-1)。
- 『そう思う』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計) 人が多かったのは、“犯罪に利用される恐れがある”(81.7%)で8割を上回り、次いで“使いすぎる恐れがある”が75.5%であった。
- また、“持っていると便利だ”と“現金で買うよりもお得(ポイントなど)”も、『そう思う』(便利74.0%、お得63.3%)人が『そう思わない』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)人(同24.4%、34.6%)を上回った。
- 一方、“持っているとステータスになる”は、『そう思わない』(81.0%)が約8割となった。
- “宣伝を法律で制限すべきだ”は、『そう思わない』(55.1%)が過半数を占め、『そう思う』(41.9%)を上回った。

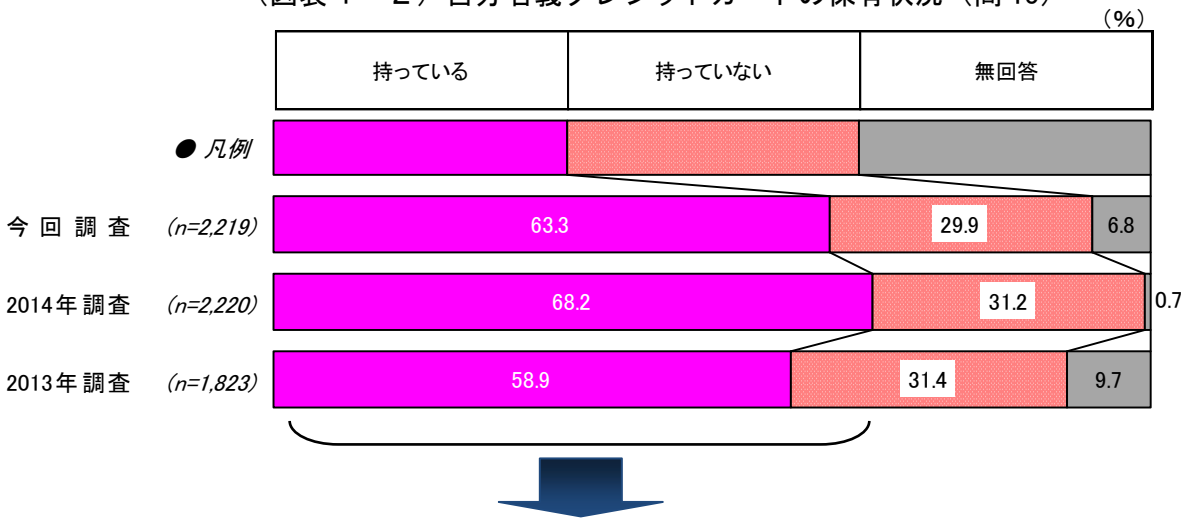
(図表4-1) クレジットカードに対する意見 (問12)



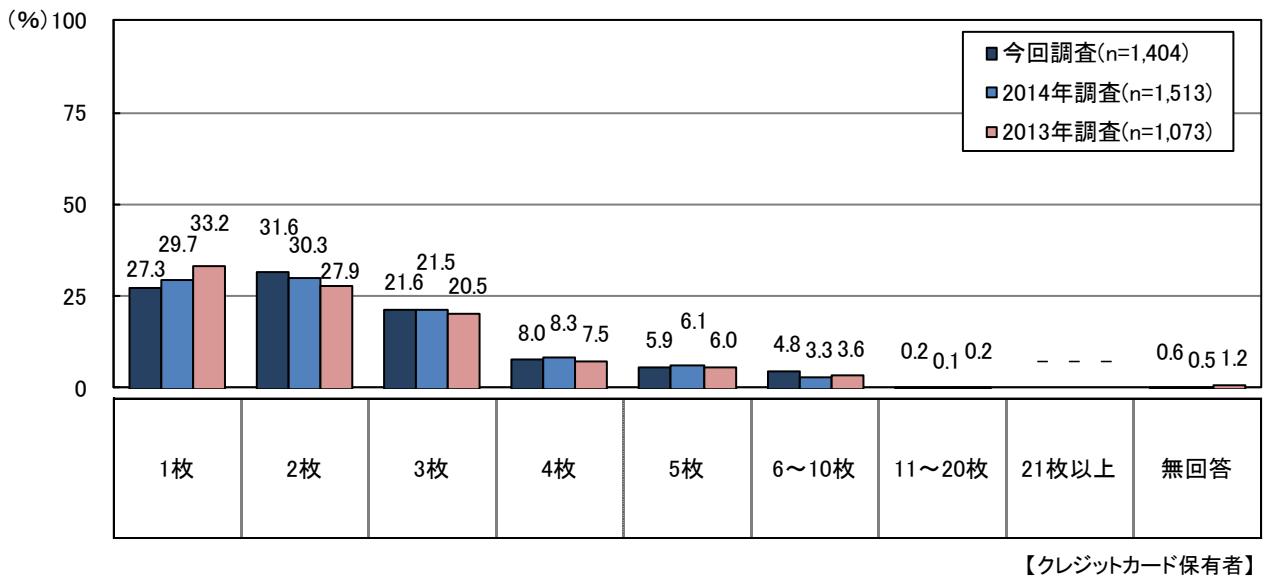
(2) 自分名義クレジットカードの保有状況

- 自分名義のクレジットカードは、「持っている」と答えた人が 63.3%で、「持っていない」(29.9%)を 33 ポイント上回った(図表 4-2)。
- 自分名義のクレジットカード保有者(1,404 人)が持っているクレジットカードの枚数は(図表 4-3)、「2枚」が 31.6%、「1枚」が 27.3%、「3枚」が 21.6%となった。なお、クレジットカード平均保有枚数は 2.6 枚であった。

(図表 4-2) 自分名義クレジットカードの保有状況 (問 13)



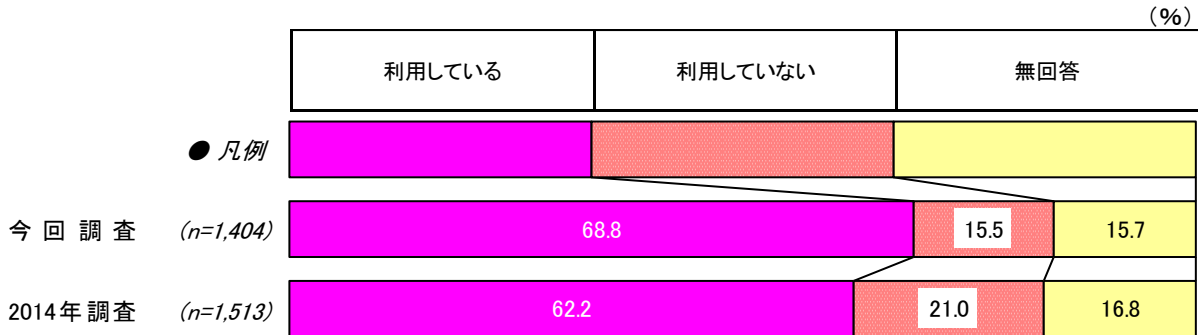
(図表 4-3) 自分名義クレジットカードの保有枚数 (問 13-1)



(3) 自分名義クレジットカードの利用状況

- 自分名義のクレジットカード保有者（1,404 人）のうち、私的なショッピングでのクレジットカード利用状況は(図表 4-4)、「利用している」が 68.8%、「利用していない」が 15.5%であった。

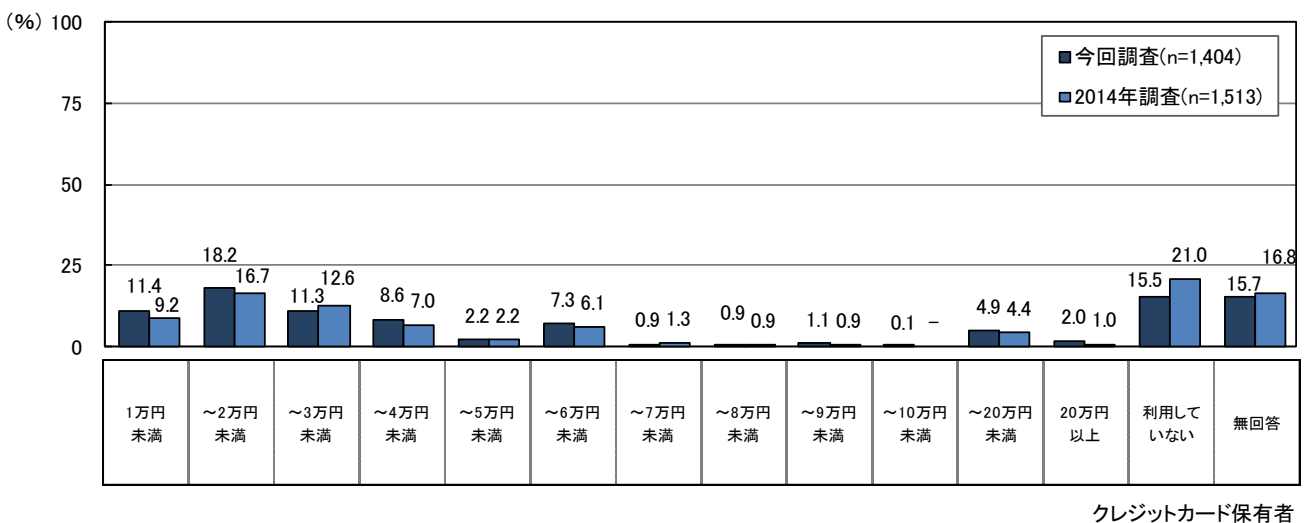
(図表 4-4) 自分名義クレジットカードの利用状況 (問 13-2)



(4) 自分名義クレジットカードの利用金額

- 自分名義のクレジットカード保有者（1,404 人）のうち、ひと月あたりの私的なショッピングでのクレジットカード利用金額は(図表 4-5)、「1万円以上2万円未満」が 18.2%で最も多かった。次いで、「1万円未満」(11.4%)と「2万円以上3万円未満」(11.3%)が約 11%で並び、「3万円以上4万円未満」(8.6%)、「5万円以上6万円未満」(7.3%)の順となった。なお、平均利用金額は、35,800 円であった。

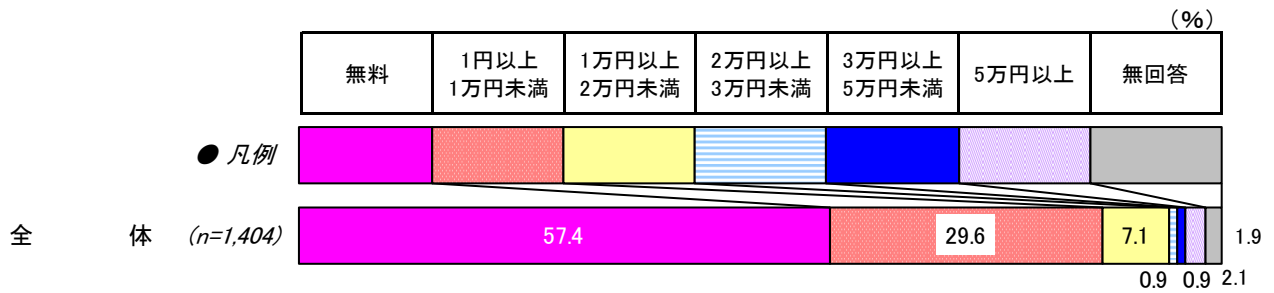
(図表 4-5) 自分名義クレジットカードの利用金額 (問 13-2)



(5) 年間利用額の多い自分名義クレジットカードの年会費（税抜き）

- 自分名義のクレジットカード保有者（1,404人）が保有するクレジットカードのうち、年間利用額が最も多いカードの年会費（税抜き）は(図表4-6)、「無料」が57.4%で、最も多かった。
- 有料の場合の年会費は、「1円以上1万円未満」が29.6%、「1万円以上2万円未満」が7.1%であった。

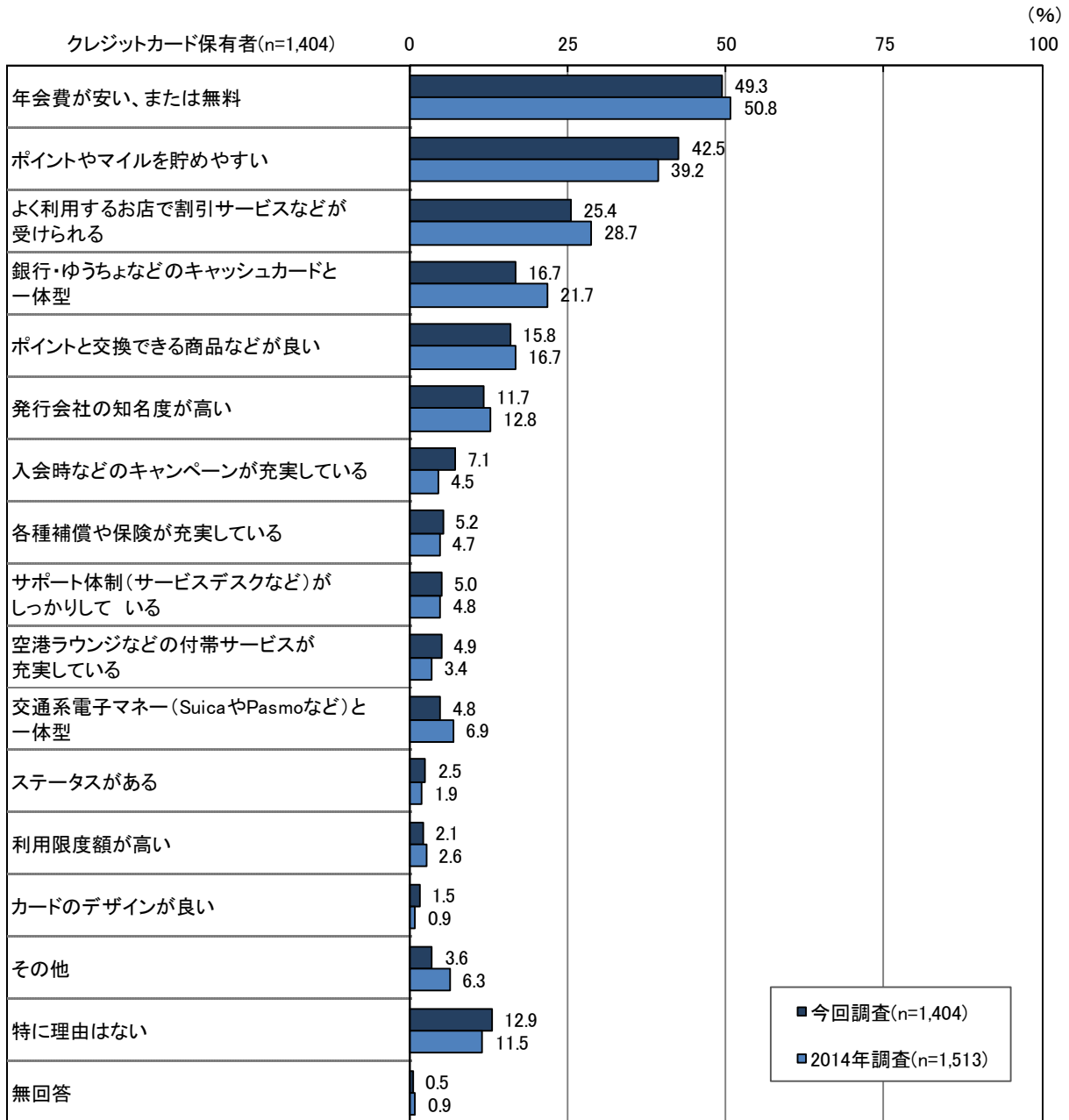
(図表4-6) 年間利用額の多い自分名義クレジットカードの年会費（税抜き）（問13-3）



(6) 自分名義クレジットカード選択理由

- 自分名義のクレジットカード保有者（1,404人）のクレジットカード選択理由（複数回答）としては（図表4-7）、「年会費が安い、または無料」（49.3%）が約半数で、最も多かった。以下、「ポイントやマイルを貯めやすい」（42.5%）、「よく利用するお店で割引サービスなどが受けられる」（25.4%）、「銀行・ゆうちょなどのキャッシュカードと一体型」（16.7%）、「ポイントと交換できる商品などが良い」（15.8%）などの順で続いた。

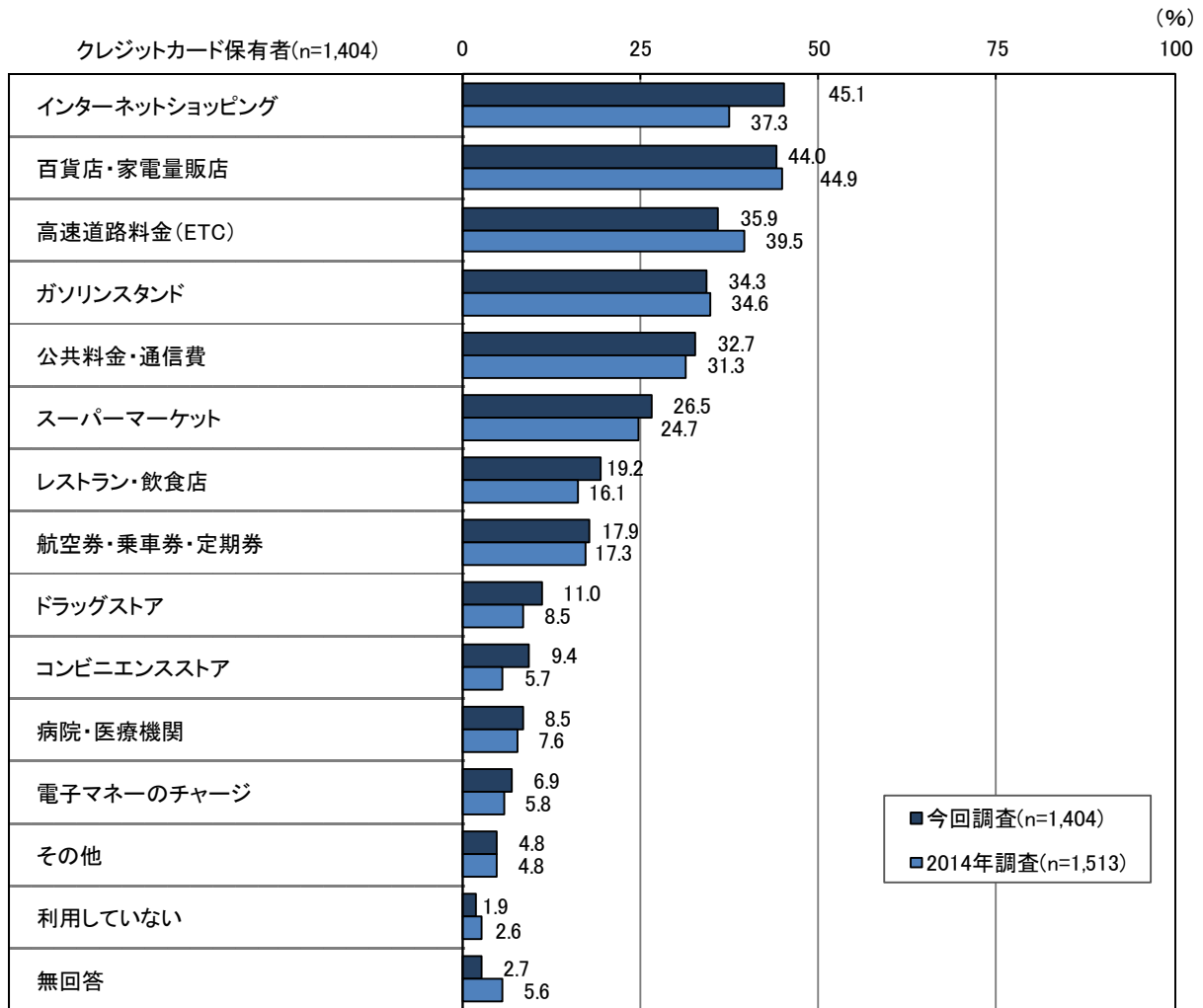
(図表4-7) 自分名義クレジットカード選択理由（問13-4、複数回答）



(7) 自分名義クレジットカードの利用先

- 自分名義のクレジットカード保有者（1,404人）のクレジットカードの利用先（複数回答）としては（図表4-8）、「インターネットショッピング」が45.1%、「百貨店・家電量販店」が44.0%で、上位に挙げられた。次いで、「高速道路料金（ETC）」（35.9%）、「ガソリンスタンド」（34.3%）、「公共料金・通信費」（32.7%）が、いずれも3割を超えている。

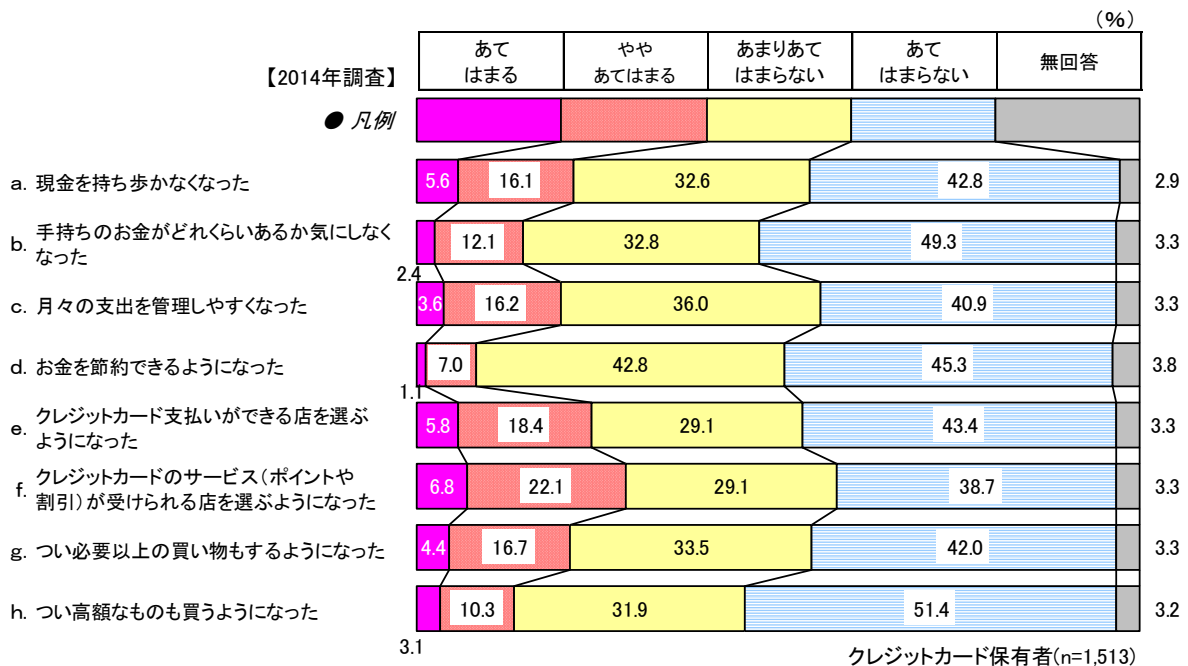
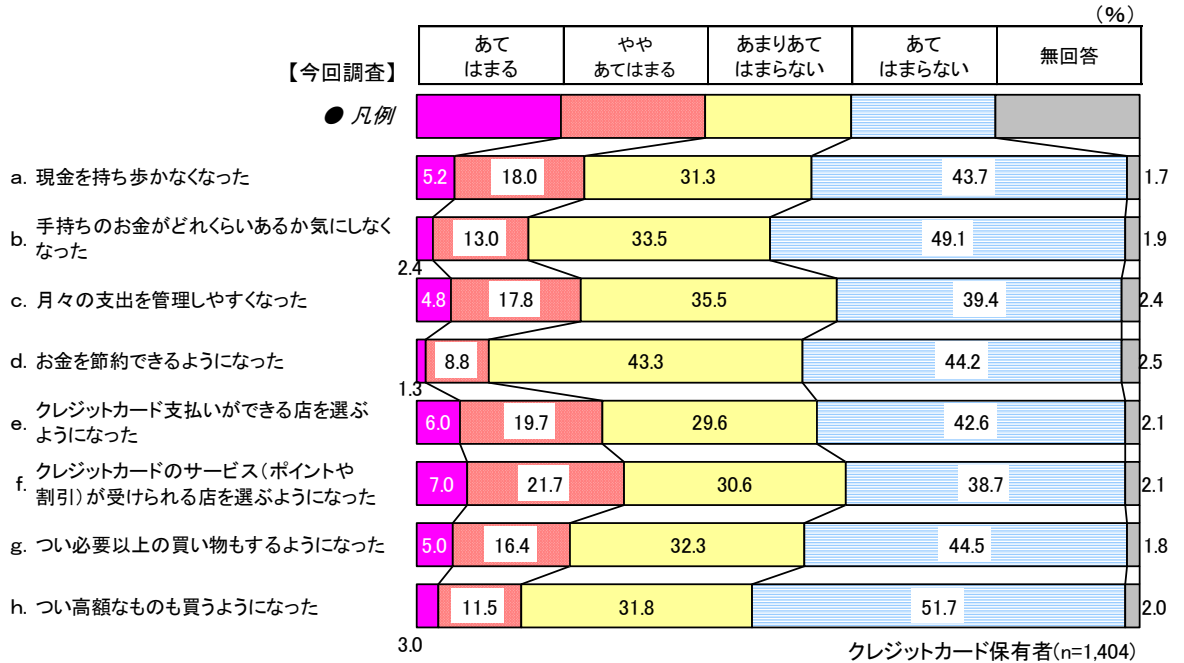
(図表4-8) 自分名義クレジットカードの利用先（問13-5、複数回答）



(8) 自分名義クレジットカードを使い始めてからの生活の変化

- 自分名義のクレジットカード保有者（1,404人）がクレジットカードを使い始めてからの生活の変化としては(図表 4-9)、いずれの項目も『あてはまらない』（「あてはまらない」と「ややあてはまらない」の合計）が『あてはまる』（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）を大きく上回り、生活の変化はあまり感じられていない。
- 『あてはまる』と答えた人が比較的多かったのは、“クレジットカードのサービス（ポイントや割引）が受けられる店を選ぶようになった”（28.7%）、“クレジットカード支払いができる店を選ぶようになった”（25.7%）、“現金を持ち歩かなくなった”（23.2%）、“月々の支出を管理しやすくなった”（22.6%）、“つい必要以上の買い物もするようになった”（21.4%）で、いずれも2割を超えた。一方、“お金を節約できるようになった”は10.1%であった。

(図表 4-9) 自分名義クレジットカードを使い始めてからの生活の変化 (問 13-6)

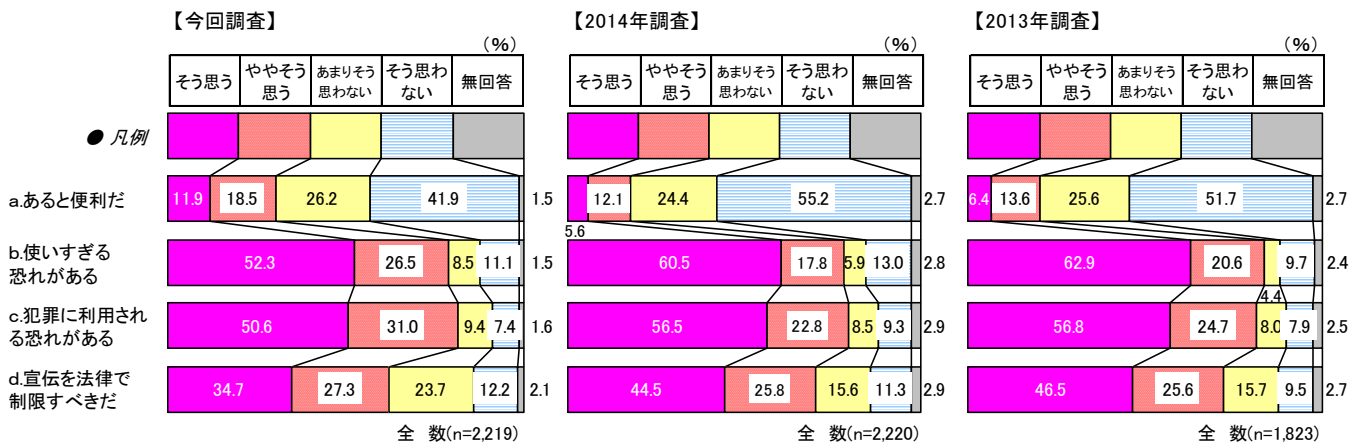


5. カードローン・消費者金融について

(1) カードローン・消費者金融に対する意見

- カードローン・消費者金融に対する考え方を4つあげて、それぞれに対する意見を聞いた(図表5-1)。
- カードローン・消費者金融に対して、“あると便利だ”という考え方に『そう思う』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)人は30.4%であった。
- また、“犯罪に利用される恐れがある”(『そう思う』81.6%)と“使いすぎる恐れがある”(同78.8%)という否定的な考え方について『そう思う』人は、8割前後である。
- “宣伝を法律で制限すべきだ”(同62.0%)という考え方についても、『そう思う』人が6割を上回って多数を占めた。

(図表5-1) カードローン・消費者金融に対する意見 (問14)

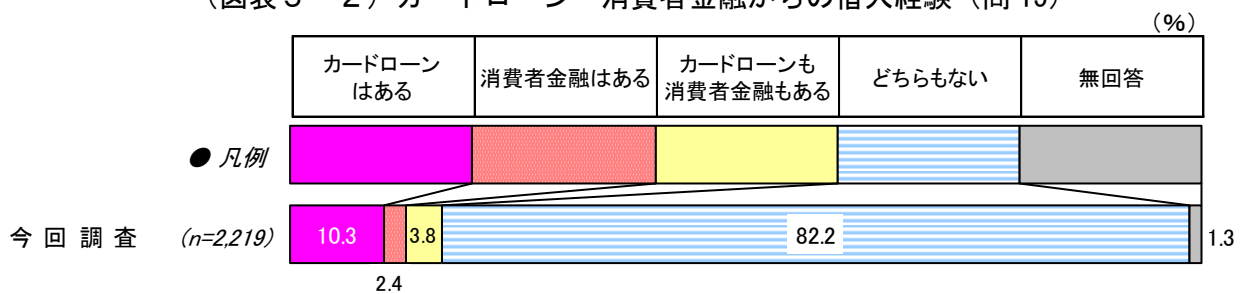


*2013年調査と2014年調査は、消費金融のみについての設問

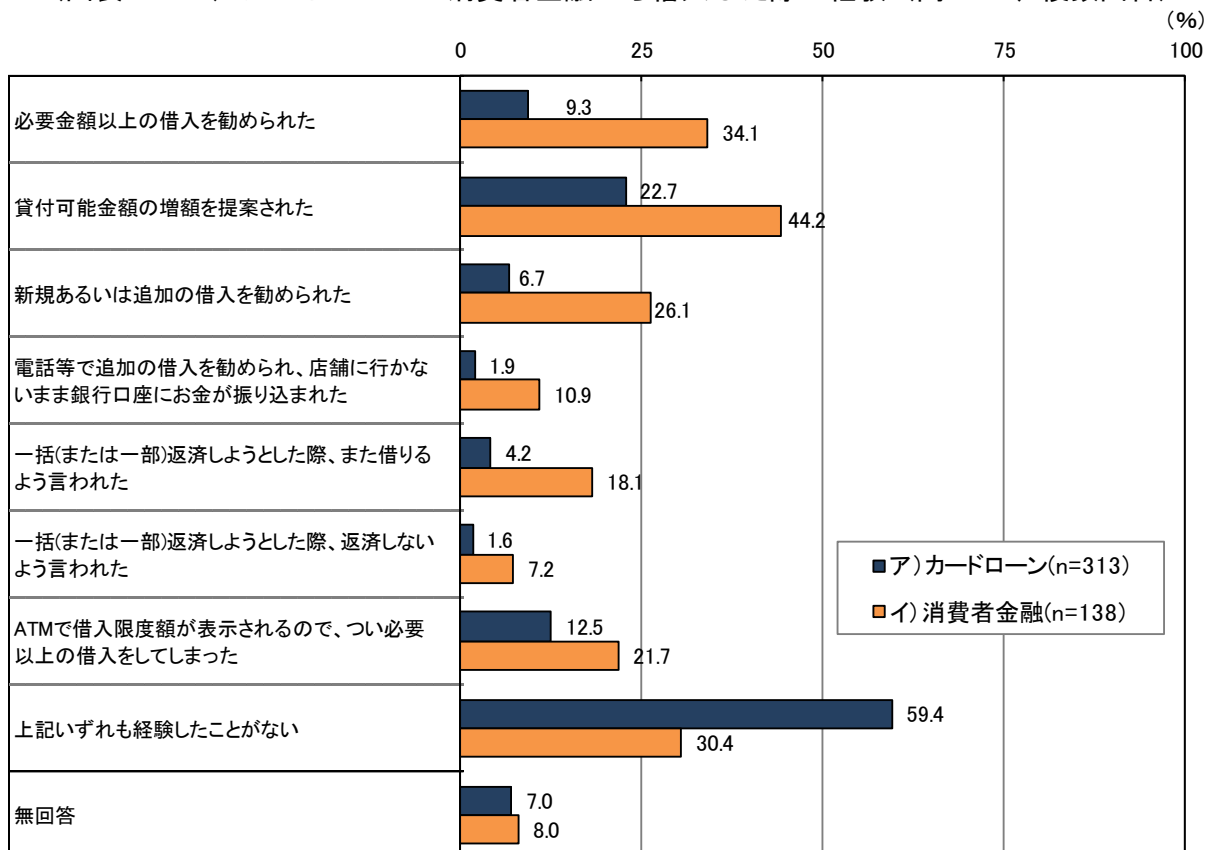
(2) カードローン・消費者金融からの借入経験

- これまでのカードローンや消費者金融からの借入経験として、「カードローンはある」人は10.3%で、「消費者金融はある」人が2.4%、「カードローンも消費者金融もある」人が3.8%となった(図表5-2)。82.2%は、「どちらもない」と回答している。
- カードローン借入経験者(313人)が借入した際に経験したこと(複数回答)としては(図表5-3)、「貸付可能金額の増額を提案された」が22.7%で最も多く、次いで、「ATMで借入限度額が表示されるので、つい必要以上の借入をしてしまった」が12.5%であった。約6割は、「上記いずれも経験したことがない」(59.4%)と回答している。
- 消費者金融借入経験者(138人)が借入した際に経験したこと(複数回答)としては(図表5-3)、「貸付可能金額の増額を提案された」が44.2%で最も多く、以下、「必要金額以上の借入を勧められた」(34.1%)、「新規あるいは追加の借入を勧められた」(26.1%)、「ATMで借入限度額が表示されるので、つい必要以上の借入をしてしまった」(21.7%)などの順で続いた。
- 「上記いずれも経験したことがない」人は、30.4%であった。

(図表5-2) カードローン・消費者金融からの借入経験(問15)



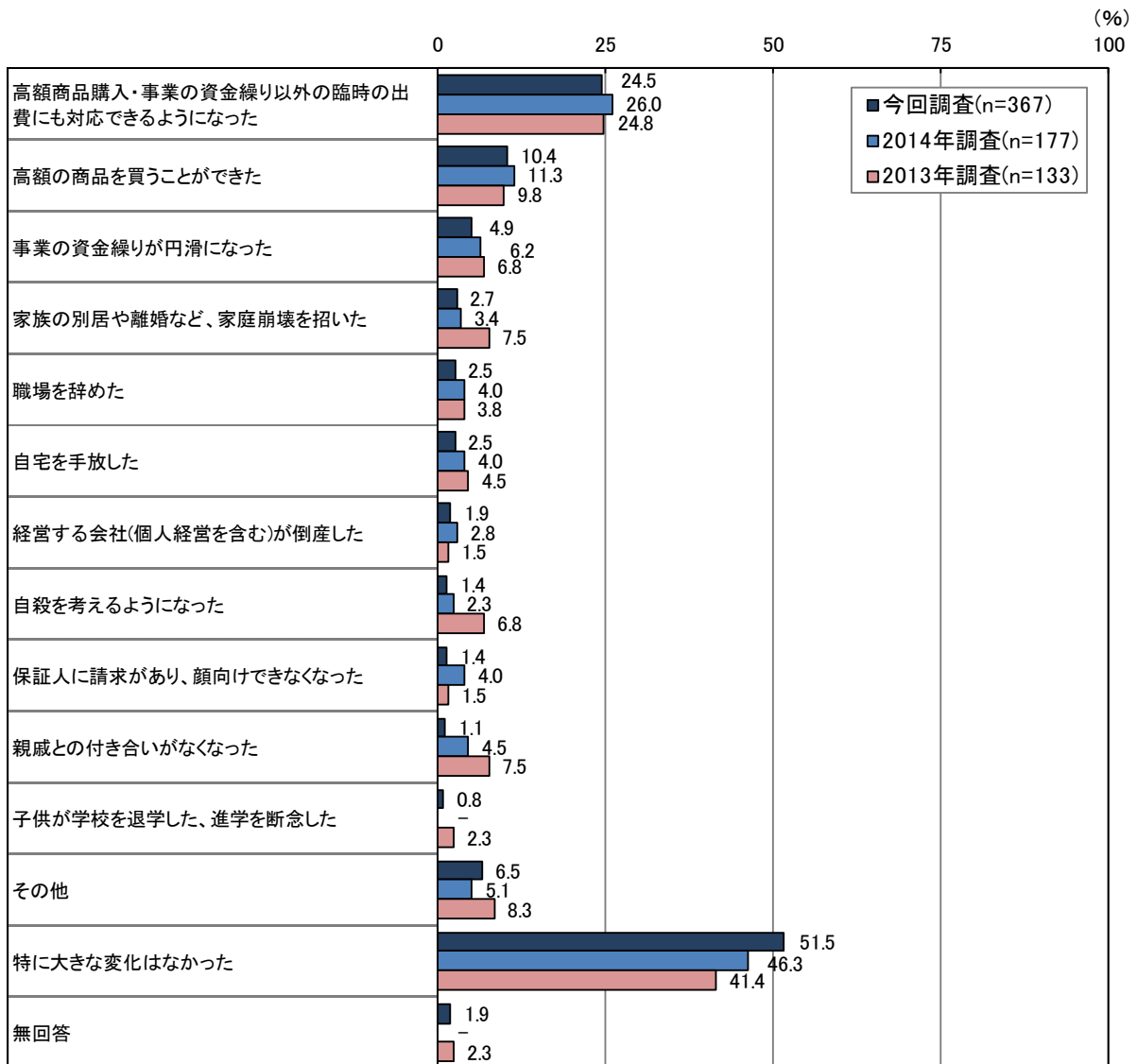
(図表5-3) カードローン・消費者金融から借入した際の経験(問15-1、複数回答)



(3) カードローン・消費者金融から借入したことによる生活の変化

- カードローンもしくは消費者金融借入経験者（367人）が、借入したことによる日常生活の変化（複数回答）としては(図表 5-4)、「高額の商品を買う、事業の資金繰り以外の臨時の出費にも対応できるようになった」が24.5%で最も多く挙げられた。次いで、「高額の商品を買うことができた」(10.4%)が1割台であった。
- 過半数は、「特に大きな変化はなかった」(51.5%)と回答している。

(図表 5-4) カードローン・消費者金融から借入したことによる生活の変化
(問 15-2、複数回答)

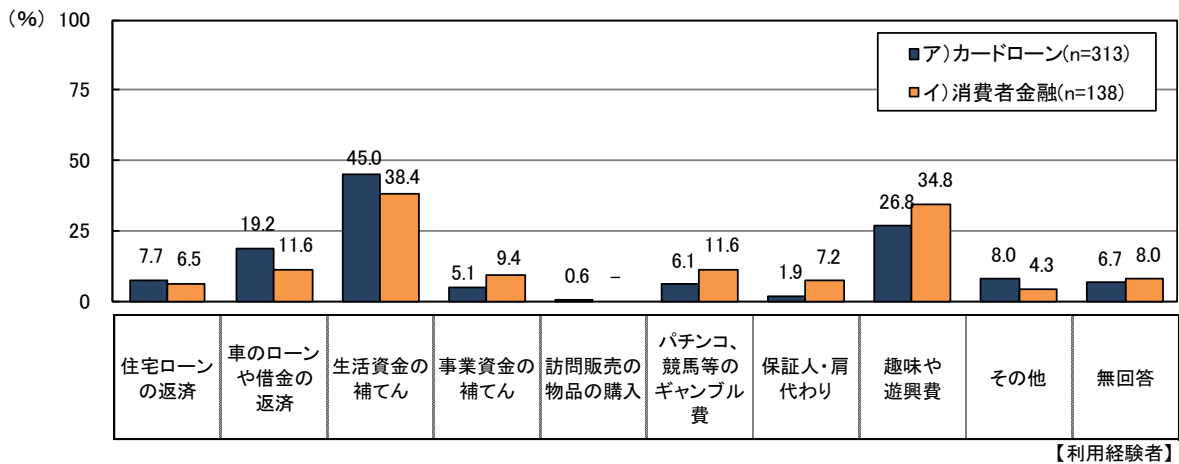


【利用経験者】

(4) カードローン・消費者金融から借入した理由

- カードローン借入経験者（313人）が借入した理由（複数回答）としては(図表 5-5)、「生活資金の補てん」が 45.0%で最も多く挙げられ、次いで、「趣味や遊興費」が 26.8%、「車のローンや借金の返済」が 19.2%で続いた。
- 消費者金融借入経験者（138人）が借入した理由（複数回答）としても(図表 5-5)、「生活資金の補てん」が 38.4%で最も多く、次いで、「趣味や遊興費」が 34.8%であった。

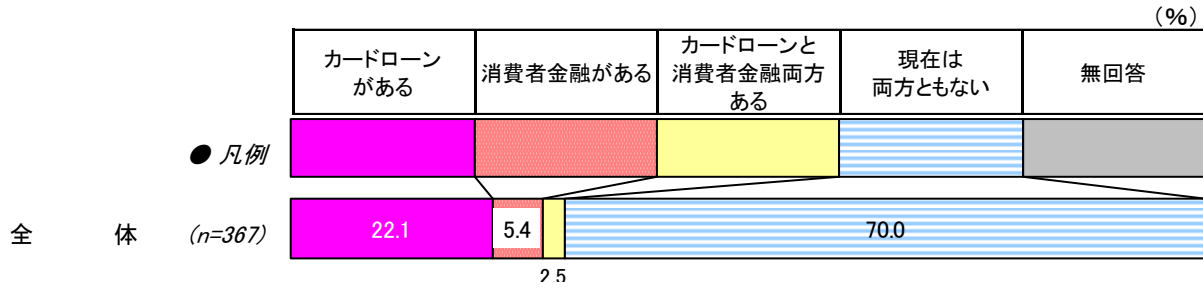
(図表 5-5) カードローン・消費者金融から借入した理由（問 16、複数回答）



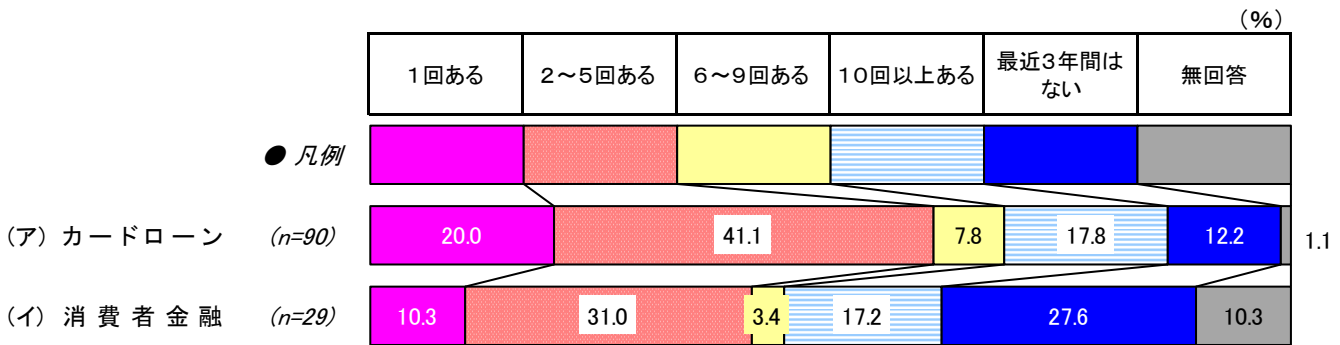
(5) 現在のカードローンや消費者金融からの借入

- カードローンや消費者金融借入経験者（367人）の現在の借入状況を見ると(図表 5-6)、現在、「カードローンがある」人は 22.1%、「消費者金融がある」人は 5.4%、「カードローンと消費者金融両方ある」人は 2.5%であった。7割は、「現在は両方ともない」（70.0%）と回答した。
- 現在のカードローン借入者（90人）の、最近3年間の借入回数は、「2～5回ある」が 41.1%で最も多く、次いで「1回ある」が 20.0%、「10回以上ある」が 17.8%であった(図表 5-7)。
- 消費者金融借入者でも、過去3年間の借入が「2～5回ある」人が 29人中9人となっているが、8人は「最近3年間はない」と回答している(図表 5-7)。
- カードローン借入者（90人）の現在の借入総額は(図表 5-8)、「50万円以上 100万円未満」が 22.2%、「10万円以上 30万円未満」が 21.1%で、現在の平均カードローン借入総額は 109万4千円であった。
- 一方、消費者金融借入者 29人では(図表 5-8)、「50万円以上 100万円未満」が 8人、「10万円以上 30万円未満」が 5人で、現在の平均消費者金融借入総額は 217万円であった。
- カードローン借入者（90人）の半数は、返済に「まったく困難を感じていない」（50.0%）と回答している。「すでに返済困難な状況になっている」人は 4.4%であった(図表 5-9)。
- 一方、消費者金融借入者 29人では(図表 5-9)、「まったく困難を感じていない」もしくは「少し困難を感じている」という回答者がそれぞれ 12人であった。「すでに返済困難な状況になっている」もしくは「多重債務、個人破産に追い込まれている」人は、それぞれ 1人である。

(図表5-6) 現在のカードローン・消費者金融から借入 (問17)

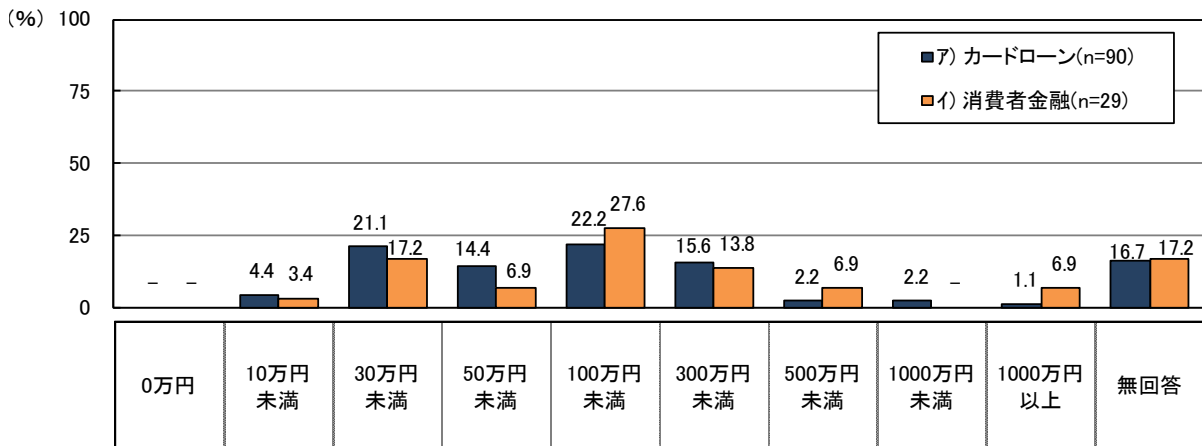


(図表5-7) 最近3年間のカードローン・消費者金融から借入回数 (問17-1)



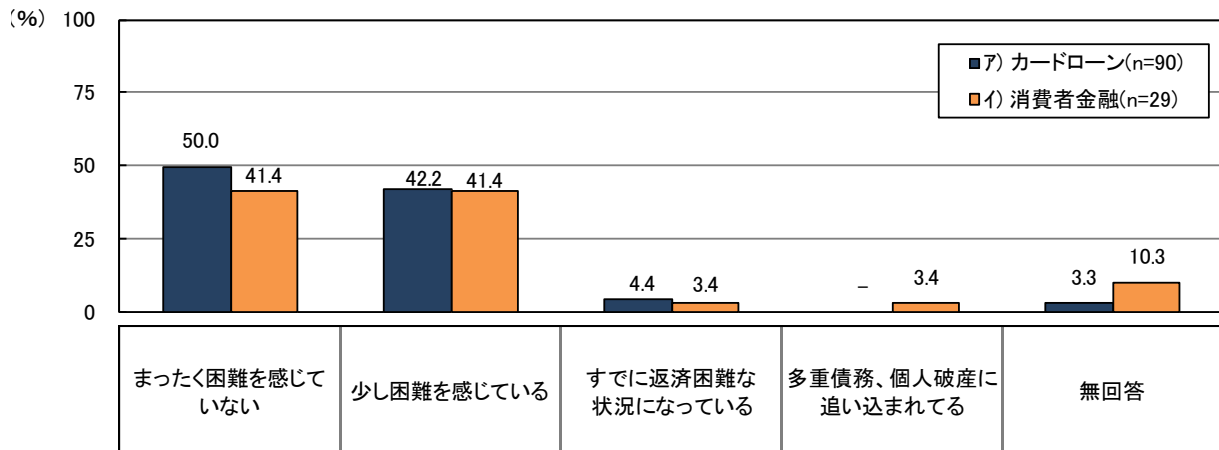
【借入残高あり】

(図表5-8) 現在のカードローン・消費者金融からの借入総額 (問17-2)



【借入残高あり】

(図表5-9) カードローン・消費者金融からの借入返済の困難 (問17-3)



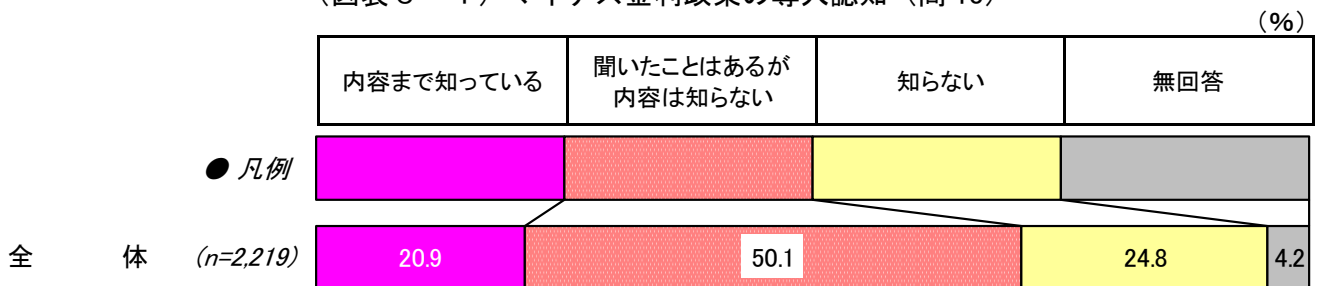
【借入残高あり】

6. マイナス金利政策について

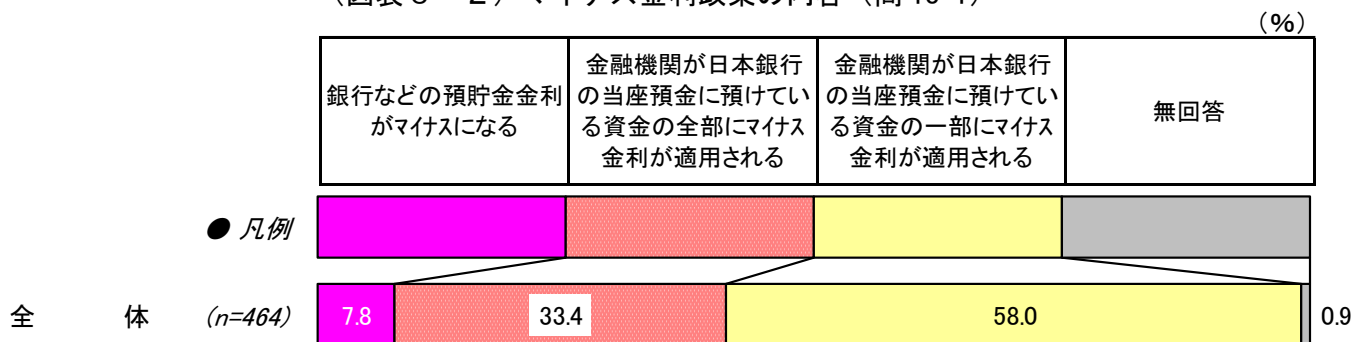
(1) 日本銀行のマイナス金利政策導入について

- 2016年2月から日本銀行が導入したマイナス金利政策について、「内容まで知っている」人は20.9%で、半数は「聞いたことはあるが内容は知らない」(50.1%)と回答した(図表6-1)。「知らない」人(24.8%)は、約4人に1人であった。
- マイナス金利政策の内容まで知っているという回答者(464人)に政策の内容を聞いたところ(図表6-2)、正答率(「金融機関が日本銀行の当座預金に預けている資金の一部にマイナス金利が適用される」)は58.0%で、3割以上が「金融機関が日本銀行の当座預金に預けている資金の全部にマイナス金利が適用される」(33.4%)と回答した。「銀行などの預貯金金利がマイナスになる」と回答した人は、7.8%であった。
- マイナス金利政策の内容まで知っているという回答者(464人)のうち、日本銀行の目標である2017年度中の物価上昇率「2%に到達すると思う」人は4.7%にとどまり、「到達しないと思う」(69.8%)が約7割を占めた(図表6-3)。

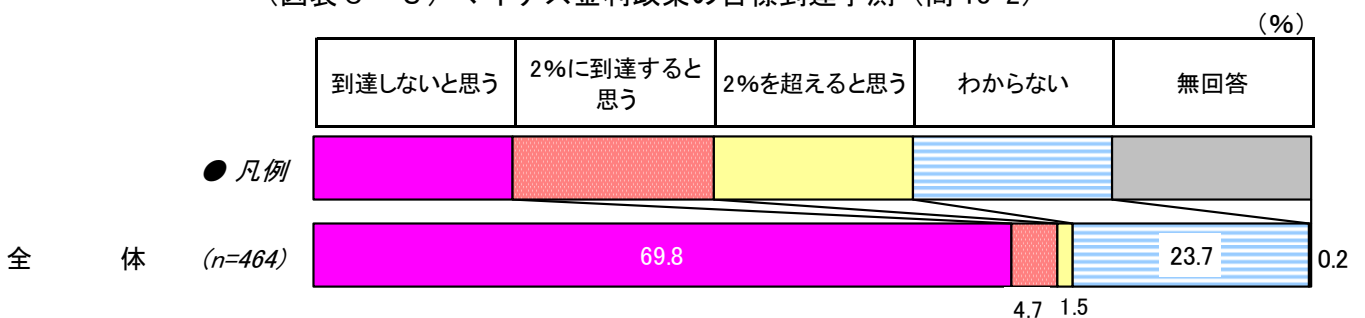
(図表6-1) マイナス金利政策の導入認知 (問18)



(図表6-2) マイナス金利政策の内容 (問18-1)



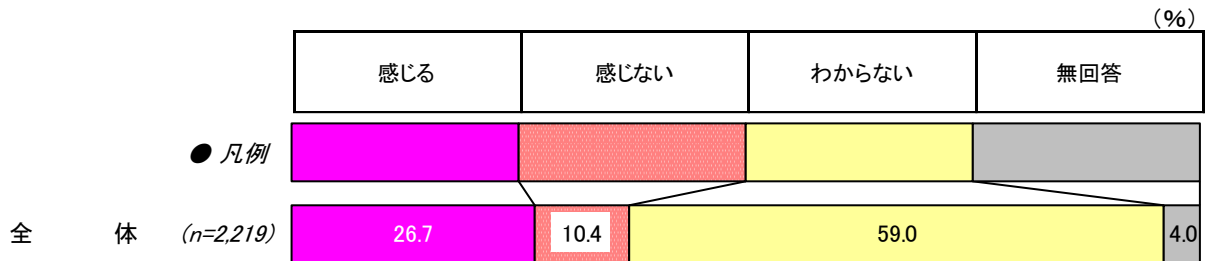
(図表6-3) マイナス金利政策の目標到達予測 (問18-2)



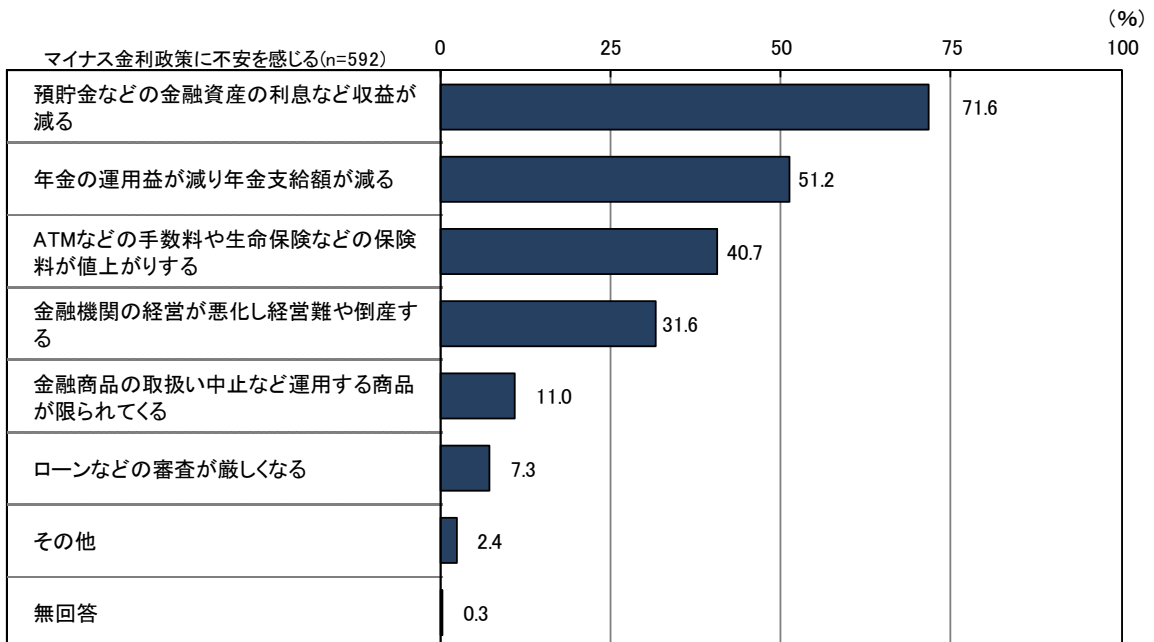
(2) マイナス金利政策に対する不安感

- マイナス金利政策に対して、不安を「感じる」は26.7%、「感じない」は10.4%で、6割近くは、「わからない」(59.0%)と回答している(図表6-4)。
- マイナス金利政策に対して不安を感じる人(592人)の理由(複数回答)としては(図表6-5)、「預貯金などの金融資産の利息など収益が減る」が71.6%で最も多く、以下、「年金の運用益が減り年金支給額が減る」(51.2%)、「ATMなどの手数料や生命保険などの保険料が値上がりする」(40.7%)、「金融機関の経営が悪化し経営難や倒産する」(31.6%)、「金融商品の取扱い中止など運用する商品が限られてくる」(11.0%)、「ローンなどの審査が厳しくなる」(7.3%)の順となった。
- マイナス金利政策に対して不安を感じない人(230人)の理由(複数回答)としては(図表6-6)、「今までも低い金利であったので金融資産の利息など収益に期待していない」が53.0%で最も多く挙げられ、次いで、「住宅ローンなどローンの金利が下がる」が23.0%となった。

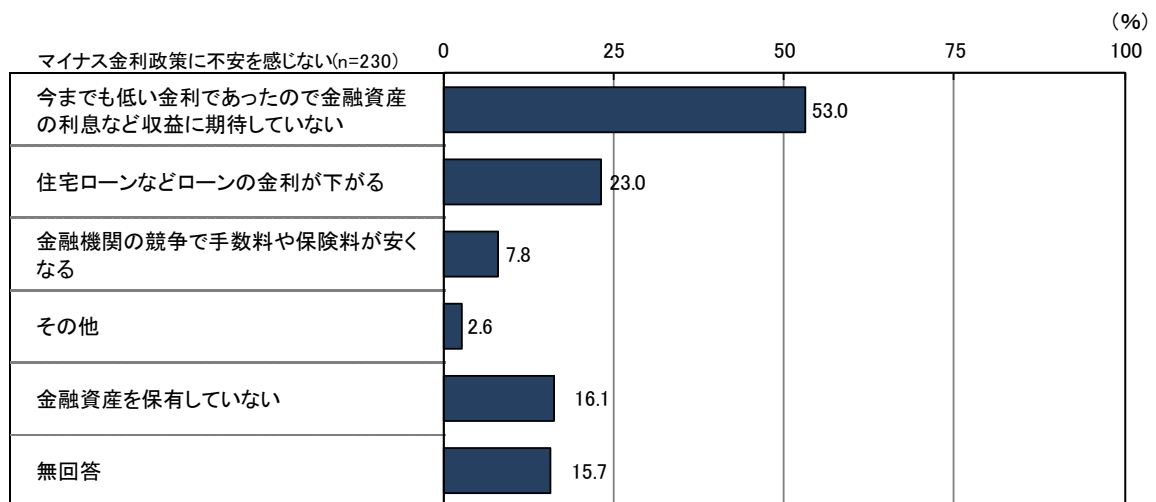
(図表6-4) マイナス金利政策に対する不安感(問19)



(図表6-5) マイナス金利政策に対して不安を感じる理由(複数回答)(問19-1)



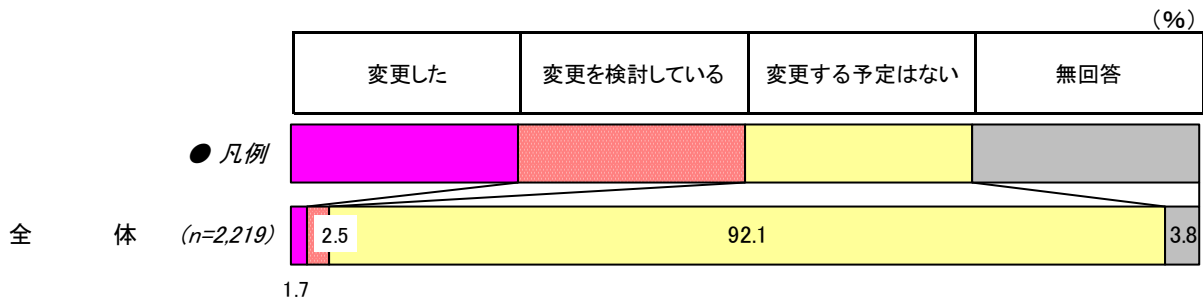
(図表 6-6) マイナス金利政策に対して不安を感じない理由 (複数回答) (問 19-2)



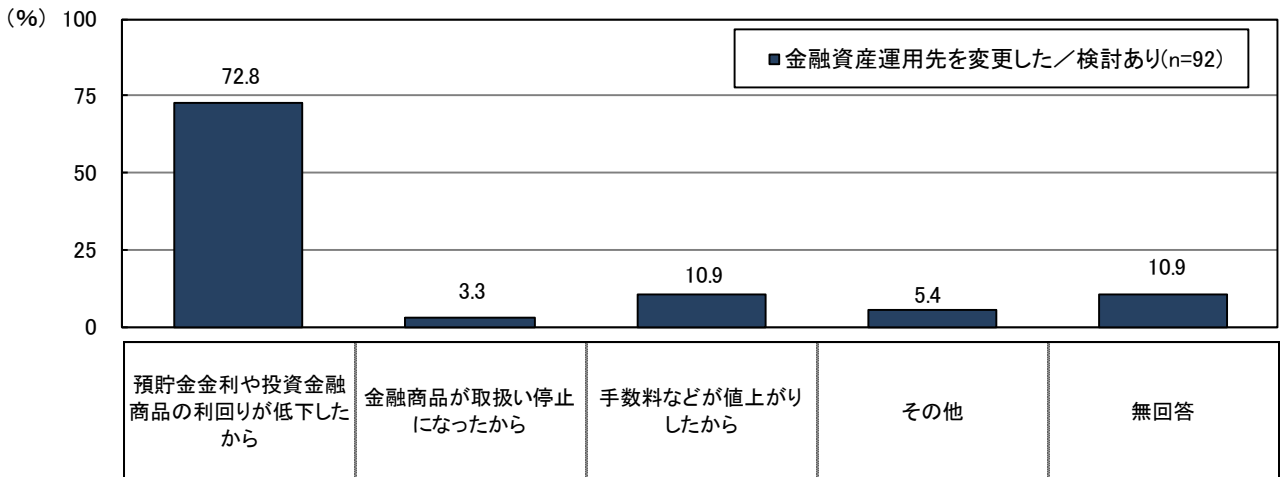
(3) マイナス金利導入後の金融資産の運用先

- マイナス金利政策導入後に、預貯金など金融資産の運用先を「変更した」は1.7%、「変更を検討している」は2.5%にとどまり、9割以上は「変更する予定はない」(92.1%)と回答した(図表6-7)。
- 金融資産の運用先をすでに変更もしくは変更を検討している人(92人)の理由(複数回答)としては(図表6-8)、「預貯金金利や投資金融商品の利回りが低下したから」(72.8%)が7割以上を占め、以下、「手数料などが値上がりしたから」(10.9%)、「金融商品が取扱い停止になったから」(3.3%)の順となった。

(図表6-7) マイナス金利導入後の金融資産の運用先 (問20)



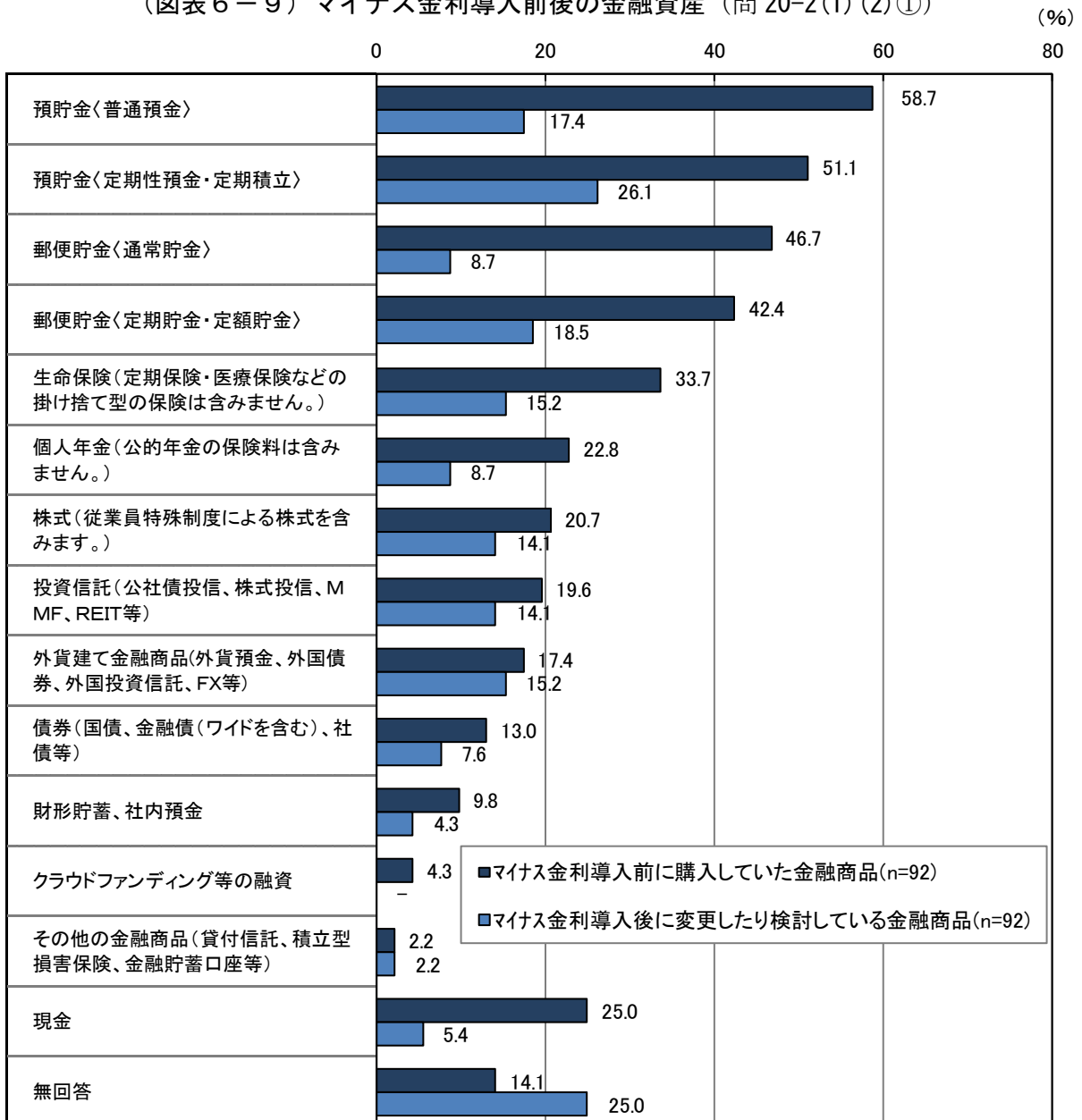
(図表6-8) マイナス金利導入後の金融資産変更理由 (問20-1)



(4) マイナス金利導入前後の金融資産

- 金融資産の運用先をすでに変更もしくは変更を検討している人（92人）が、マイナス金利政策導入前に保有していた金融資産（複数回答）としては（図表6-9）、「預貯金〈普通預金〉」が58.7%で最も多く、以下、「預貯金〈定期性預金・定期積立〉」（51.1%）、「郵便貯金〈通常貯金〉」（46.7%）、「郵便貯金〈定期貯金・定額貯金〉」（42.4%）、「生命保険（定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含みません。）」（33.7%）の順に挙げられた。
- マイナス金利導入後に運用先を変更したり、変更を検討している金融資産（複数回答）としては（図表6-9）、「預貯金〈定期性預金・定期積立〉」が26.1%で最も多く挙げられ、以下、「郵便貯金〈定期貯金・定額貯金〉」（18.5%）、「預貯金〈普通預金〉」（17.4%）、「外貨建て金融商品（外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等）」（15.2%）、「生命保険」（15.2%）、「株式（従業員特殊制度による株式を含みます。）」（14.1%）、「投資信託（公社債投信、株式投信、MMF、REIT等）」（14.1%）などがいずれも1割台となった。

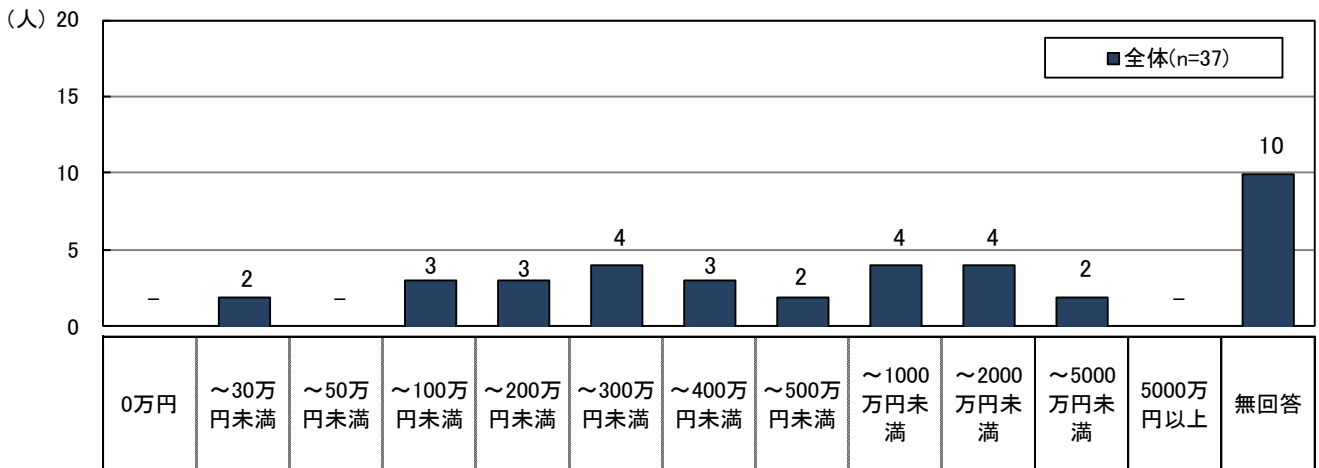
(図表6-9) マイナス金利導入前後の金融資産 (問20-2(1)(2)①)



(5) マイナス金利導入後に運用先を変更した金融資産の総額

- マイナス金利導入後に運用先を変更した金融資産の総額は(図表 6-10)、「200～300 万円未満」「500～1,000 万円未満」「1,000～2,000 万円未満」が、いずれも 37 人中 4 人で、平均すると 537 万 9,000 円であった。

(図表 6-10) マイナス金利導入後に運用先を変更した金融資産の総額 (問 20-2(2)②)

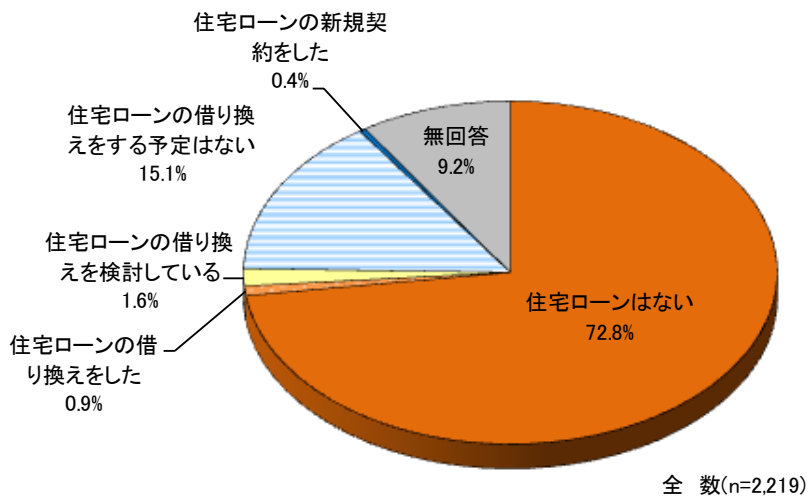


【金融資産運用先の変更あり】

(6) マイナス金利導入後の住宅ローン

- マイナス金利導入後の住宅ローンについて(図表 6-11)、「住宅ローンの借り換えをした」は 0.9%、「住宅ローンの借り換えを検討している」は 1.6%、「住宅ローンの新規契約をした」は 0.4%で、「住宅ローンの借り換えをする予定はない」15.1%であった。
- 回答者の 72.8%は、「住宅ローンはない」と回答した。

(図表 6-11) マイナス金利導入後の住宅ローン (問 21)

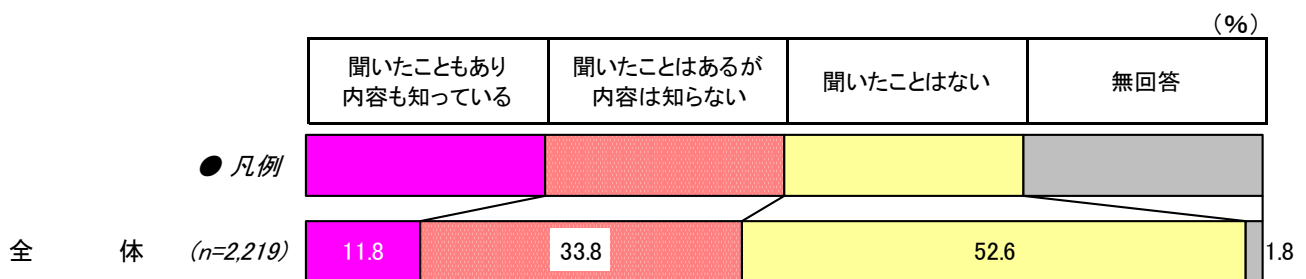


7. ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）について

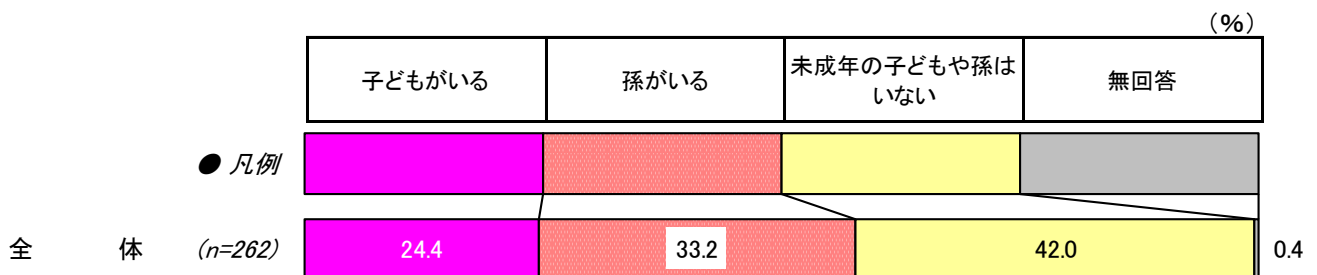
(1) ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の認知度

- ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の認知度は(図表7-1)、「聞いたことはない」(52.6%)が過半数で、「聞いたことはあるが内容は知らない」が33.8%、「聞いたこともあり内容も知っている」が11.8%となった。
- ジュニアNISAを「聞いたこともあり内容も知っている」と回答した262人のうち、20歳未満の未成年の「子どもがいる」は24.4%、「孫がいる」は33.2%で、42.0%は「未成年の子どもや孫はいない」と回答した。

(図表7-1) ジュニアNISAの認知度 (問22)



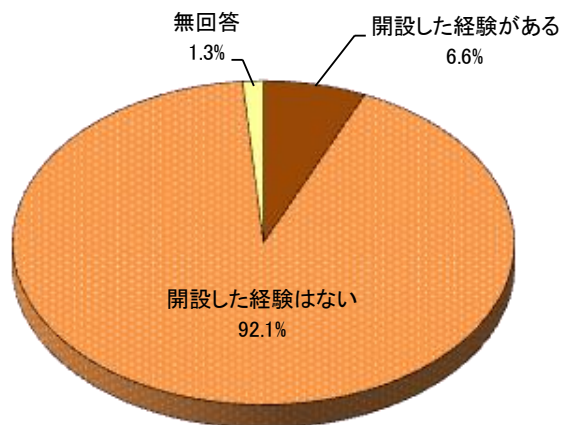
(図表7-2) 20歳未満の未成年の子どもや孫の有無 (問23)



(2) ジュニアNISA口座の開設経験

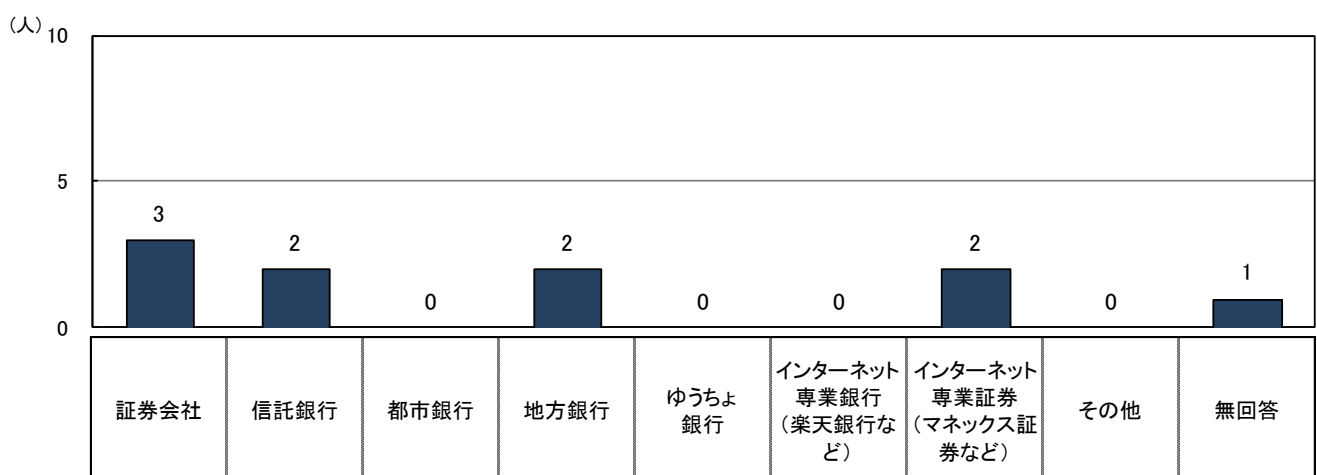
- ジュニアNISAを認知し、自身に未成年の子どもや孫やいる 151 人のうち、ジュニアNISA口座を「開設した経験がある」人は 6.6% (10 人) であった(図表 7-3)。
- ジュニアNISA口座開設経験者 (10 人) が口座を開設した金融機関としては(図表 7-4)、「証券会社」3 人、「信託銀行」2 人、「地方銀行」2 人、(28.8%)、「インターネット専門証券 (マネックス証券など)」2 人などが挙げられた。

(図表 7-3) ジュニアNISA口座の開設経験 (問 24)



ジュニアNISA認知者(n=151)

(図表 7-4) ジュニアNISA口座を開設した金融機関 (問 24-1)



ジュニアNISA口座の開設者(n=10)

(3) 回答者名義のNISA口座について

- ジュニアNISA口座を開設した経験がある10人のうち、自身名義の口座を「開設している」は9人であった(図表7-5)。
- 自身名義の口座を開設している9人のうち、自身の口座とジュニアNISA口座の口座が「同じ金融機関」は5人、「違う金融機関」は4人であった(図表7-6)。
- ジュニアNISA口座を開設した経験がある10人のうち、ジュニアNISAを開設した口座で「現在運用している」は4人、「運用していたが解約した」は1人で、5人は、「まだ運用を開始していない」と回答した(図表7-7)。
- 開設した口座でのジュニアNISAの運用経験者(5人)の開設口座での投資対象は、「上場株式のみ」が2人、「投資信託のみ」が2人、「上場株式と投資信託の両方」が1人であった(図表7-8)。
- ジュニアNISA口座の開設経験者10人の原資(複数回答)としては(図表7-9)、「定期預金(ゆうちょ銀行の定額貯金など)」が4人、「普通預金(ゆうちょ銀行の通常貯金など)」「株式」「年金」「退職金」がそれぞれ1人であった。
- ジュニアNISAを開設口座で現在運用している4人の運用額の平均は、69万5千円であった(図表7-10)。
- ジュニアNISA口座の開設経験者10人の利用目的(複数回答)としては(図表7-11)、「子や孫の教育資金を準備するため」を7人が挙げ、「子や孫への生前贈与の機会になるから」と「世帯全体で非課税運用を活用するため」を2人、「非課税贈与の基礎控除を活用するため」を1人が挙げた。

(図表7-5) 回答者名義のNISA口座(問24-2)

	n	開設している	開設していない	無回答
全体	10	9	1	0

(図表7-6) ジュニアNISA口座の金融機関(問24-3)

	n	同じ金融機関	違う金融機関	無回答
全体	9	5	4	0

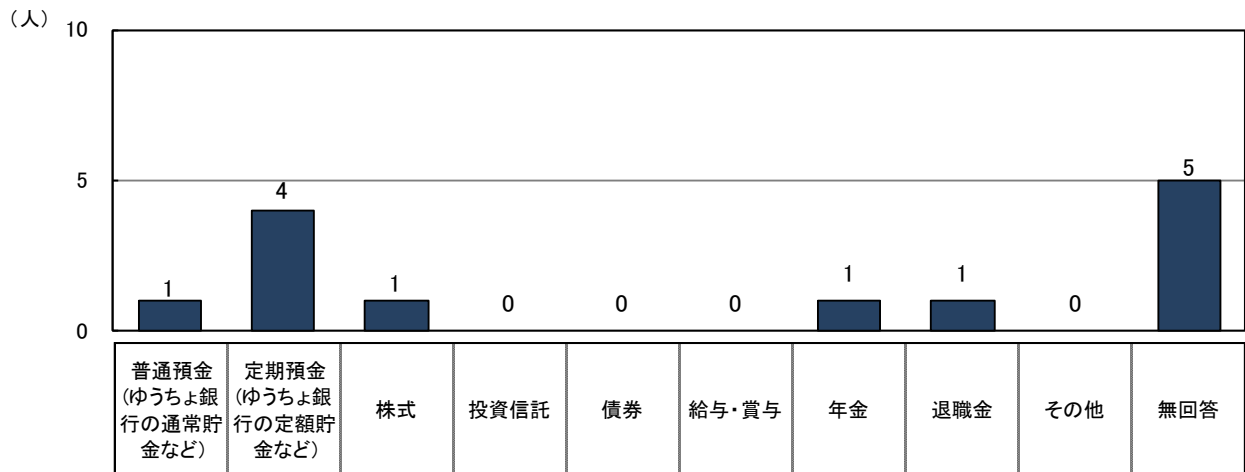
(図表7-7) ジュニアNISAの運用(問24-4)

	n	現在運用している	運用していたが解約した	まだ運用を開始していない	無回答
全体	10	4	1	5	0

(図表 7-8) ジュニアNISAの投資対象 (問 24-5)

	n	上場株式のみ	投資信託のみ	上場株式と投資信託の両方	無回答
全 体	5	2	2	1	0

(図表 7-9) NISA口座の運用した原資 (複数回答) (問 24-6)

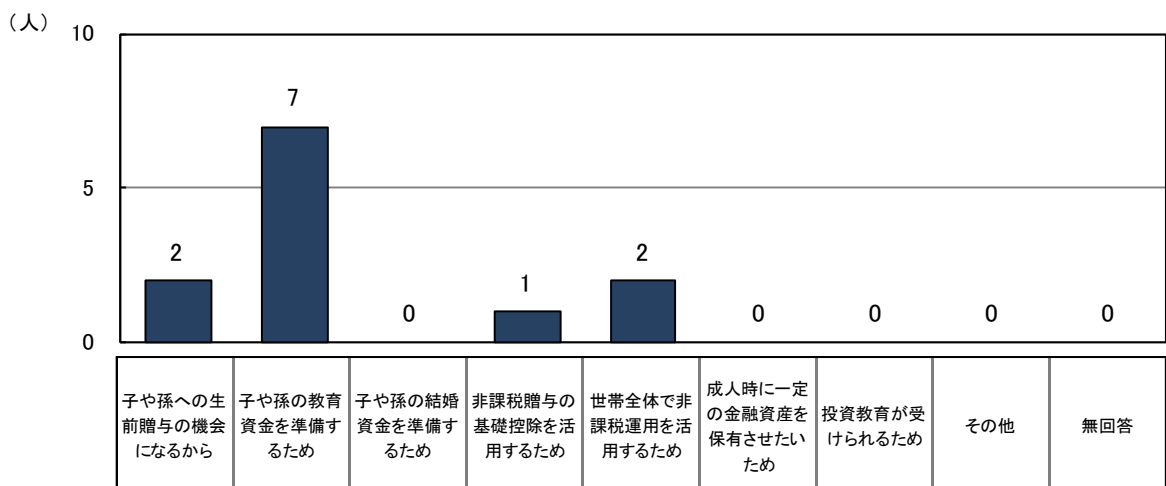


ジュニアNISA口座開設者(n=10)

(図表 7-10) 本年8月末現在のNISA口座での運用額 (問 24-7)

	n	0万円	~30万円未満	~50万円未満	~100万円未満	~200万円未満	200万円以上
全 体	4	-	1	-	2	1	0

(図表 7-11) ジュニアNISAの利用目的 (複数回答) (問 24-8)



NISA口座の開設者(n=10)

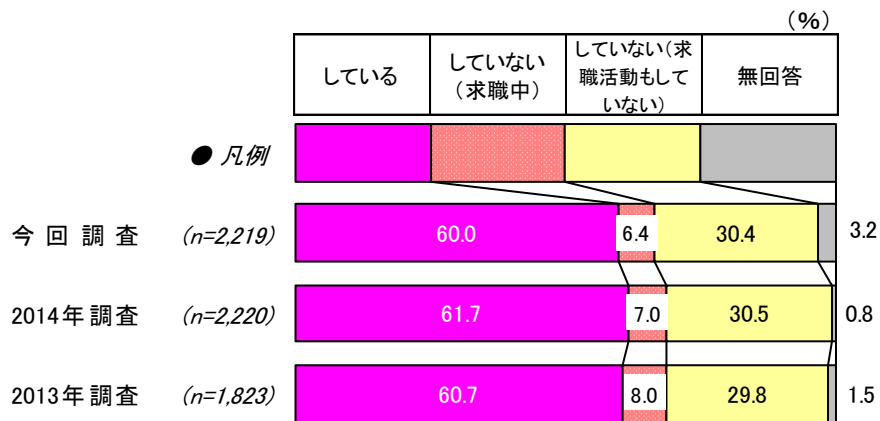
8. 就業状況

(1) 現在就業状況 (本人・配偶者)

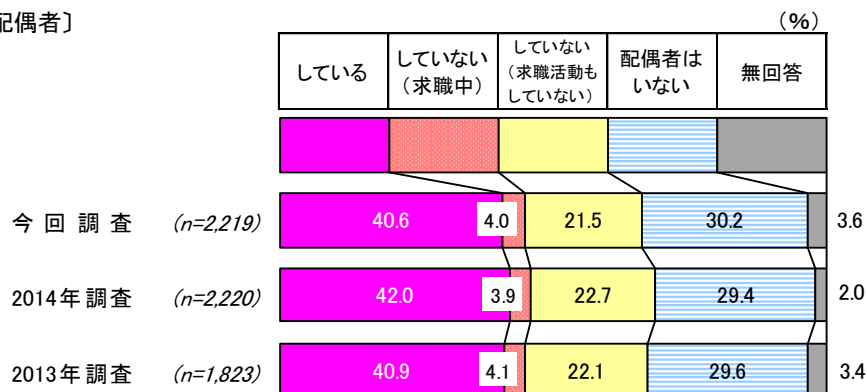
- 回答者本人で現在収入をとまなう仕事を「している」人は60.0%で、現在収入をとまなう仕事を「していない (求職中)」人は6.4%、「していない (求職活動もしていない)」人は30.4%となった(図表8-1)。
- 一方、配偶者が、現在収入をとまなう仕事を「している」と回答した人は40.6%で、「していない (求職中)」人は4.0%、「していない (求職活動もしていない)」人は21.5%となった。3割は、「配偶者はいない」(30.2%)という回答であった(図表8-1)。

(図表8-1) 現在就業状況 (本人・配偶者) (問25・問26)

[本人]



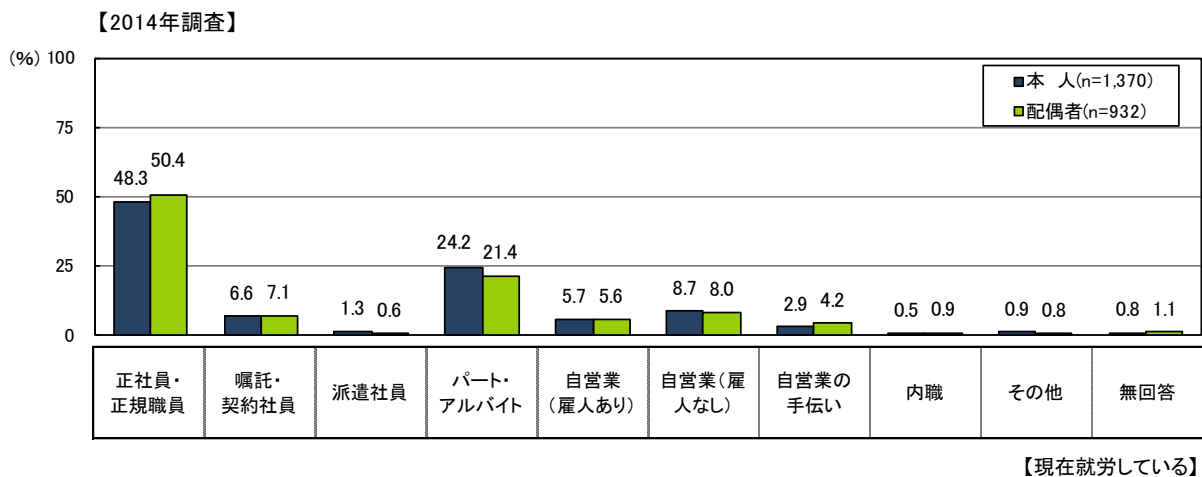
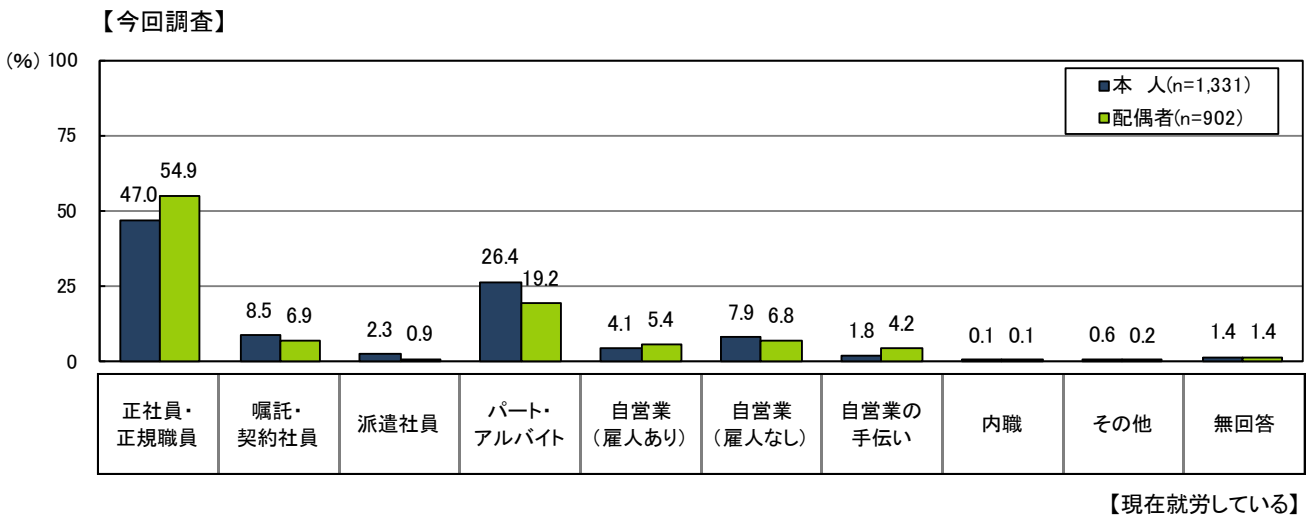
[配偶者]



(2) 就業者の雇用形態（本人・配偶者）

- 有職回答者（1,331人）の雇用形態は(図表 8-2)、「正社員・正規職員」が47.0%、「パート・アルバイト」が26.4%となった。
- 一方、配偶者が有職の回答者（902人）の配偶者の雇用形態は、過半数が「正社員・正規職員」（54.9%）で、次いで、「パート・アルバイト」（19.2%）、「嘱託・契約社員」（6.9%）、「自営業（雇人なし）」（6.8%）の順となった。

(図表 8-2) 就業者の雇用形態（本人・配偶者）（問 25-1①・問 26-1①）

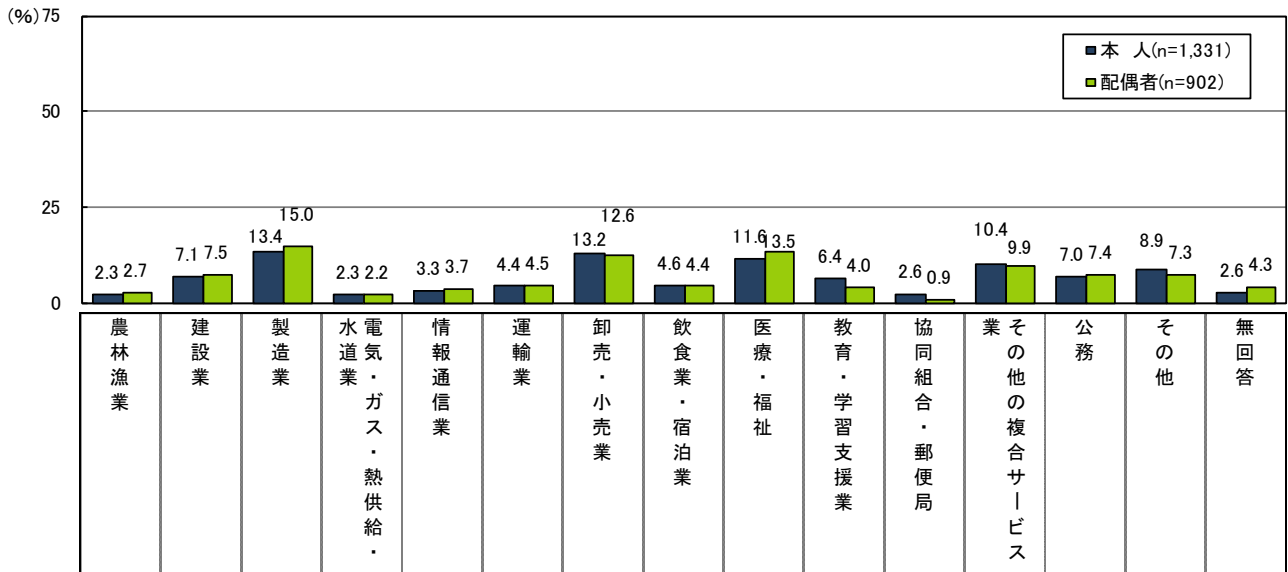


(3) 就業者の業種 (本人・配偶者)

- 有職回答者(1,331人)の業種は(図表 8-3)、回答者本人は、「製造業」(13.4%)、「卸売・小売業」(13.2%)、「医療・福祉」(11.6%)、「その他の複合サービス業」(10.4%)が、いずれも1割台であった。
- 配偶者(902人)は、「製造業」(15.0%)、「卸売・小売業」(12.6%)、「医療・福祉」(13.5%)が1割台で並んだ。

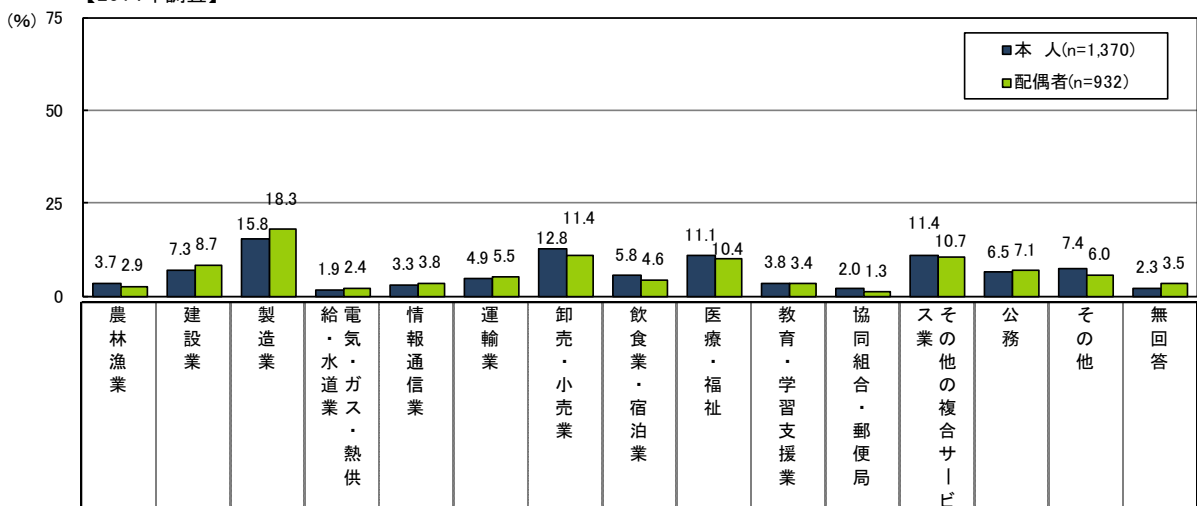
(図表 8-3) 就業者の業種 (本人・配偶者) (問 25-1②・問 26-1②)

【今回調査】



【現在就労している】

【2014年調査】

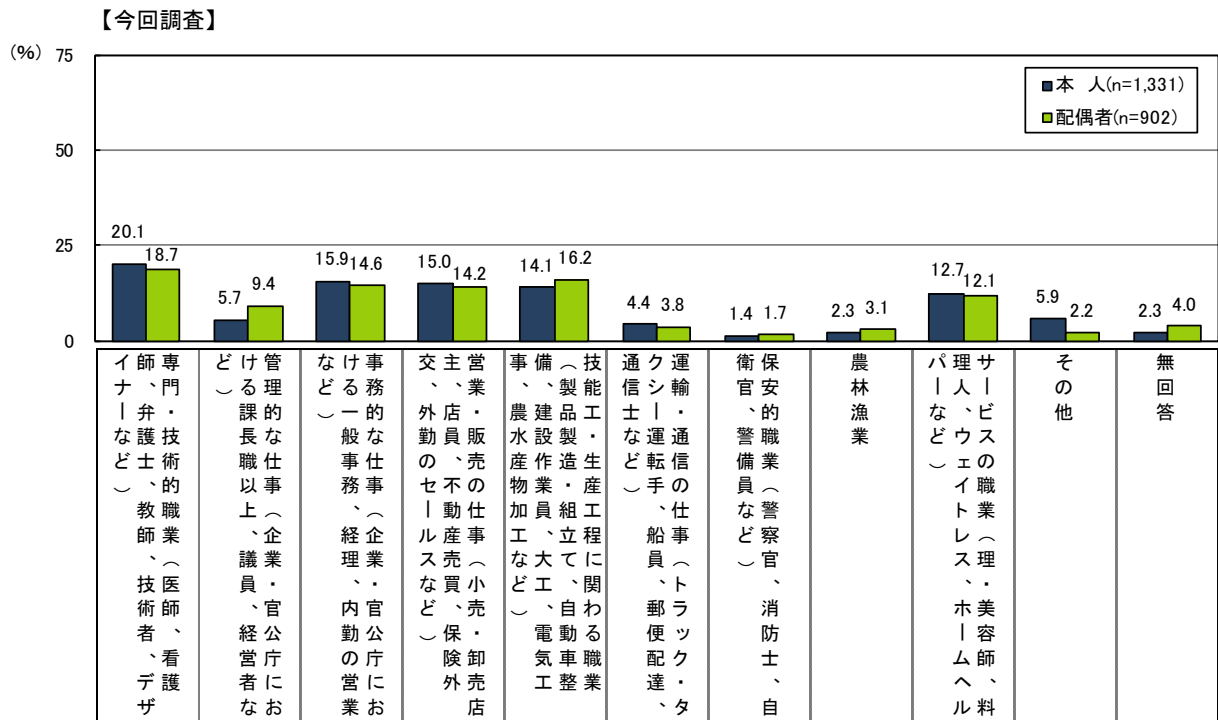


【現在就労している】

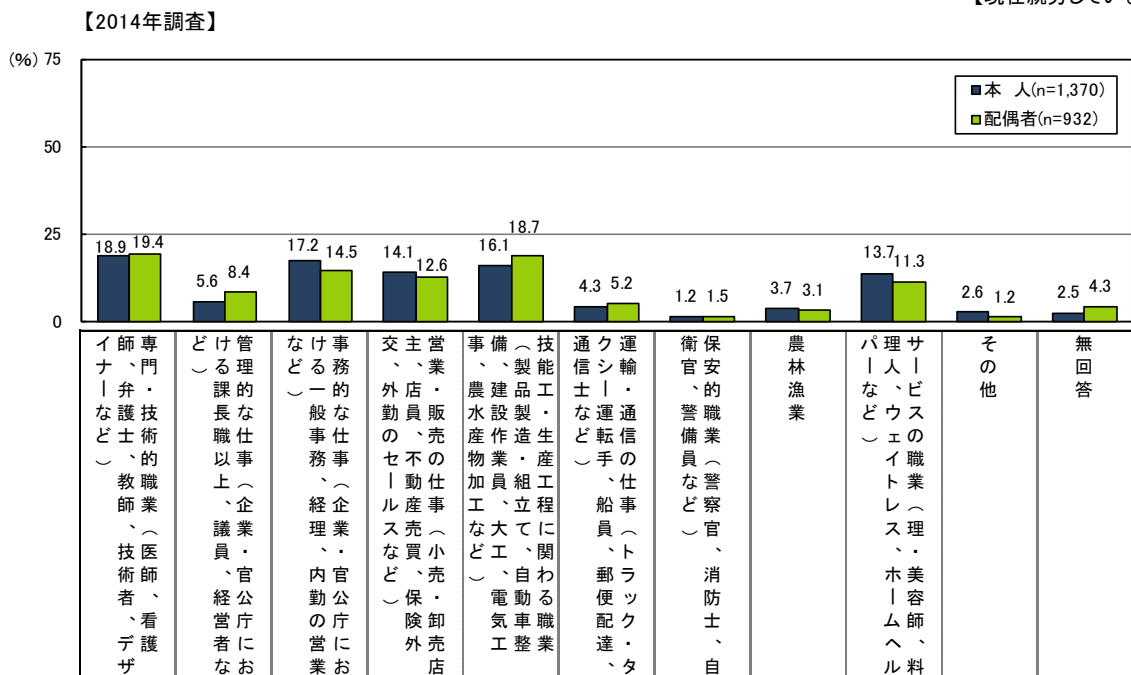
(4) 就業者の職種 (本人・配偶者)

- 有職回答者 (1,331 人) の職種は(図表 8-4)、「専門・技術的職業」(20.1%)、「事務的な仕事」(15.9%)、「営業・販売の仕事」(15.0%)、「技能工・生産工程に関わる職業」(14.1%)、「サービスの職業」(12.7%) が1割台となった。
- 配偶者 (902 人) の職種は、「専門・技術的職業」(18.7%)、「技能工・生産工程に関わる職業」(16.2%)、「事務的な仕事」(14.6%)、「営業・販売の仕事」(14.2%)、「サービスの職業」(12.1%) の順で、いずれも1割台となった。

(図表 8-4) 就業者の職種 (本人・配偶者) (問 25-1③・問 26-1③)



【現在就労している】



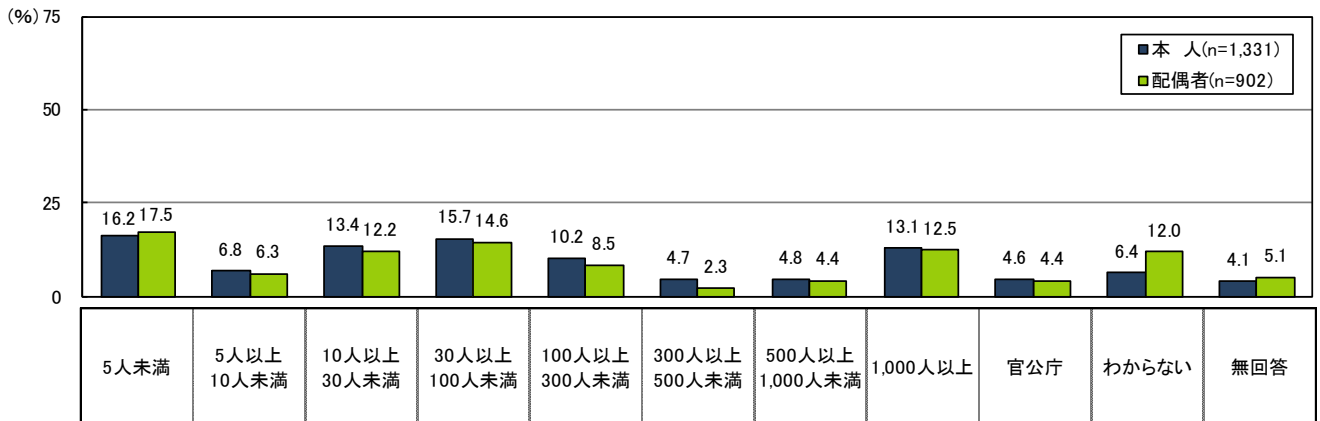
【現在就労している】

(5) 就業者の就業先従業員数（本人・配偶者）

- 有職回答者（1,331人）の就業先の従業員数は(図表 8-5)、「5人未満」が16.2%、「30人以上100人未満」が15.7%、「10人以上30人未満」が13.4%、「1,000人以上」が13.1%となった。
- 配偶者が有職の回答者(902人)の配偶者では、「5人未満」(17.5%)、「30人以上100人未満」(14.6%)、「1,000人以上」(12.5%)、「10人以上30人未満」(12.2%)の順となった。

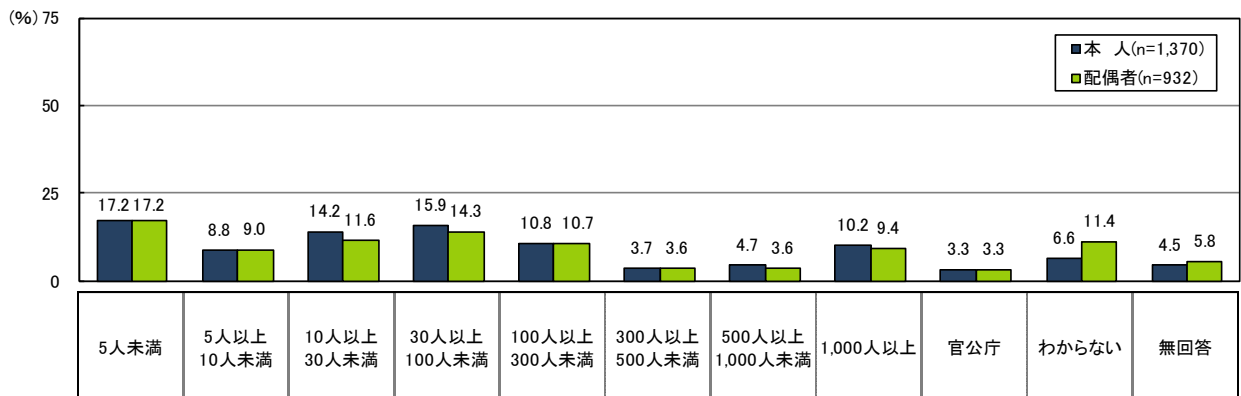
(図表 8-5) 就業先の従業員数（本人・配偶者）（問 25-1④・問 26-1④）

【今回調査】



【現在就労している】

【2014年調査】



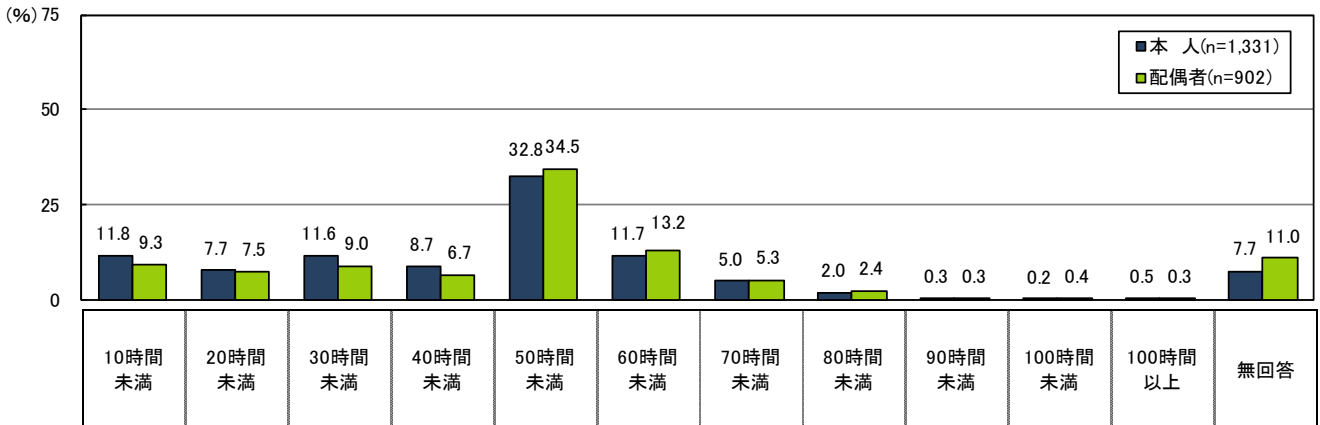
【現在就労している】

(6) 就業者の就労時間 (本人・配偶者)

- 残業時間を含んだ1週間の就労時間は(図表 8-6)、回答者本人、配偶者ともに「40 時間以上 50 時間未満」(本人 32.8%、配偶者 34.5%) が3割台で最も多かった。平均就労時間は、回答者本人(1,331人)では 35.3 時間、配偶者(902人)では 37.3 時間となった。

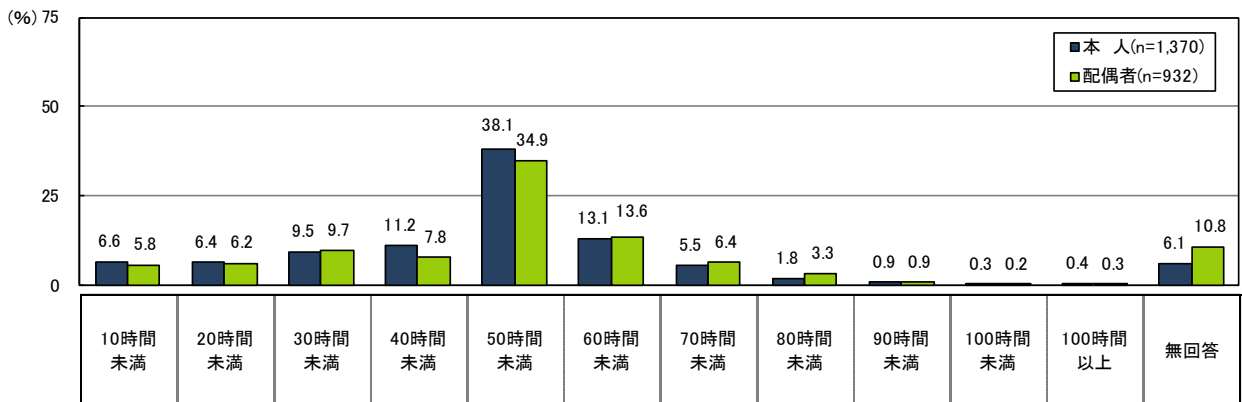
(図表 8-6) 就業者の就労時間 (本人・配偶者) (問 25-1⑤・問 26-1⑤)

【今回調査】



【現在就労している】

【2014年調査】

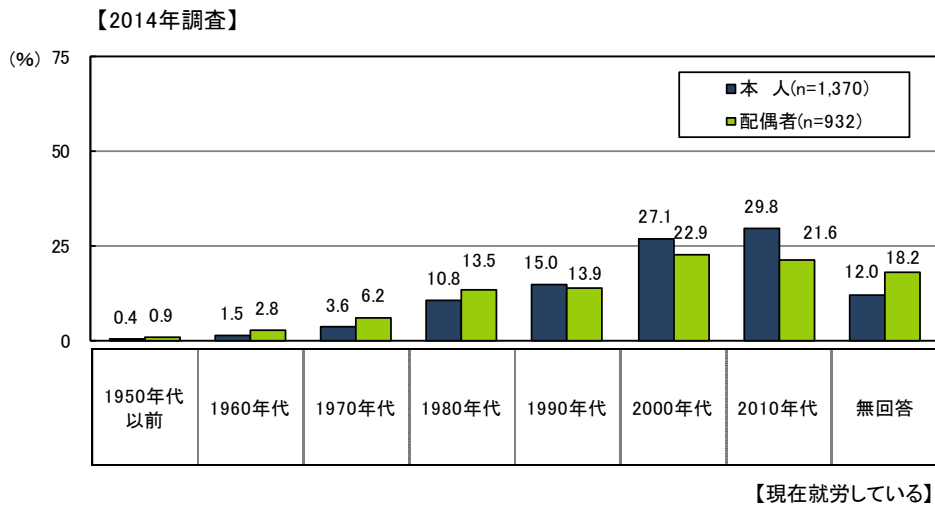
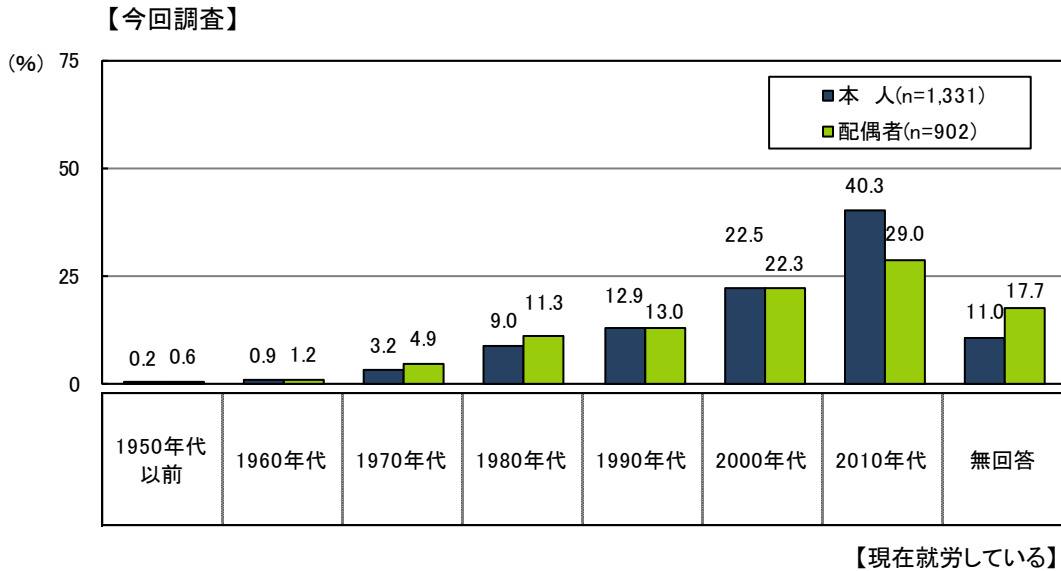


【現在就労している】

(7) 就業者の就労時期（本人・配偶者）

- 現在の就業先の就労時期は(図表 8-7)、回答者本人(1,331人)は「2010年代」が40.3%で、次いで、「2000年代」が22.5%であった。
- 配偶者(902人)は、「2010年代」(29.0%)と「2000年代」(22.3%)が、ともに2割台であった。

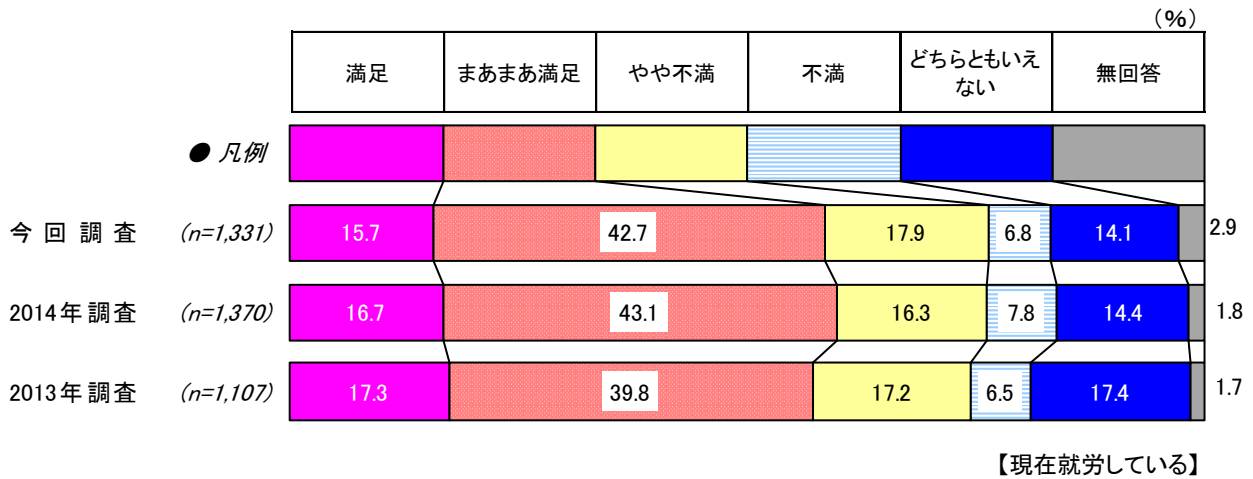
(図表 8-7) 就業者の就労時期（本人・配偶者）（問 25-1⑥・問 26-1⑥）



(8) 就業者の仕事に対する満足度 (本人)

- 有職回答者 (1,331 人) の仕事に対する満足度は(図表 8-8)、「満足」が 15.7%で、「まあまあ満足」(42.7%) を合わせると『満足』(58.4%) が 6 割近くであった。一方、『不満』(「不満」と「やや不満」の合計) と回答した人は、24.7%となった。

(図表 8-8) 就業者の仕事に対する満足度 (本人) (問 25-1⑦)

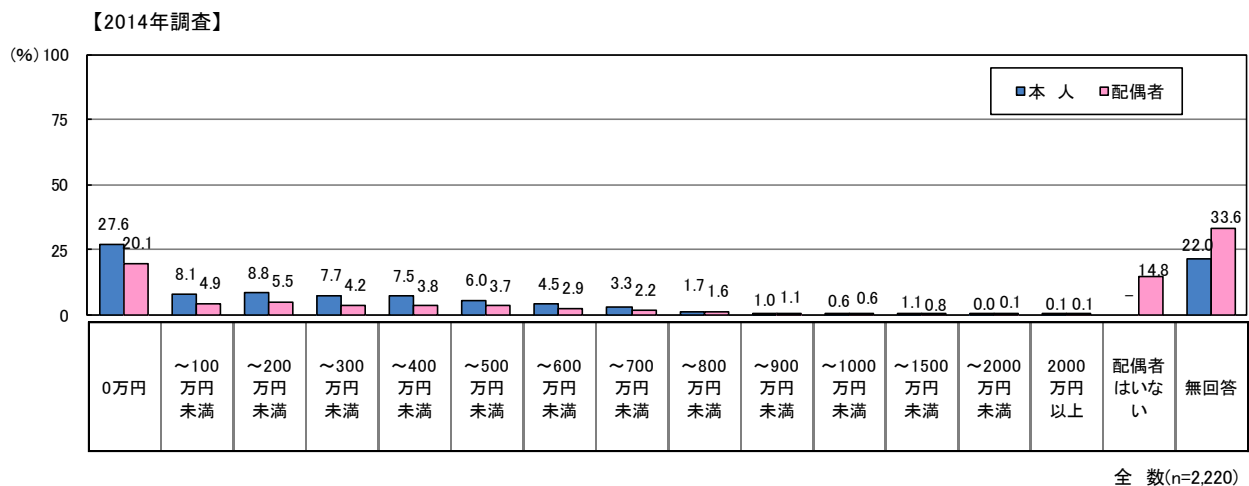
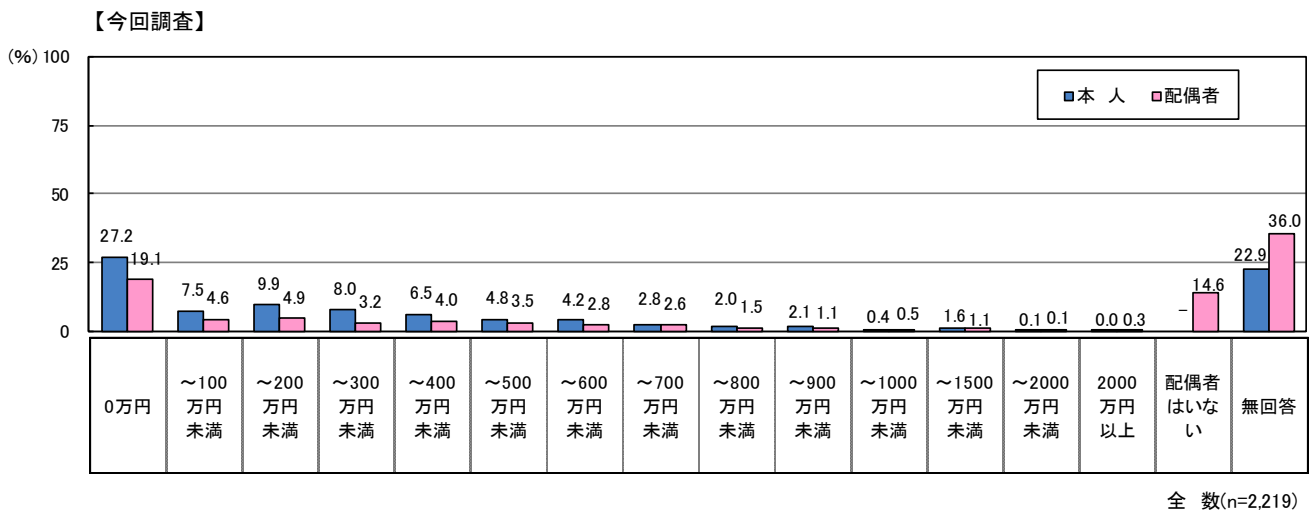


9. 収入と支出、社会保険について

(1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）

- 昨年1年間の就労収入（税込）は(図表 9-1)、回答者本人は、「100 万円以上 200 万円未満」（9.9%）、「200 万円以上 300 万円未満」（8.0%）、「0 万円超 100 万円未満」（7.5%）の順であった。
- 一方、配偶者は、「100 万円以上 200 万円未満」（4.9%）、「0 万円超 100 万円未満」（4.6%）、「300 万円以上 400 万円未満」（4.0%）の順となった。
- 「0 万円（収入はなかった）」は、回答者本人の3割近く（27.2%）、配偶者の約2割（19.1%）であった。
- 平均収入は、回答者本人では 222 万 7 千円、配偶者では 243 万 1 千円となった。

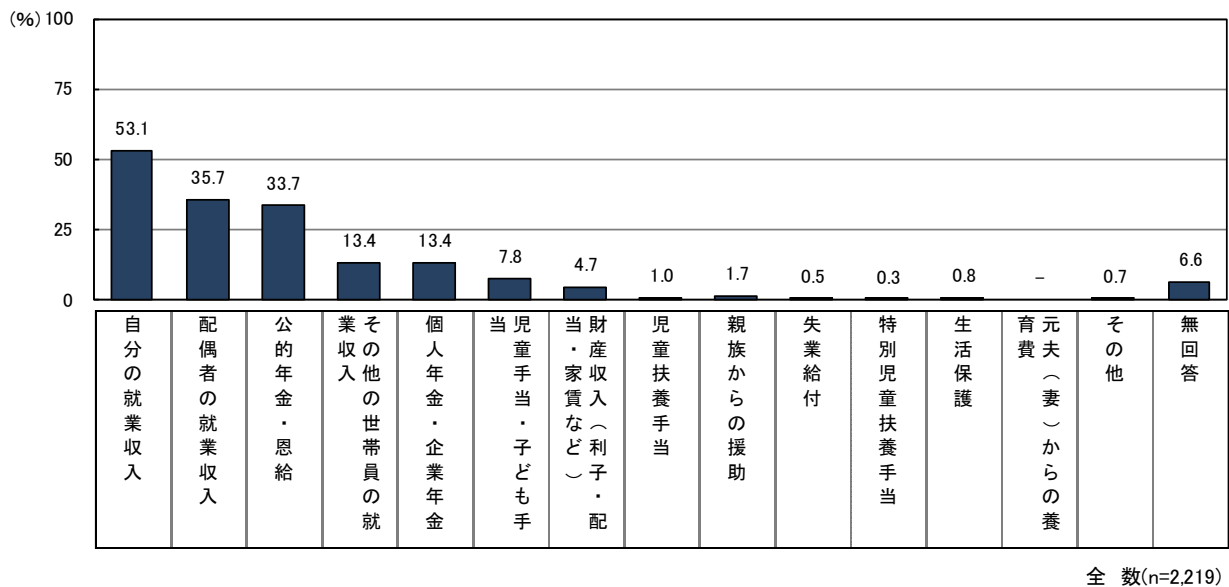
(図表 9-1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）（問 27）



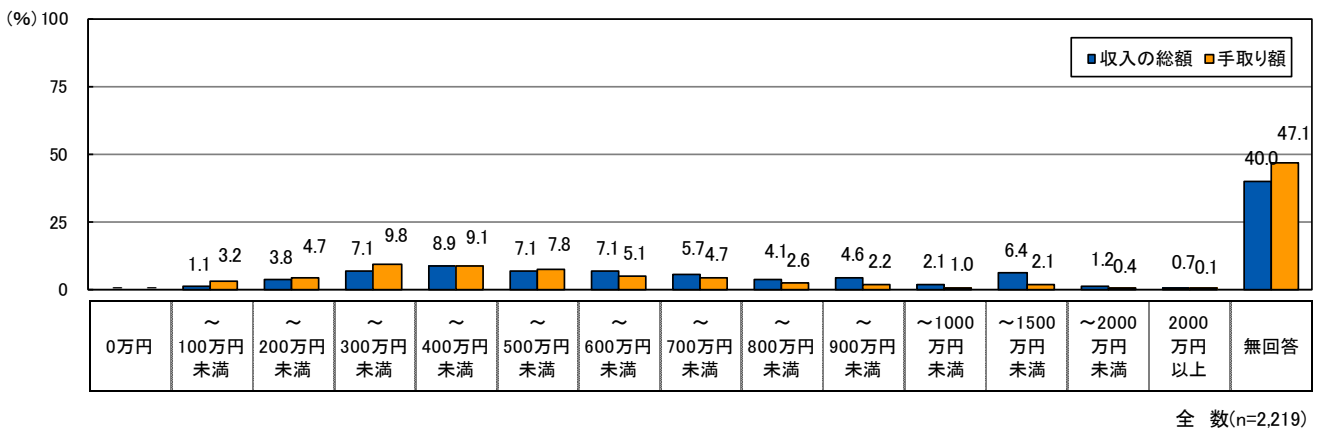
(2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）

- 昨年の世帯収入源（複数回答）としては(図表 9-2)、「自分の就業収入」が 53.1%で最も多く挙げられ、次いで、「配偶者の就業収入」（35.7%）と「公的年金・恩給」（33.7%）が3割台で並んだ。
- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年1年間の収入は(図表 9-3)、遺産を除いた税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入では、「300万円以上 400万円未満」8.9%、「400万円以上 500万円未満」7.1%、「500万円以上 600万円未満」7.1%、「200万円以上 300万円未満」7.1%など回答が分散し、平均世帯総収入は 620 万 5 千円となった。
- 一方、税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額は(図表 9-3)、「200万円以上 300万円未満」（9.8%）、「300万円以上 400万円未満」（9.1%）などが1割近くで、平均手取り額は 459 万 8 千円となった。

(図表 9-2) 昨年の世帯収入源（問 28、複数回答）

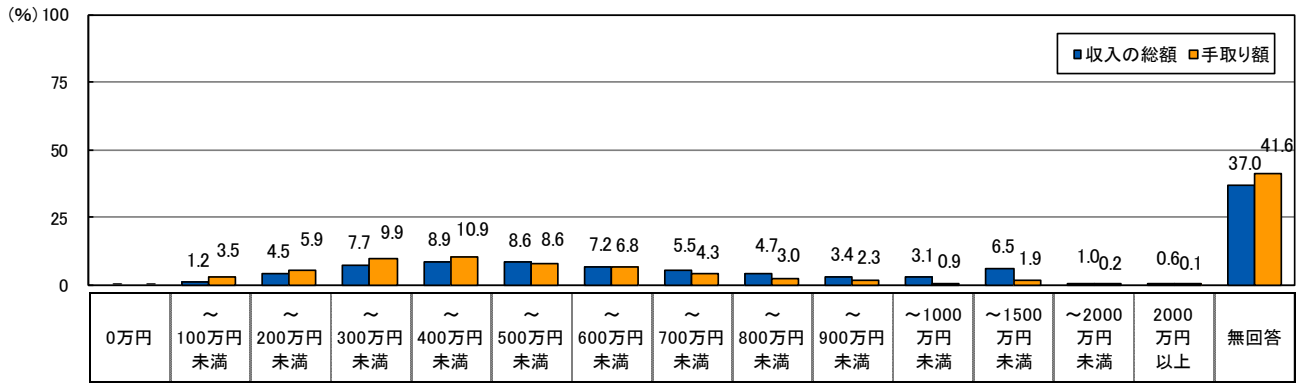


(図表 9-3) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）（問 28-1）



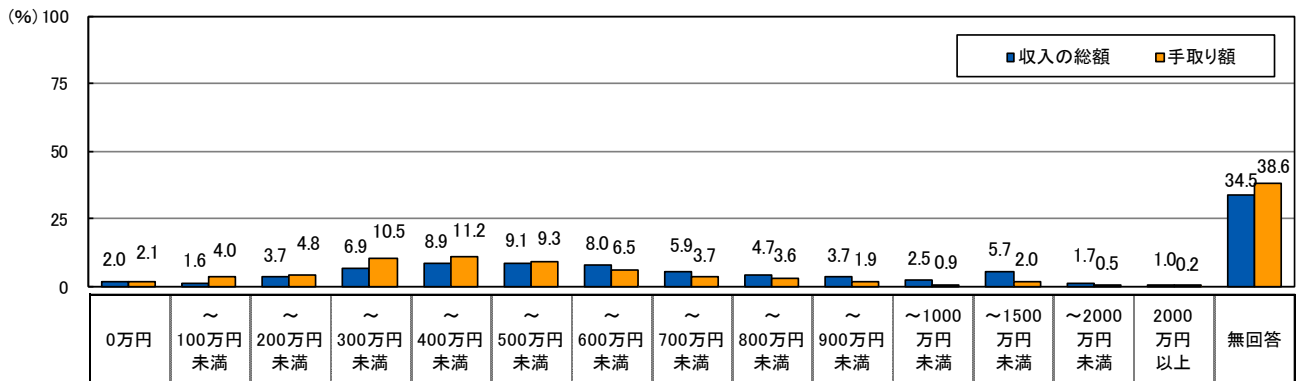
(図表9-3)・つづき 昨年の世帯年収（総収入・手取り）（問28）

【2014年調査】



全数(n=2,220)

【2013年調査】

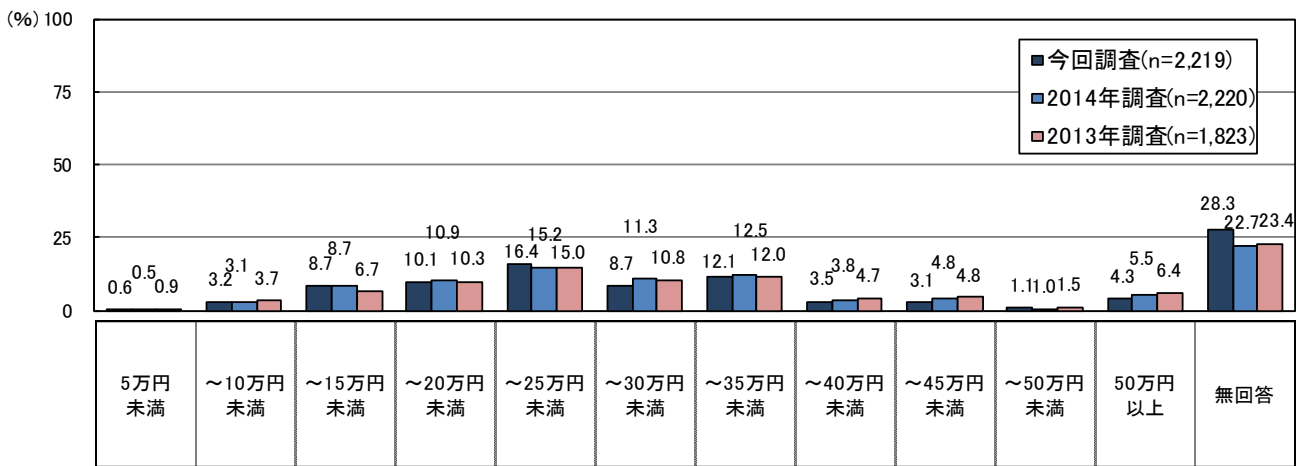


全数(n=1,823)

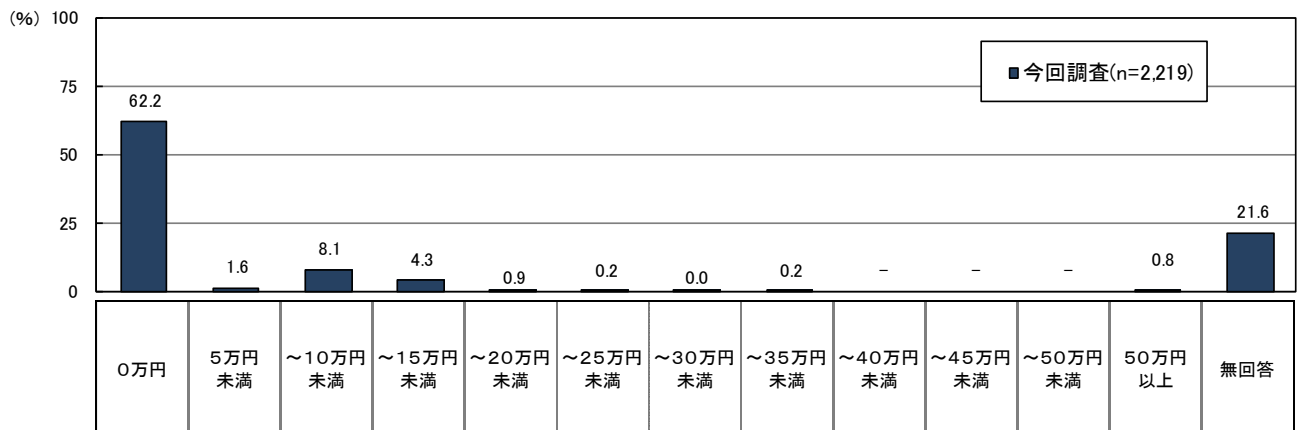
(3) 昨年ひと月あたりの世帯支出と住宅ローン返済額

- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年のひと月あたりの支出は(図表 9-4)、「20 万円以上 25 万円未満」が 16.4%で最も多く、「10 万円以上 15 万円未満」(8.7%) から「30 万円以上 35 万円未満」(12.1%) の範囲が、いずれも 1 割前後であった。
- 昨年ひと月あたりの平均世帯支出額は 24 万 3 千円となった。
- 昨年ひと月あたりの住宅ローン返済額は(図表 9-5)、「5 万円以上 10 万円未満」が 8.1%、「10 万円以上 15 万円未満」が 4.3%などの順となった。6 割以上は、「0 万円 (昨年 1 年間は、住宅ローンの返済はなかった)」(62.2%) と回答した。
- 昨年ひと月あたりの平均住宅ローン返済額は 2 万 7 千円であった。

(図表 9-4) 昨年ひと月あたりの世帯支出 (問 29①)



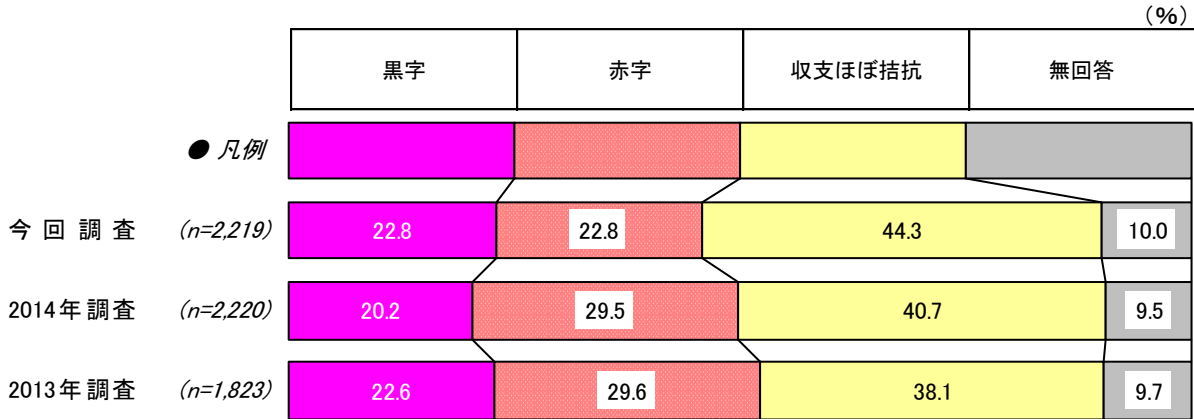
(図表 9-5) 昨年ひと月あたりの住宅ローン返済額 (問 29②)



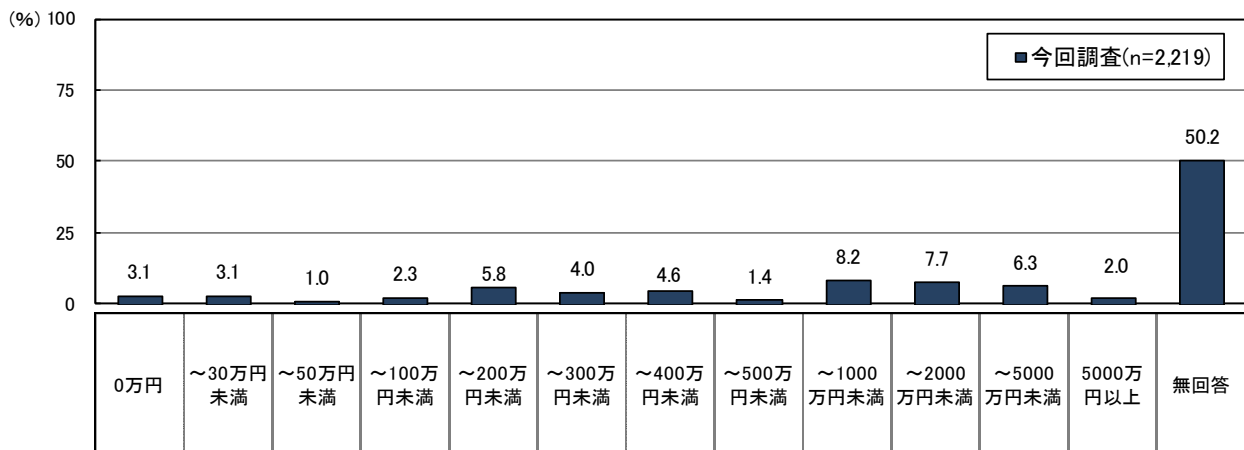
(4) 家計の収支状況と保有金融資産残高

- 回答者の世帯の家計の収支状況は(図表 9-6)、「収支ほぼ拮抗」が 44.3%で、次いで「赤字」と「黒字」は、ともに 22.8%であった。
- 家計で保有している金融資産残高は(図表 9-7)、「500 万円以上 1,000 万円未満」(8.2%)、「1,000 万円以上 2,000 万円未満」(7.7%)、「2,000 万円以上 5,000 万円未満」(6.3%) が上位で、平均金融資産残高は、1,009 万 3 千円であった。

(図表 9-6) 家計の収支状況 (問 30)



(図表 9-7) 保有金融資産残高 (問 31)

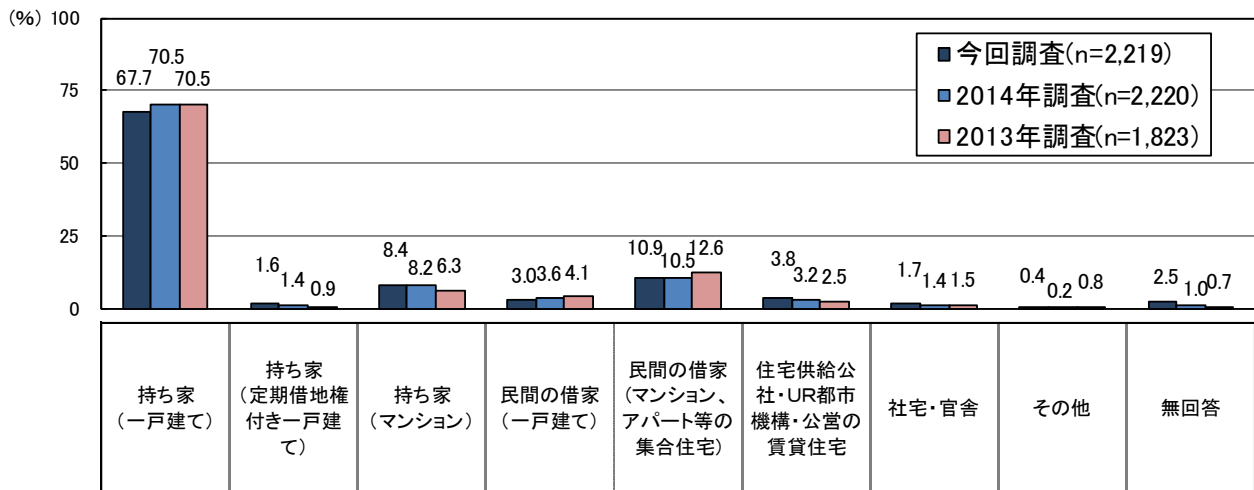


10. 住居について

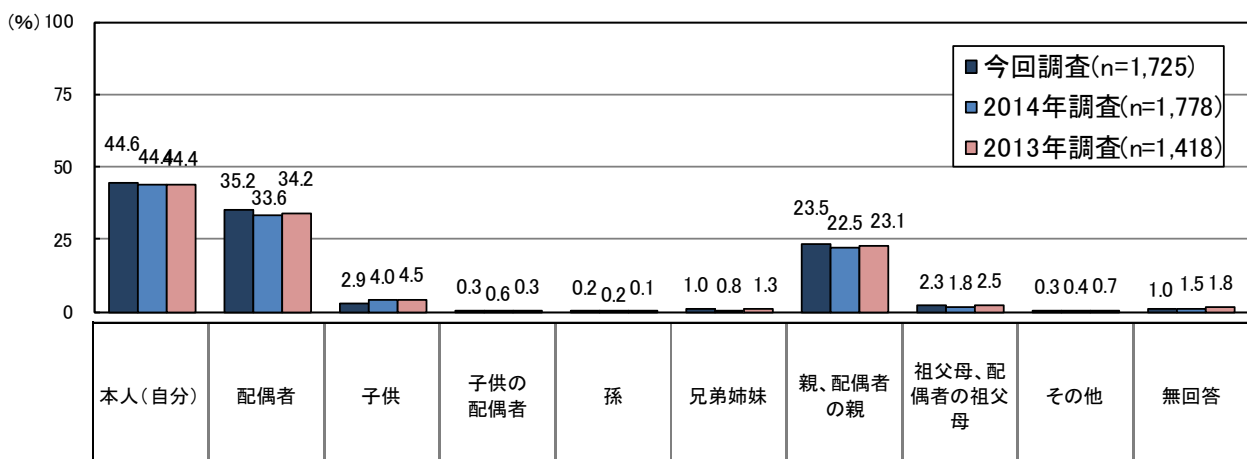
(1) 住居形態

- 現在の住居形態は(図表 10-1)、「持ち家 (一戸建て)」が 67.7%で、「持ち家 (定期借地権付き一戸建て住宅)」(1.6%)、「持ち家 (マンション)」(8.4%) を合わせると、『持ち家』居住 (77.7%) が8割近くとなった。一方、「民間の借家 (マンション、アパート等の集合住宅)」(10.9%)、「住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅」(3.8%)、「民間の借家 (一戸建て)」(3.0%) を合わせると、『賃貸住宅』居住 (17.7%) は2割弱となった。
- 居住する『持ち家』(1,725人)の所有者(複数回答)は(図表 10-2)、「本人」が44.6%で最も多く、以下、「配偶者」(35.2%)、「親、配偶者の親」(23.5%)の順となった。

(図表 10-1) 住居形態 (問 32)



(図表 10-2) 『持ち家』の所有者 (問 32-1、複数回答)

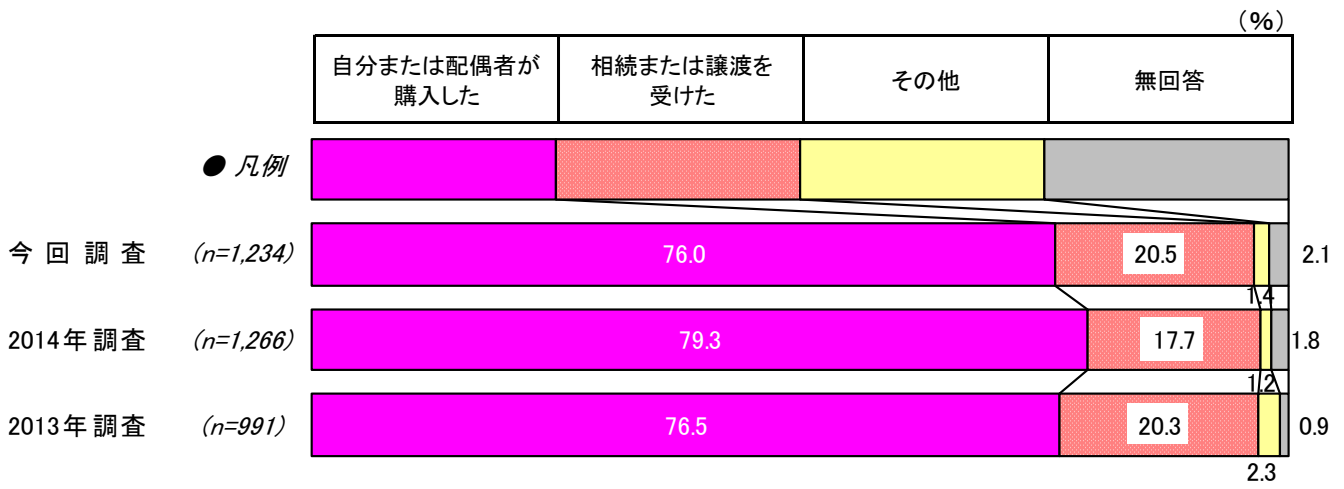


【持ち家あり】

(2) 取得経路・取得時期

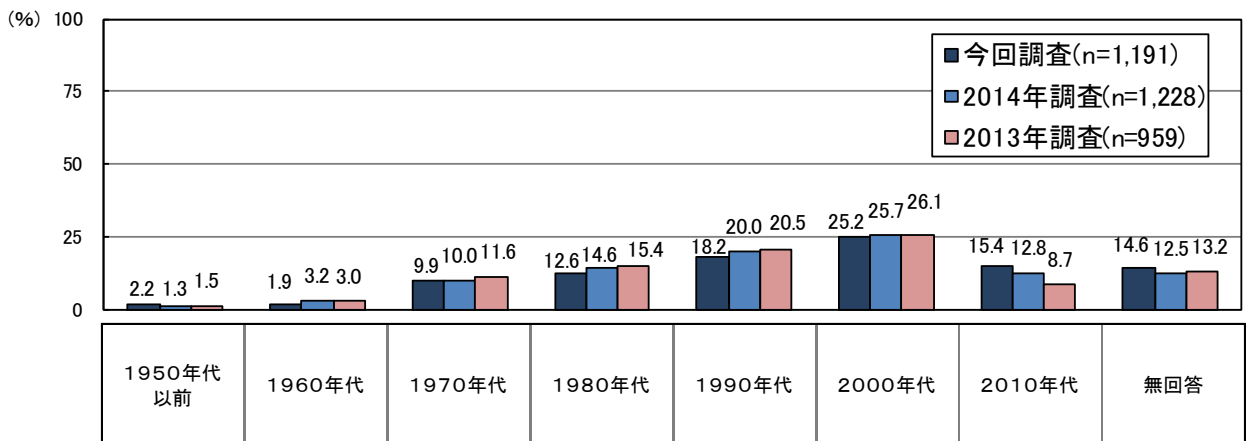
- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』所有者（1,234人）における、持ち家の取得経路は（図表10-3）、「自分または配偶者が購入した」が76.0%で、「相続または譲渡を受けた」（20.5%）と回答した人は2割となった。
- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』を購入もしくは相続した1,191人が『持ち家』を取得した時期は（図表10-4）、「2000年代」が25.2%で、次いで、「1990年代」（18.2%）、「2010年代」（15.4%）、「1980年代」（12.6%）の順となった。

(図表10-3) 『持ち家』の取得経路 (問32-2)



【本人、配偶者が持ち家を所有】

(図表10-4) 『持ち家』の取得時期 (問32-3)

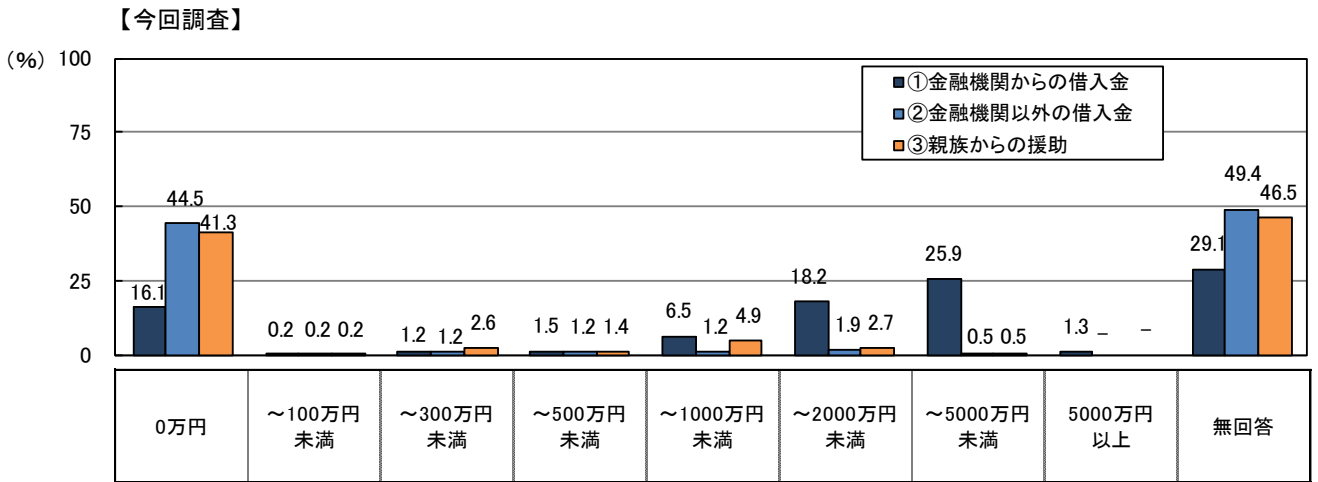


【自分または配偶者が購入／相続または譲渡者】

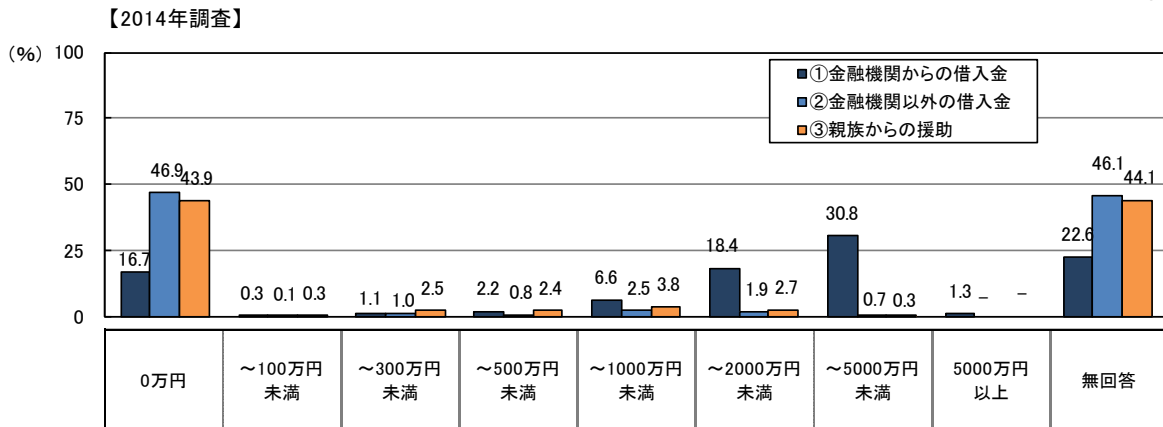
(3) 自己資金以外の購入資金

- 回答者本人もしくは配偶者が購入した 938 人の『持ち家』購入資金としては(図表 10-5)、“金融機関からの借入金”は「2,000 万円以上 5,000 万円未満」が 25.9%で最も多く、次いで、「1,000 万円以上 2,000 万円未満」が 18.2%となった。平均借入金額は 1,963 万 8 千円であった。
- “それ(金融機関)以外の借入金”と“親族からの援助”については、「0 万円」(金融機関以外 44.5%、親族 41.3%)と無回答(同 49.4%、46.5%)の合計が、ともに 9 割前後となった。平均借入額は、“それ(金融機関)以外の借入金”(58 人)は 764 万 2 千円、“親族からの援助”(115 人)は 653 万円であった。

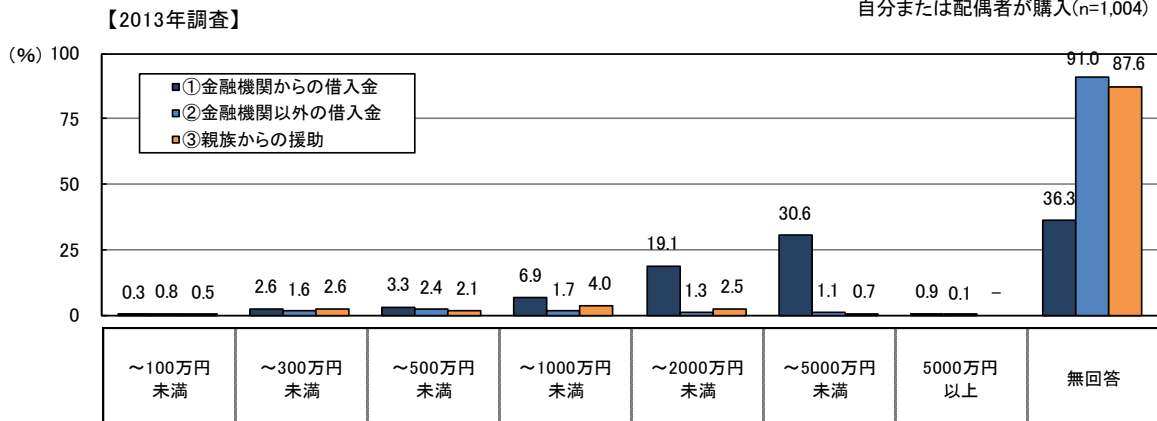
(図表 10-5) 自己資金以外の購入資金 (問 32-4)



自分または配偶者が購入(n=938)



自分または配偶者が購入(n=1,004)

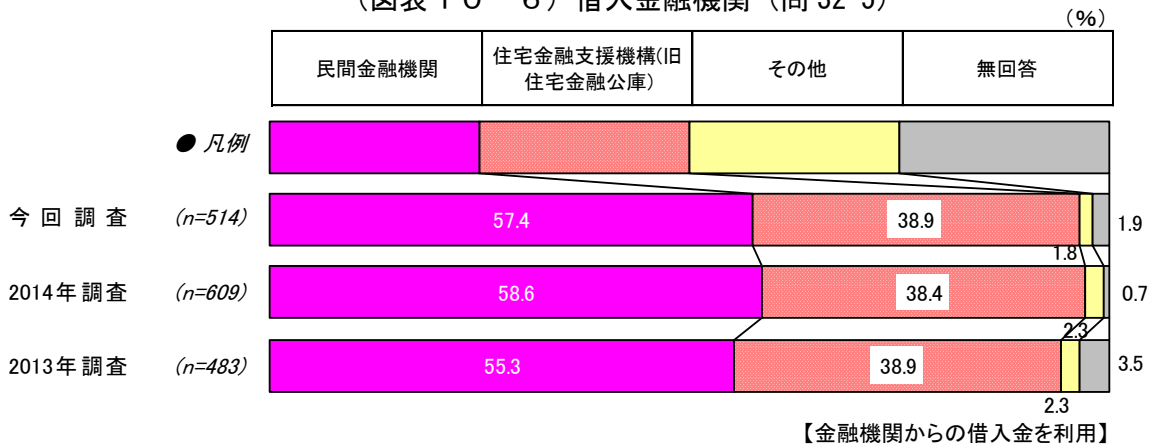


自分または配偶者が購入(n=758)

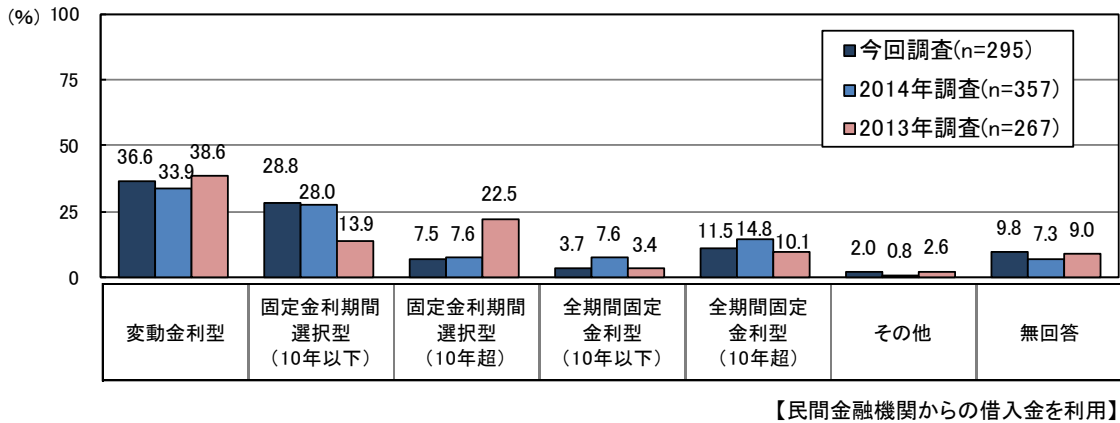
(4) 借入金融機関・金利タイプ・借入金利

- “金融機関からの借入金”がある回答者(514人)が『持ち家』購入にあたっての資金を調達した金融機関としては(図表10-6)、「民間金融機関」(57.4%)が6割近くを占め、「住宅金融支援機構(旧住宅金融公庫)」(38.9%)は4割弱となった。
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した295人の借入金利タイプは(図表10-7)、「変動金利型」が36.6%で最も多く、次いで、「固定金利期間選択型(10年以下)」が28.8%、「全期間固定金利型(10年超)」が11.5%となった。
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した295人の借入当時の金利は(図表10-8)、「0.5%以上1.0%未満」(10.2%)、「1.0%以上1.5%未満」(8.8%)、「1.5%以上2.0%未満」(8.1%)、「5.0%以上」(8.1%)が、いずれも1割前後となった。

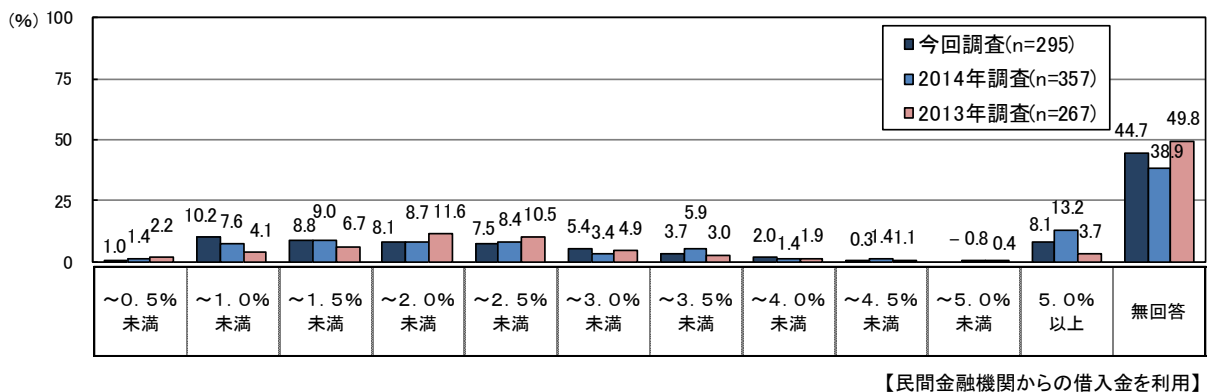
(図表10-6) 借入金融機関 (問32-5)



(図表10-7) 金利タイプ (問32-5-2)



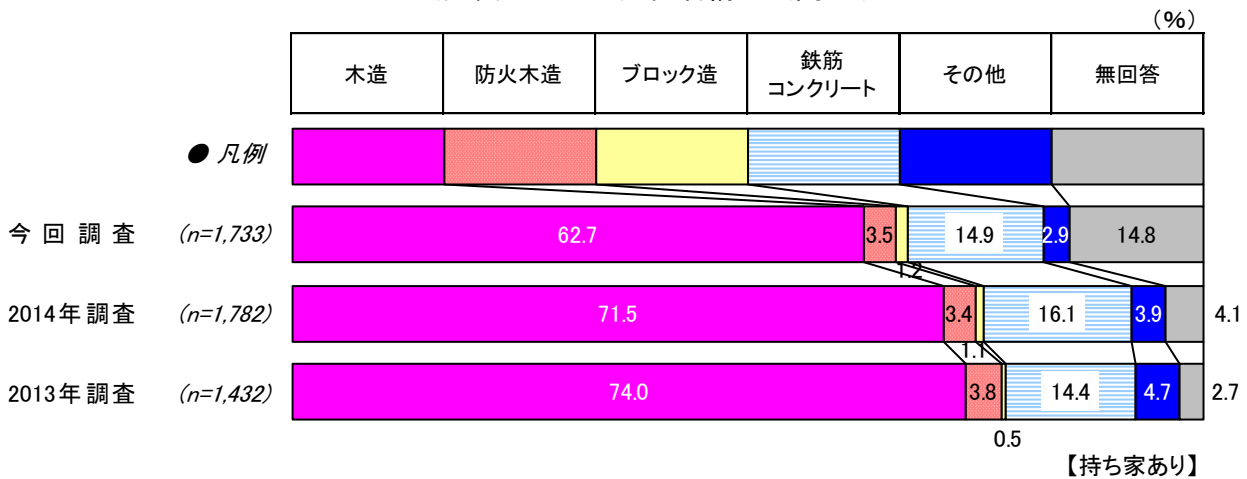
(図表10-8) 借入金利 (問32-5-3)



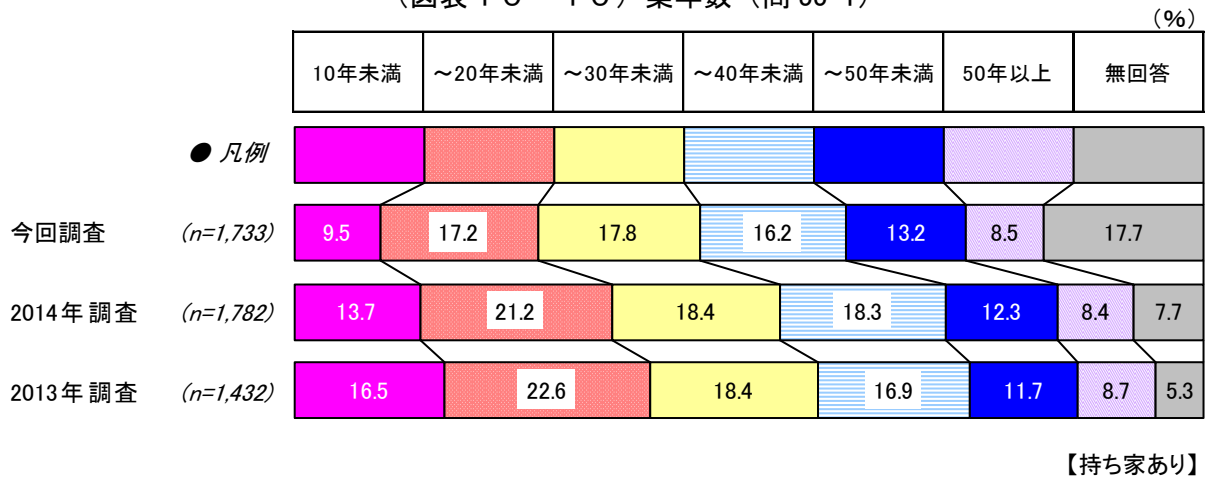
(5) 住居構造・築年数・敷地面積・床面積

- 持ち家またはその他住居の居住者 (1,733 人) の現在の住居構造は(図表 10-9)、「木造」が 62.7%、「鉄筋コンクリート」が 14.9%であった。
- 築年数は(図表 10-10)、「20 年以上 30 年未満」(17.8%)、「10 年以上 20 年未満」(17.2%)、「30 年以上 40 年未満」(16.2%) と回答した人がいずれも 2 割近くとなった。平均築年数は 28.5 年であった。
- 一戸建て持ち家またはその他住居に居住する回答者 (1,546 人) の一戸建て住宅の敷地面積は(図表 10-11)、「200 m²以上 300 m²未満」(15.2%)、「150 m²以上 200 m²未満」(14.9%)、「300 m²以上 500 m²未満」(12.9%) が、いずれも 1 割台となった。平均敷地面積は、302.5 m²であった。
- 持ち家またはその他住居に居住する回答者 (1,733 人) の住宅の床面積は(図表 10-11)、「100 m²以上 150 m²未満」(23.4%)、「50 m²以上 100 m²未満」(19.6%) が 2 割前後となった。平均床面積は、137.4 m²であった。

(図表 10-9) 住居構造 (問 33)

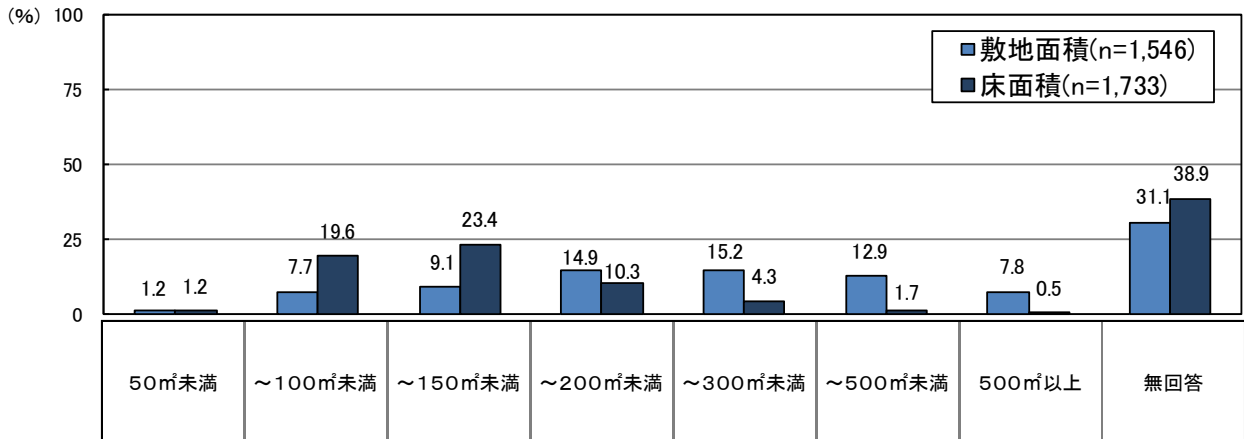


(図表 10-10) 築年数 (問 33-1)



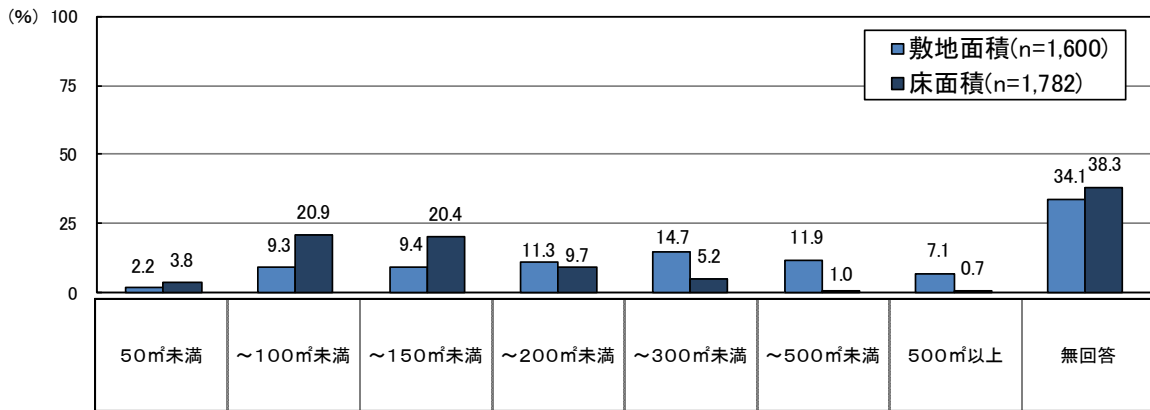
(図表10-11) 敷地面積・床面積 (問33-2)

【今回調査】



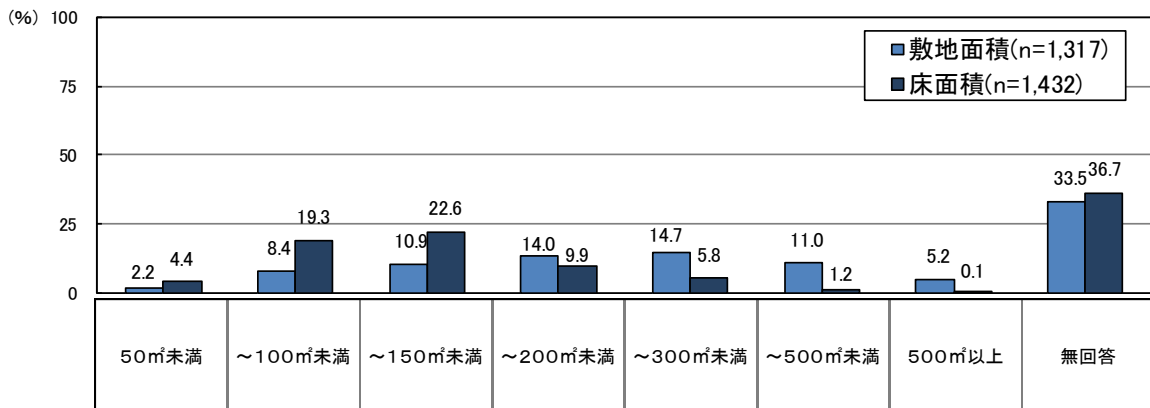
【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

【2014年調査】



【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

【2013年調査】

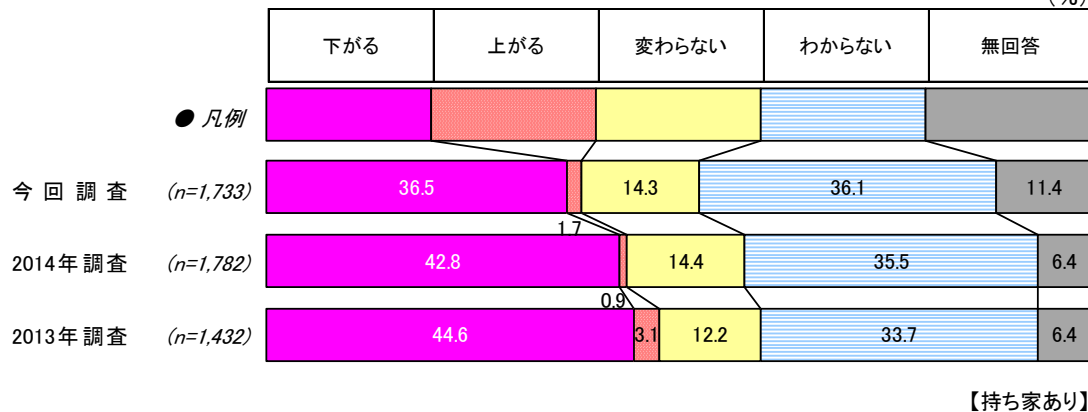


【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

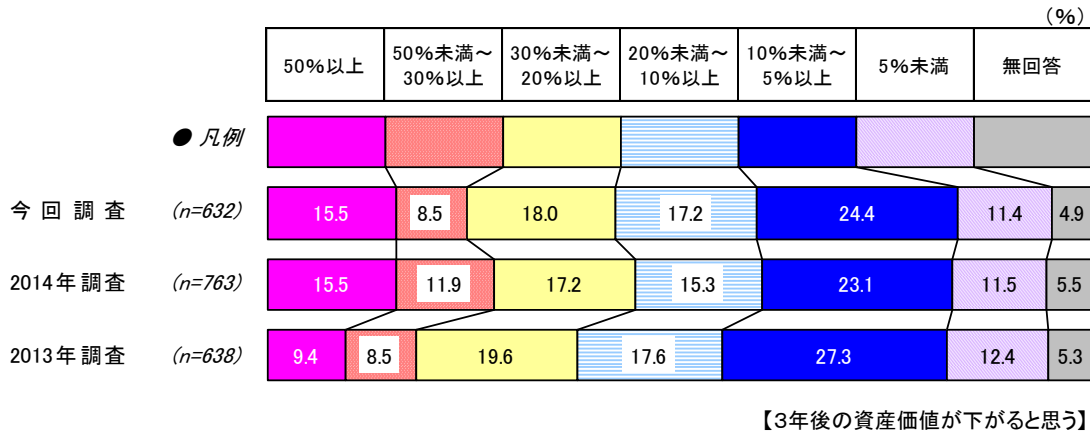
(6) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者)

- 持ち家またはその他住居の居住者 (1,733 人) の現在の『持ち家』の3年後の資産価値は(図表 10-12)、「下がる」と回答した人が 36.5%で、「変わらない」が 14.3%、「上がる」は 1.7%にとどまった。また、3割以上の方は、「わからない」(36.1%)と回答した。
- 『持ち家』の3年後の資産価値は「下がる」との回答した人 (632 人) の考える3年後の下落幅としては(図表 10-13)、「10%未満～5%以上」が 24.4%で最も多かった。
- 一方、『持ち家』の3年後の資産価値は「上がる」との回答した人 (30 人) の考える上昇幅としては(図表 10-14)、11 人が「10%～20%未満」、10 人が「5%未満」と、それぞれ回答した。

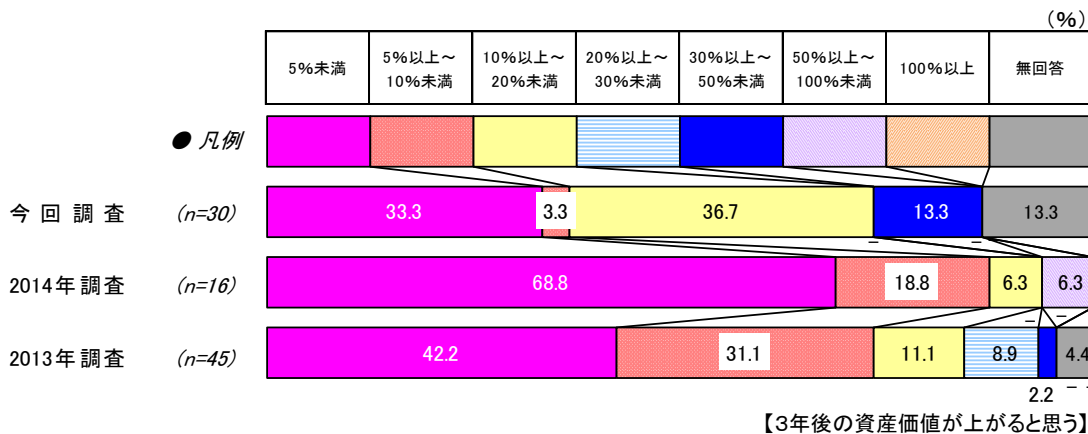
(図表 10-12) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者) (問 34)



(図表 10-13) 持ち家の3年後の資産価値下落幅 (問 34-1)



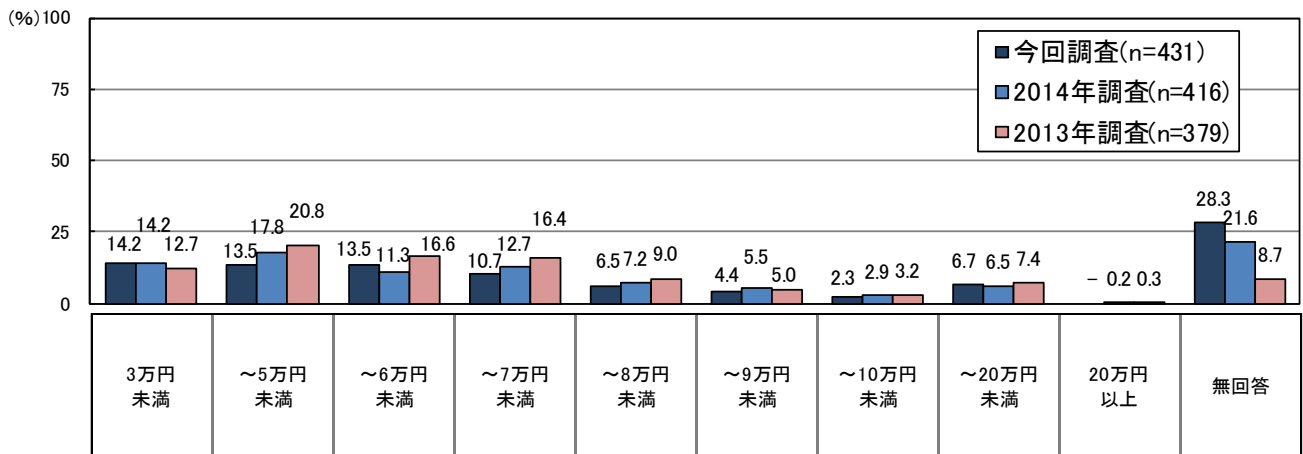
(図表 10-14) 持ち家の3年後の資産価値上昇幅 (問 34-2)



(7) ひと月の家賃（賃貸居住者）

- 民間・公営・社宅等の賃貸住宅居住者(431人)の、ひと月の家賃は(図表 10-15)、「3万円未満」(14.2%)、「3万円以上5万円未満」(13.5%)、「5万円以上6万円未満」(13.5%)、「6万円以上7万円未満」(10.7%)が、いずれも1割台であった。平均すると5万5千円となった。

(図表 10-15) 賃貸住宅のひと月の家賃（問 35）



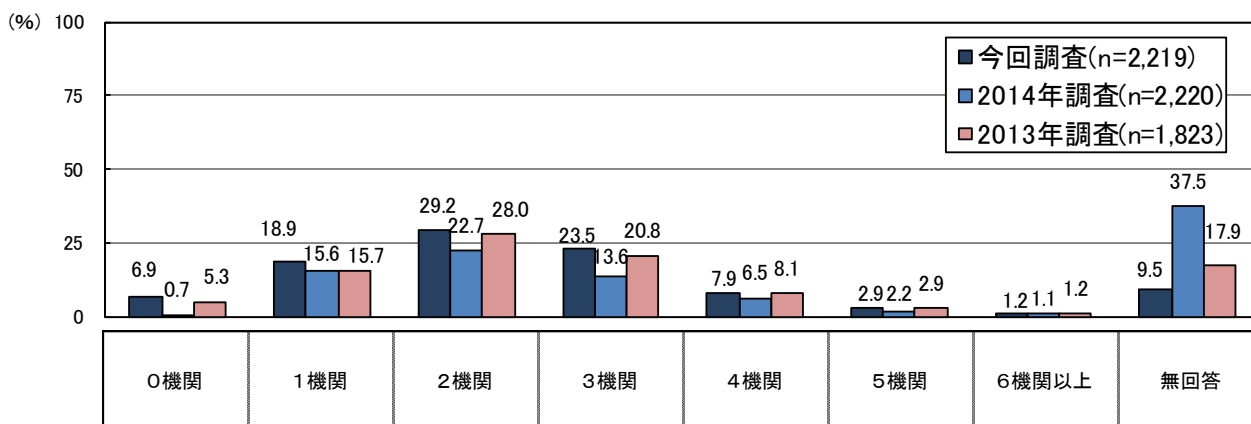
【民間・公営・社宅等の賃貸住宅居住者】

1 1. 金融機関の利用状況

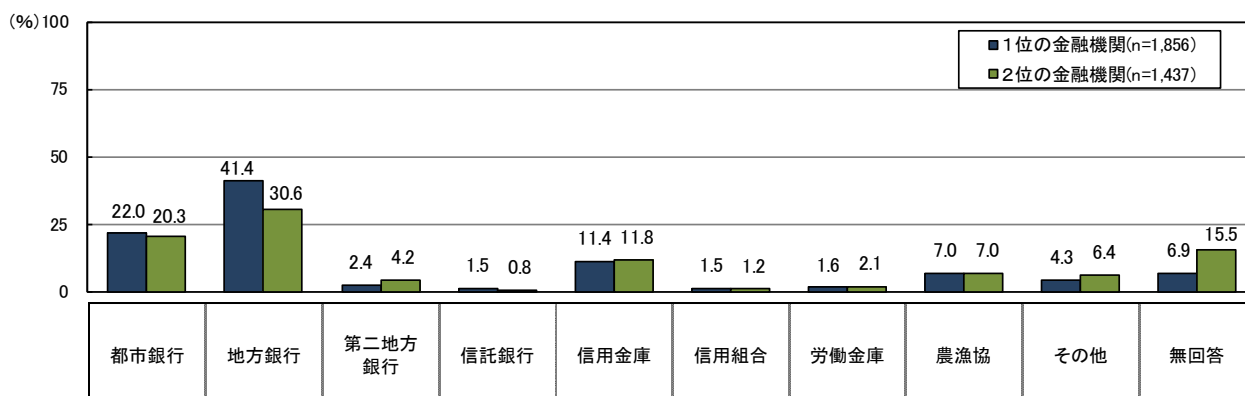
(1) 預入の状況

- 現在、預金等をしている金融機関の数は(図表 11-1)、「2機関」が 29.2%で最も多く、次いで、「3機関」が 23.5%、「1機関」が 18.9%となった。
- 金融機関（ゆうちょ銀行は除く）を利用している回答者（1,856人）が利用している機関で、預金等の残高1位の機関は、「地方銀行」が 41.4%で最も多く、次いで、「都市銀行」（22.0%）、「信用金庫」（11.4%）の順となった。
- 2機関以上利用している回答者（1,437人）が利用している金融機関で、預金等残高2位の機関（ゆうちょ銀行は除く）も、「地方銀行」（30.6%）、「都市銀行」（20.3%）、「信用金庫」（11.8%）の順となった。

(図表 1 1 - 1) 預金等をしている金融機関の数 (問 36)



(図表 1 1 - 2) 預金等残高上位 2 機関 (問 37)

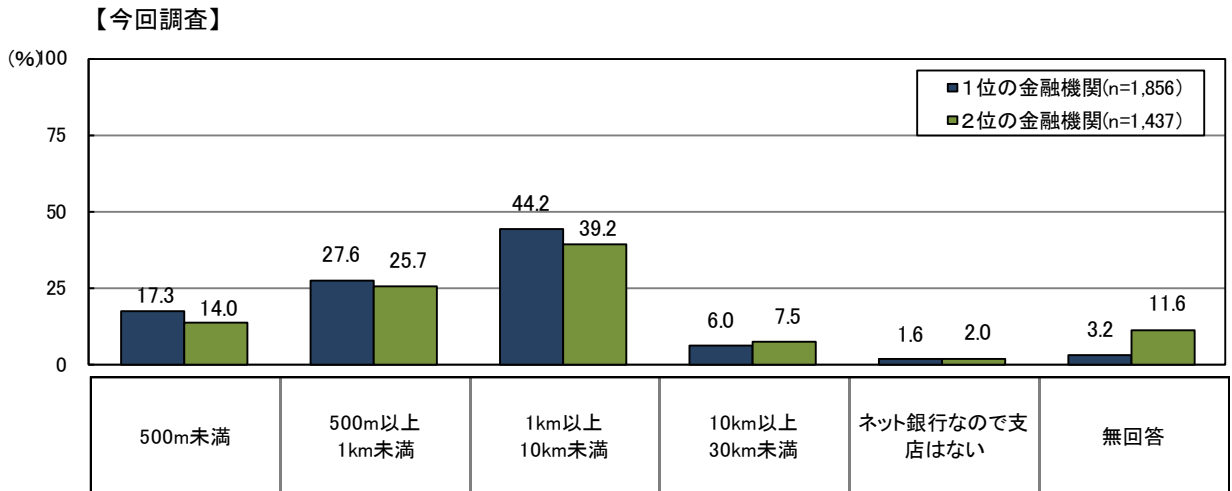


【1機関以上利用】

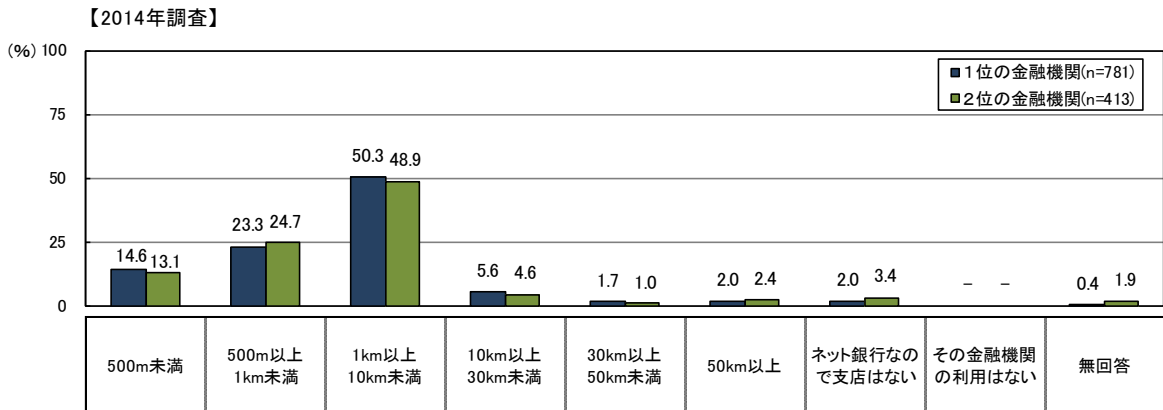
(2) 預金等残高上位2機関の自宅からの距離

- 金融機関（ゆうちょ銀行は除く）を利用している回答者（1,856人）の、預金等残高1位の金融機関と自宅との距離は(図表 11-3)、「1 km 以上 10km 未満」が 44.2%で最も多く、次いで、「500m 以上 1 km 未満」(27.6%)、「500m 未満」(17.3%) の順であった。
- 預金等残高2位の金融機関（ゆうちょ銀行は除く）を回答した 1,437 人における、残高2位の金融機関と自宅との距離も、「1 km 以上 10km 未満」(39.2%)、「500m 以上 1 km 未満」(25.7%)、「500m 未満」(14.0%) の順であった(図表 11-3)。

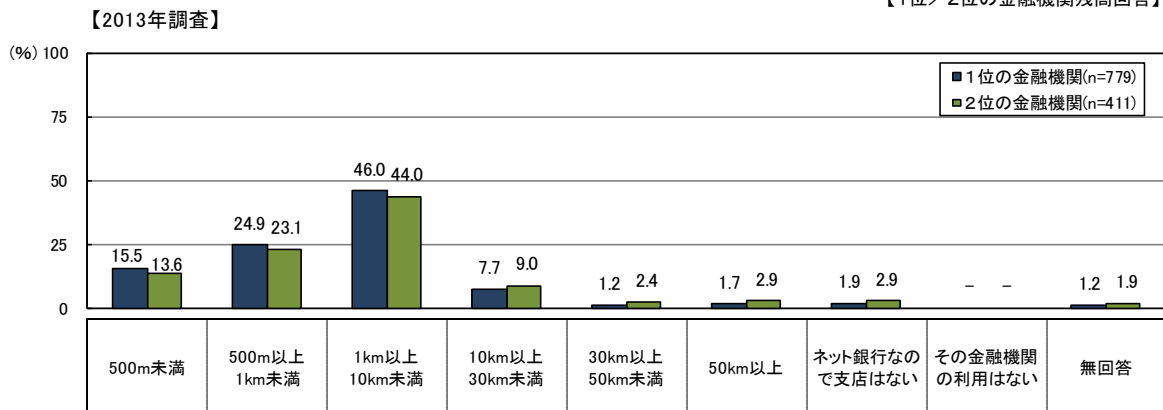
(図表 1 1 - 3) 預金等残高上位2機関の自宅からの距離 (問 38)



【1位/2位の金融機関残高回答】



【1位/2位の金融機関残高回答】

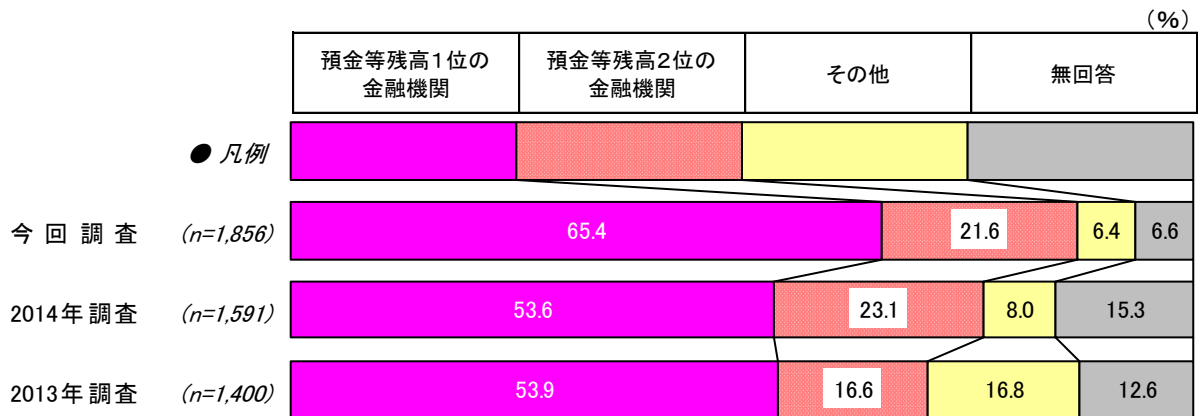


【1位/2位の金融機関残高回答】

(3) 自宅から最も近い金融機関

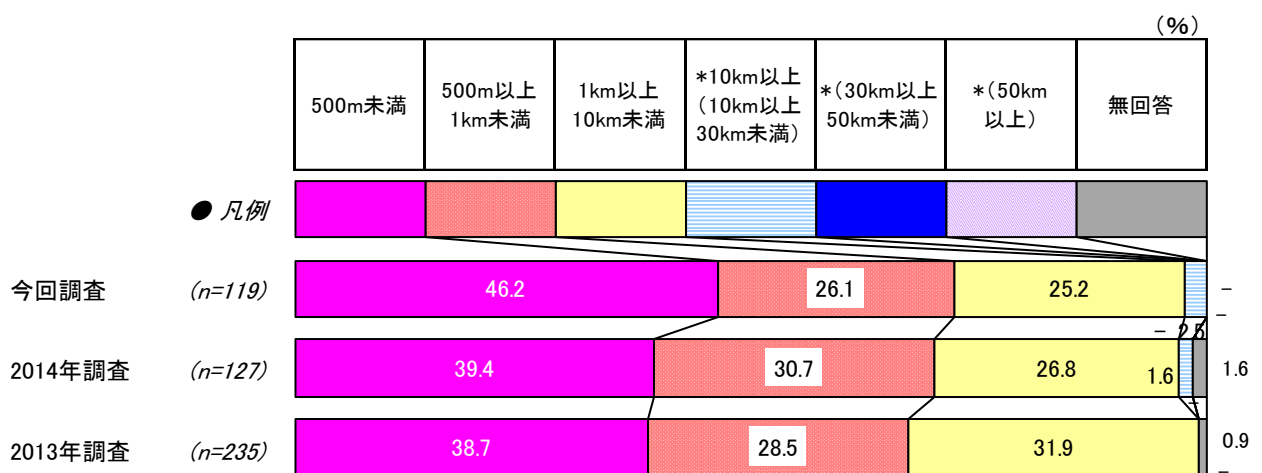
- 金融機関（ゆうちょ銀行は除く）を利用している回答者（1,856人）の自宅に最も近い金融機関は(図表 11-4)、「預金等残高1位の金融機関」が65.4%で、「預金等残高2位の金融機関」の方が近いという回答者は21.6%であった。「その他の金融機関」が最も近いという回答者は6.4%となった。
- 自宅支店が自宅に最も近い金融機関が「その他」の金融機関である回答者（119人）の、「その他」の金融機関までの距離では(図表 11-5)、「500m未満」が46.2%で、次いで「500m以上1km未満」が26.1%、「1km以上10km未満」が25.2%の順であった。
- 自宅から「500m未満」と近距離にあるという回答率は、残高1位の金融機関は17.3%、2位の金融機関は14.0%と1割台であり、「その他」の金融機関に比べて、預金等残高上位2機関の方が遠距離のケースが多い。

(図表 11-4) 自宅から最も近い金融機関 (問 39)



【1機関以上利用／預金残高回答】

(図表 11-5) 自宅から最も近い「その他の金融機関」の自宅からの距離 (問 39-1)



【自宅に最も近い金融機関が「その他の金融機関」】

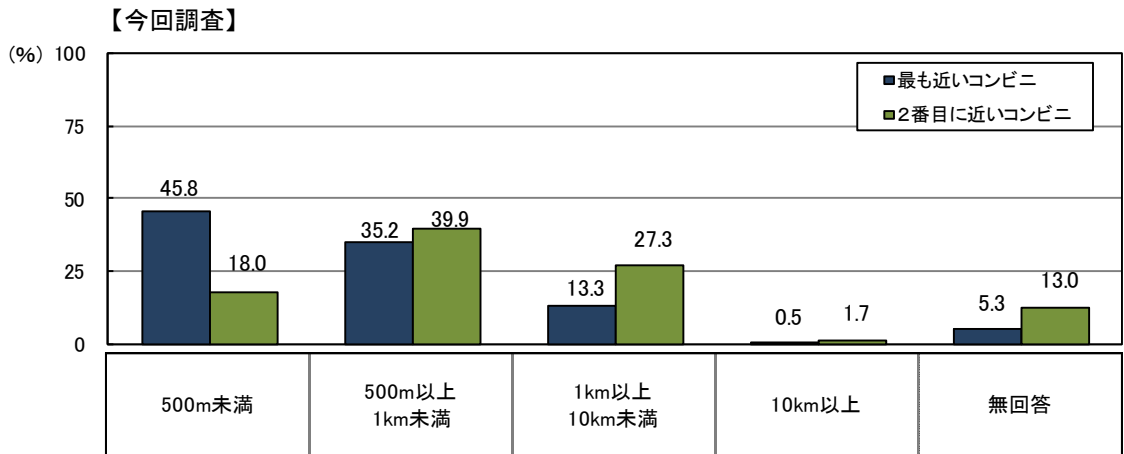
* 今回調査では10km以上にまとめられている

* 2013年、2014年調査では「10km以上30km未満」、「30km以上50km未満」、「50km以上」と細かく聴いている

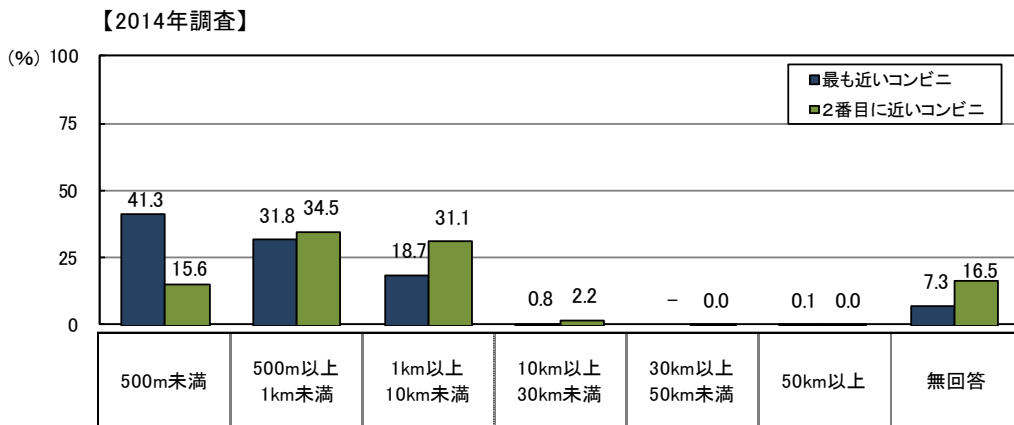
(4) A T M設置コンビニエンスストアの自宅からの距離

- A T Mが設置されたコンビニエンスストアと自宅の距離は(図表 11-6)、“最も近いコンビニ”では、「500m未満」が 45.8%と最も多く、次いで、「500m 以上 1 km 未満」が 35.2%であった。
- “2番目に近いコンビニ”では、「500m 以上 1 km 未満」が 39.9%で最も多く、次いで、「1 km 以上 10km 未満」が 27.3%であった。

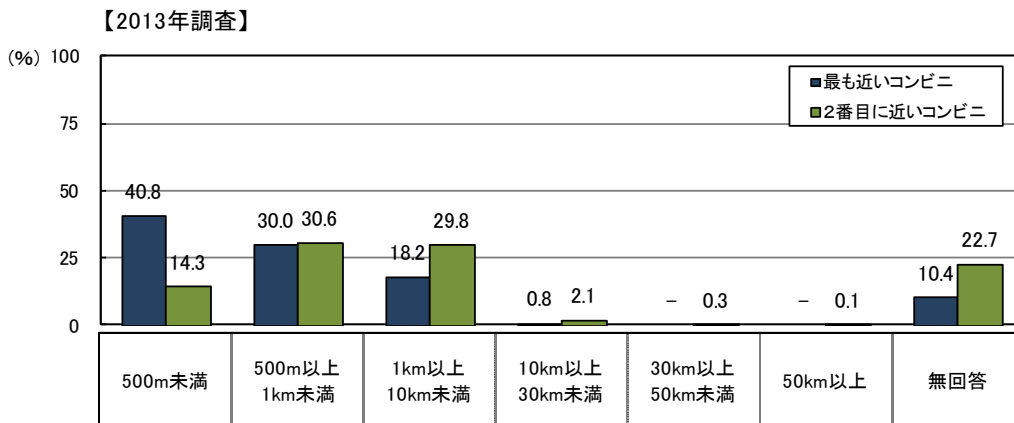
(図表 1 1 - 6) A T M設置コンビニエンスストアの自宅からの距離 (問 40)



全 数(n=2,219)



全 数(n=2,220)

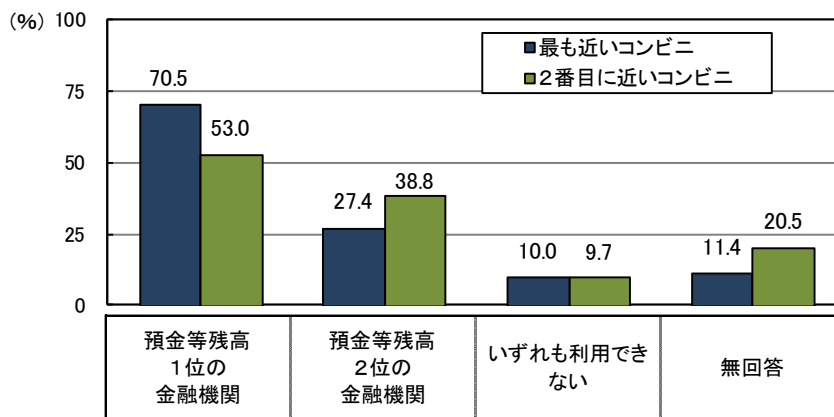


全 数(n=1,823)

(5) コンビニエンスストアのA T Mで利用できる金融機関

- 金融機関（ゆうちょ銀行は除く）を利用している回答者（1,856人）の自宅に“最も近いコンビニ”でA T Mが利用できる金融機関は（図表 11-7）、「預金等残高1位の金融機関」が70.5%で、「預金等残高2位の金融機関」は27.4%、「いずれも利用できない」は10.0%であった。
- “2番目に近いコンビニ”では（図表 11-7）、「預金等残高1位の金融機関」は53.0%、「預金等残高2位の金融機関」は38.8%、「いずれも利用できない」は9.7%であった。
- 自宅に近いコンビニエンスストアで、残高1位と2位の金融機関をいずれも利用できない回答者（108人）に、各金融機関の利用可能なA T Mが設置されたコンビニエンスストアまでの距離を聞いた（図表 11-8）。
- 預金等残高1位の金融機関のA T Mが利用できるコンビニエンスストアまでの距離は、「1 km 以上10km 未満」29.6%で最も多く、次いで「500m 以上1 km 未満」が18.5%であった。
- 預金等残高2位の金融機関のA T Mが利用できるコンビニエンスストアまでの距離は、「1 km 以上10km 未満」27.8%、「500m 以上1 km 未満」が20.4%であった。

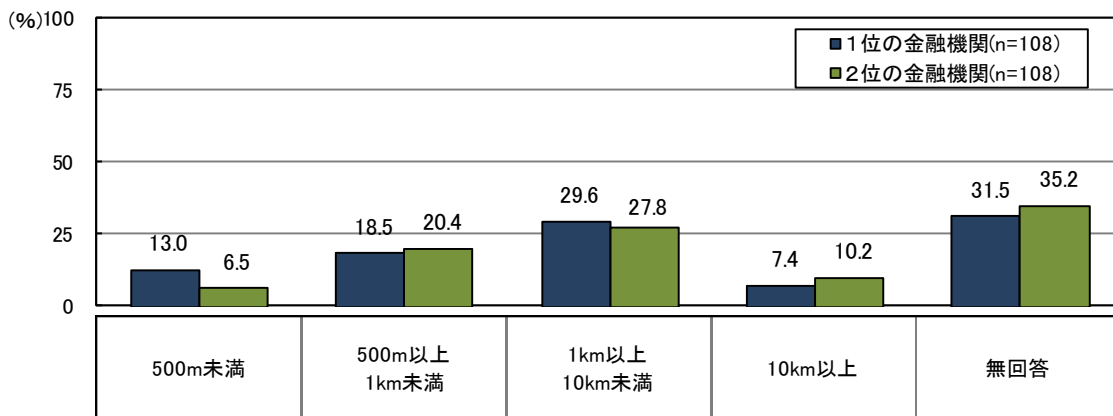
(図表 1 1 - 7) コンビニエンスストアのA T Mで利用できる金融機関（問 41）



1機関以上利用／預金残高回答(n=1,856)

(図表 1 1 - 8) 預金等残高上位2機関が利用可能なA T M設置コンビニまでの距離

(問 41-1)

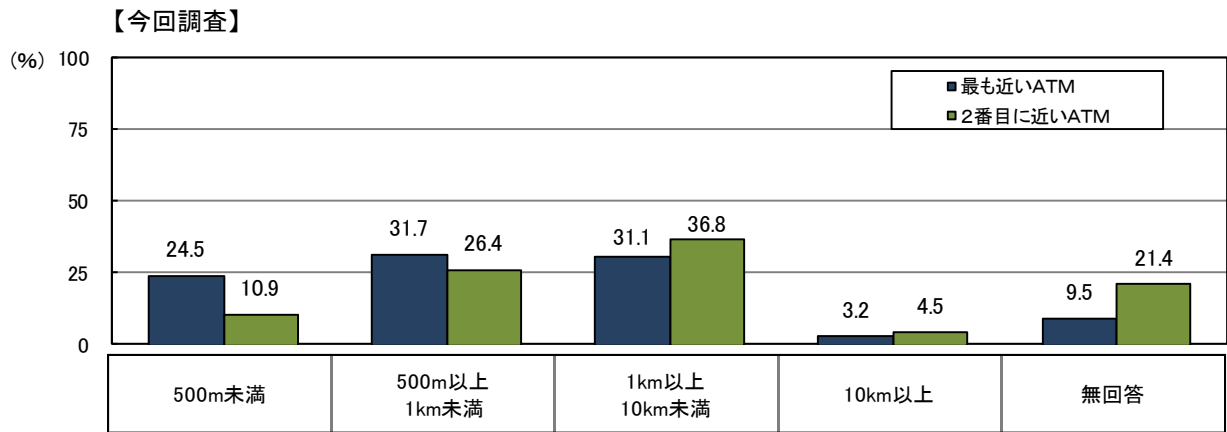


【1位／2位の金融機関が自宅に近いコンビニで利用できない】

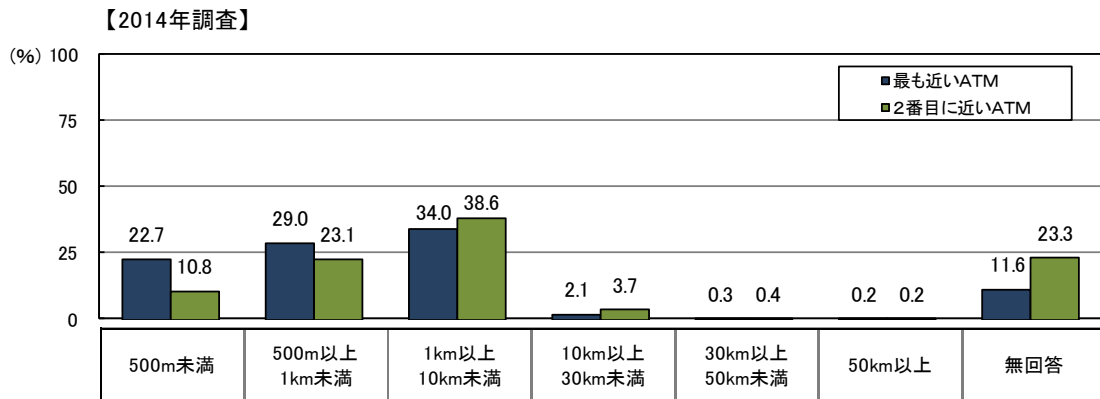
(6) コンビニエンスストア以外に設置されたATMの自宅からの距離

- コンビニエンスストア以外に設置されたATMと自宅の距離を聞いたところ(図表 11-9)、“最も近いATM”については、「500m以上1km未満」(31.7%)と「1km以上10km未満」(31.1%)がともにほぼ同率の3割台で、次いで、「500m未満」が24.5%であった。
- “2番目に近いATM”については、「1km以上10km未満」が36.8%で最も多く、次いで「500m以上1km未満」が26.4%、「500m未満」は10.9%であった。

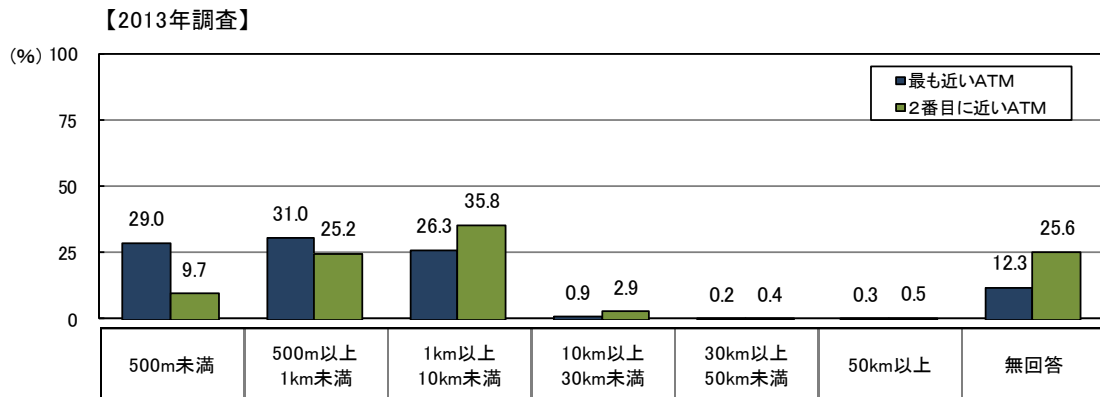
(図表 11-9) コンビニエンスストア以外に設置されたATMの自宅からの距離 (問 42)



全 数(n=2,219)



全 数(n=2,220)

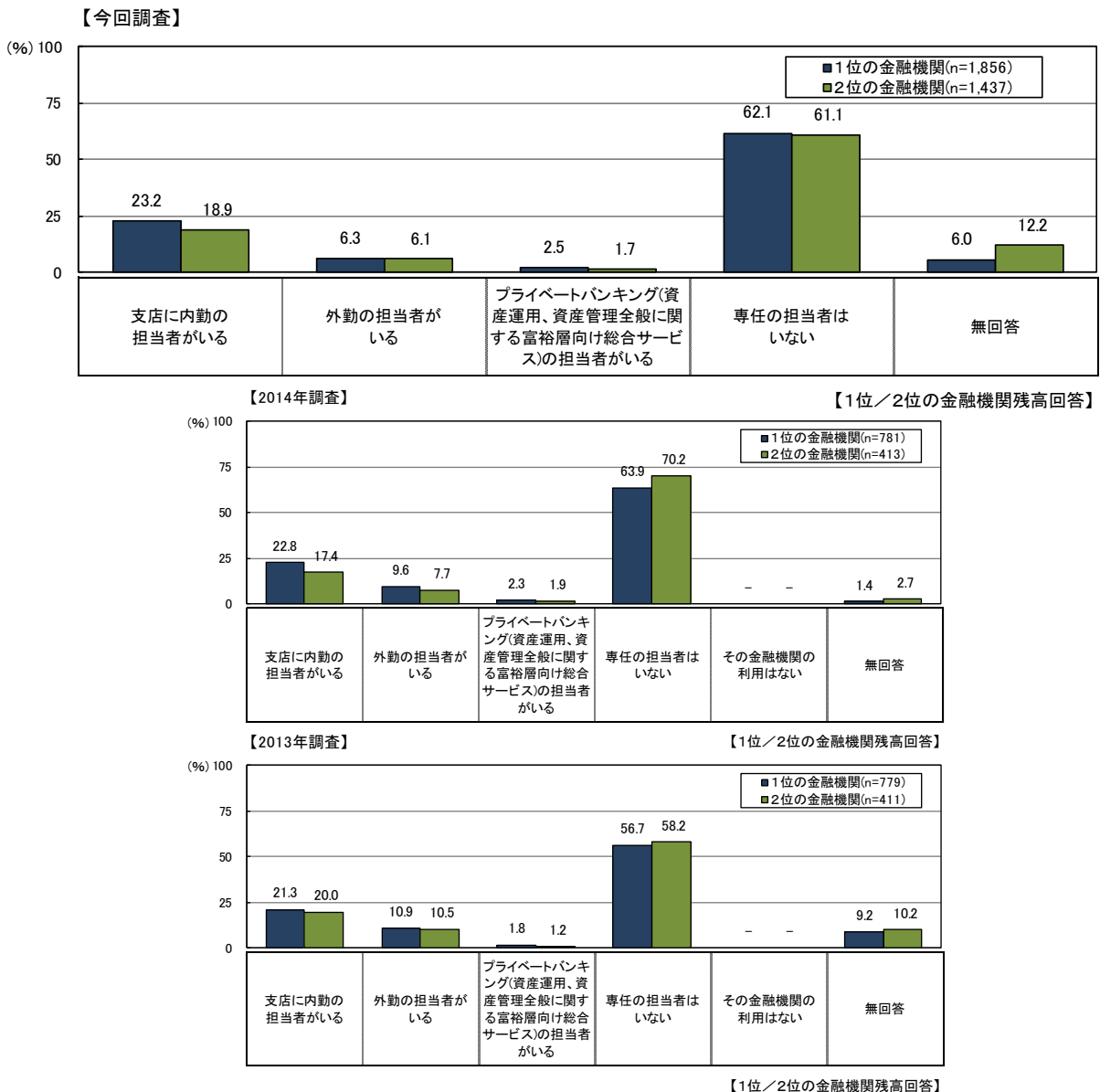


全 数(n=1,823)

(7) 預金等残高上位2機関の営業担当者との接触状況

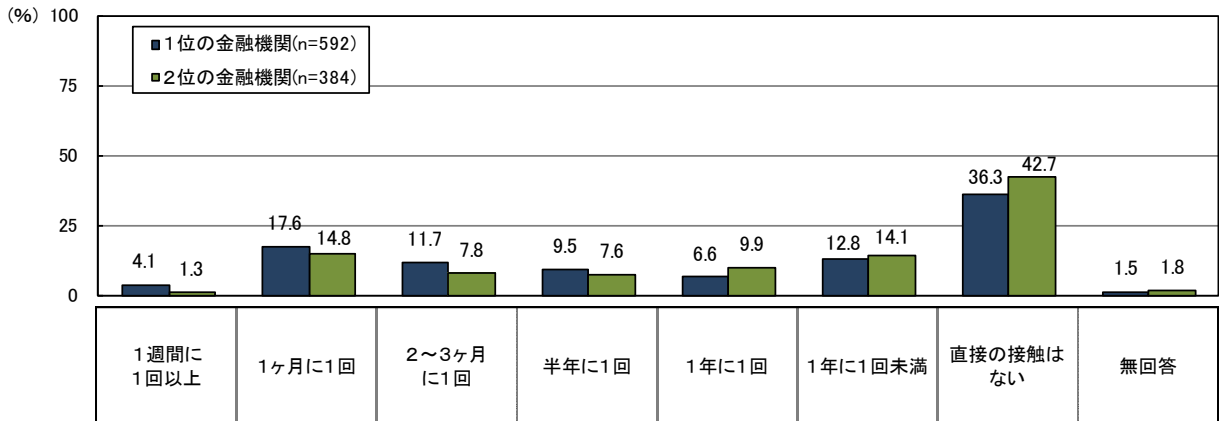
- 預金等残高の上位2機関（いずれもゆうちょ銀行は除く）の営業担当者の状況を聞いた(図表 11-10)。
- 金融機関（ゆうちょ銀行は除く）を利用している回答者（1,856人）の6割以上は、預金等残高1位の金融機関には「専任の担当者がいない」（62.1%）と回答し、「支店に内勤の担当者がいる」は23.2%、「外勤の担当者がいる」は6.3%、「プライベートバンキング（資産運用、資産管理全般に関する富裕層向け総合サービス）の担当者がいる」は2.5%であった。
- 2機関以上利用している回答者（1,437人）が利用している金融機関で、預金等残高2位の機関も、同様の傾向である(図表 11-10)。
- 預金等残高1位の金融機関に営業担当者がいるという回答者（592人）の担当者との接触頻度としては(図表 11-11)、「1ヶ月に1回」（17.6%）、「1年に1回未満」（12.8%）、「2～3ヶ月に1回」（11.7%）の順であるが、いずれも1割台で、4割近くが「直接の接触はない」（36.3%）と回答した。
- 預金等残高2位の機関に営業担当者がいるという回答者（384人）も同様の傾向で、「直接の接触はない」（42.7%）という回答者は4割を上回った(図表 11-11)。

(図表 11-10) 預金等残高上位2機関の営業担当者の状況 (問 43)



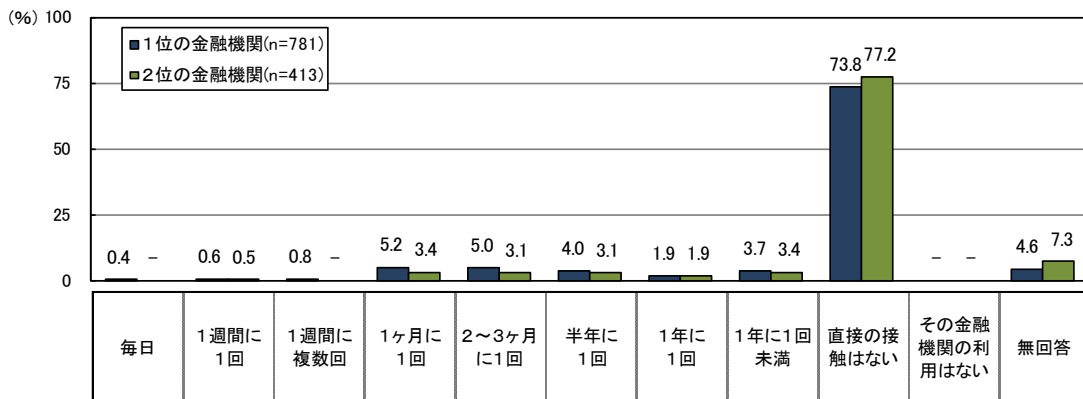
(図表 1 1 - 1 1) 預金等残高上位 2 機関の営業担当者との接触頻度 (問 43-1)

【今回調査】



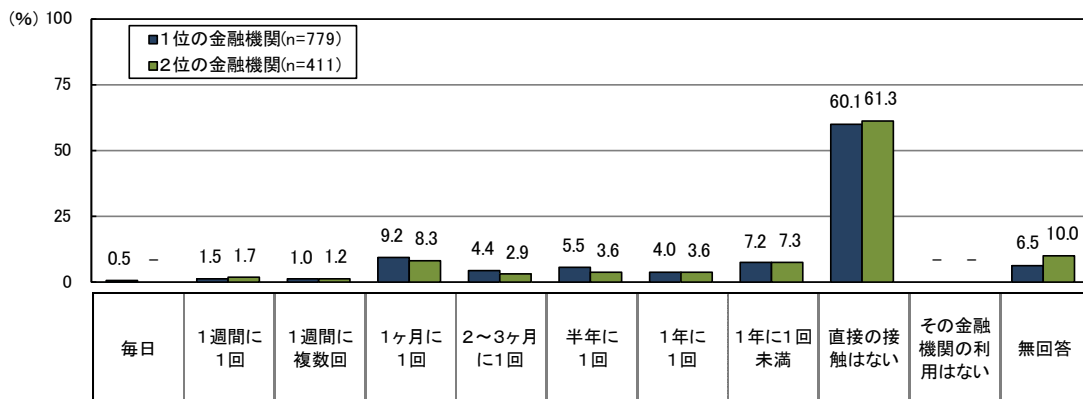
【1位/2位の金融機関残高回答】

【2014年調査】



【1位/2位の金融機関残高回答】

【2013年調査】



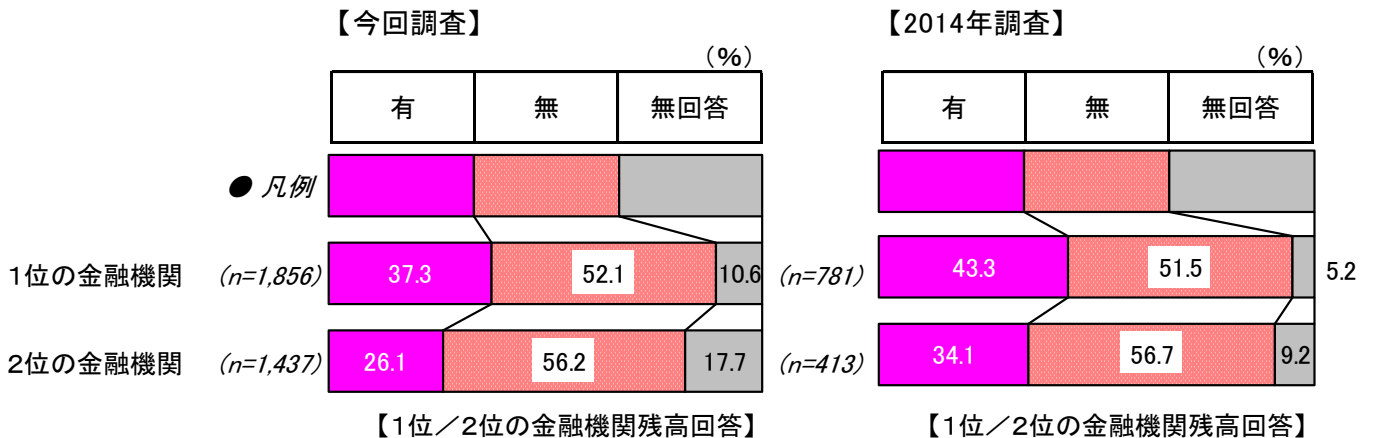
【1位/2位の金融機関残高回答】

(8) 預金等残高上位2機関での定期預金契約状況

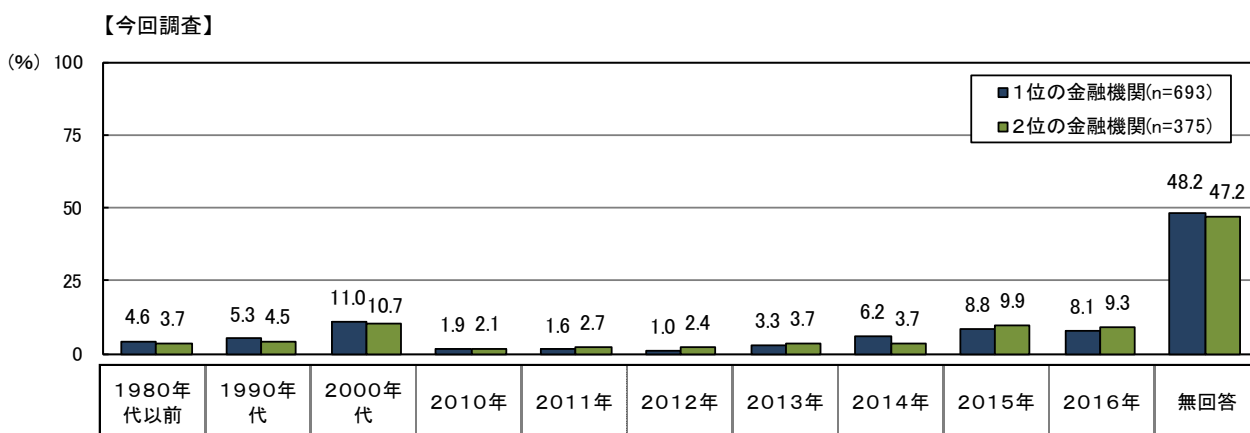
①定期預金の有無・契約年月・預金期間

- 預金等残高の上位2機関（いずれもゆうちょ銀行は除く）における定期預金の契約状況を聞いた(図表 11-12～図表 11-18)。
- 金融機関（ゆうちょ銀行は除く）を利用している回答者（1,856人）の37.3%は、定期預金「有」と回答した。2機関以上利用している回答者（1,437人）で、預金等残高2位の機関に定期預金「有」という回答者は26.1%であった(図表 11-12)。
- 預金等残高1位の金融機関に定期預金がある693人の“契約年（固定金利自動更新付の場合は預入当初、変動金利の場合は契約当初）”は(図表 11-13)、「2000年代」が11.0%で最も多かった。預金等残高2位の機関における定期預金加入者（375人）の“契約年”も「2000年代」が10.7%で、最も多い。
- “預金期間（固定金利自動更新付の場合は自動更新までの期間）”は(図表 11-14)、預金等残高上位2機関ともに「2017年」（1位12.4%、2位14.7%）が最も多く、次いで「2016年」（同8.5%、6.7%）となった。

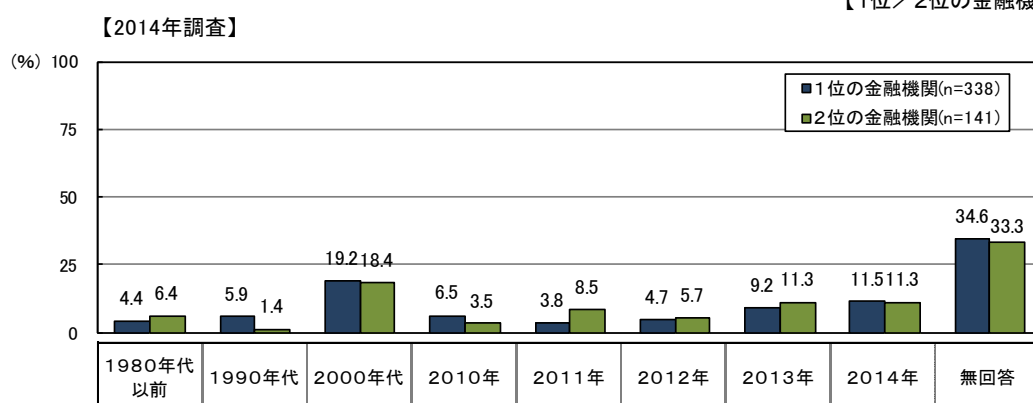
(図表 11-12) 預金等残高上位2機関における定期預金の有無（問44①）



(図表 1 1 - 1 3) 定期預金契約年 (問 44②)

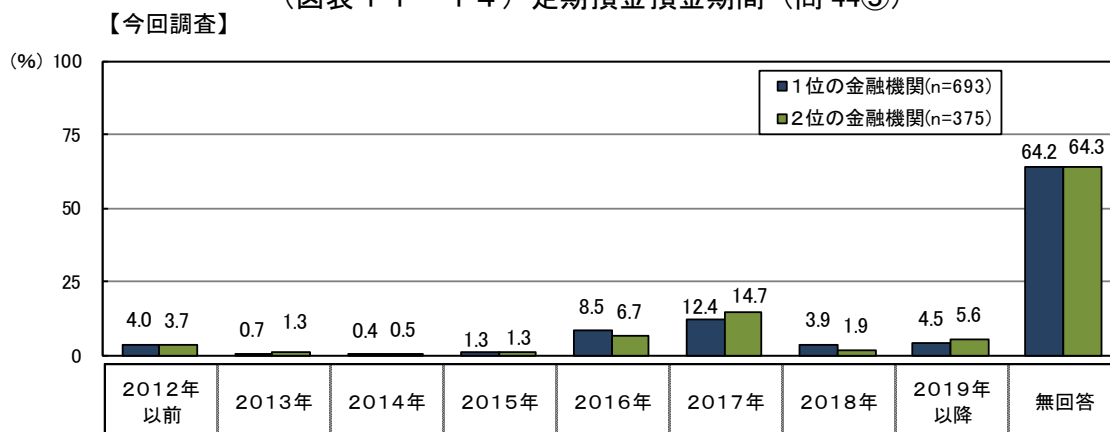


【1位/2位の金融機関残高回答】

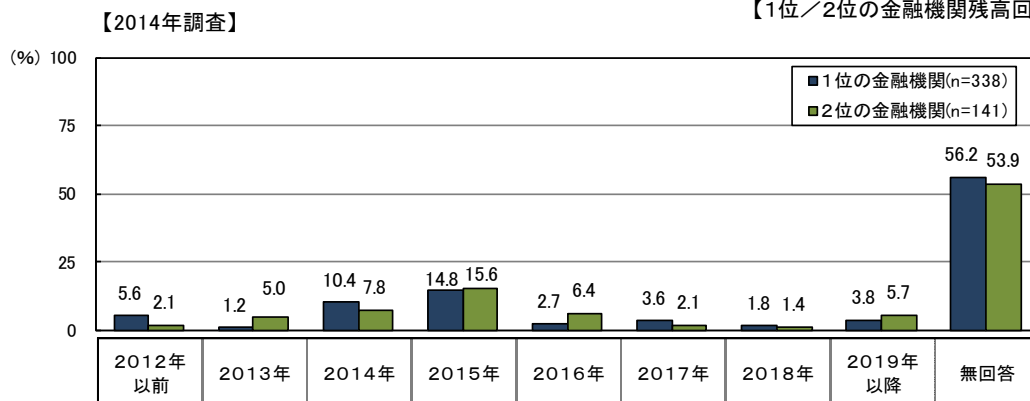


【1位/2位の金融機関残高回答】

(図表 1 1 - 1 4) 定期預金預金期間 (問 44③)



【1位/2位の金融機関残高回答】

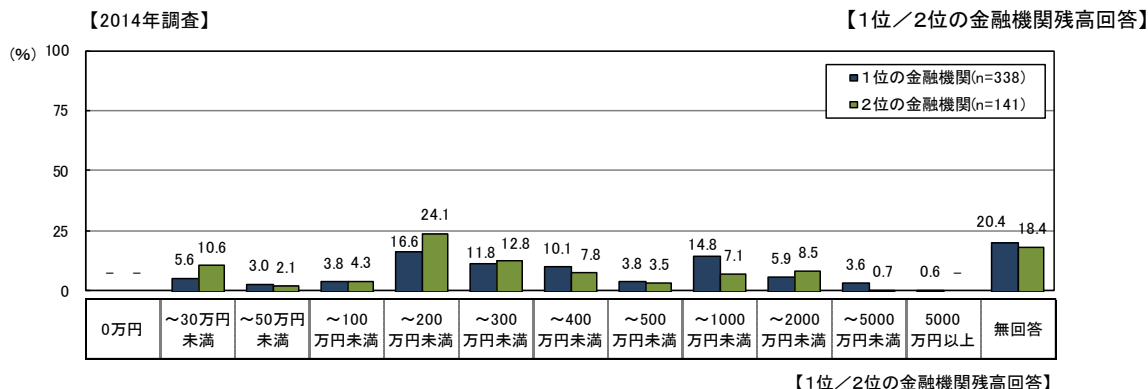
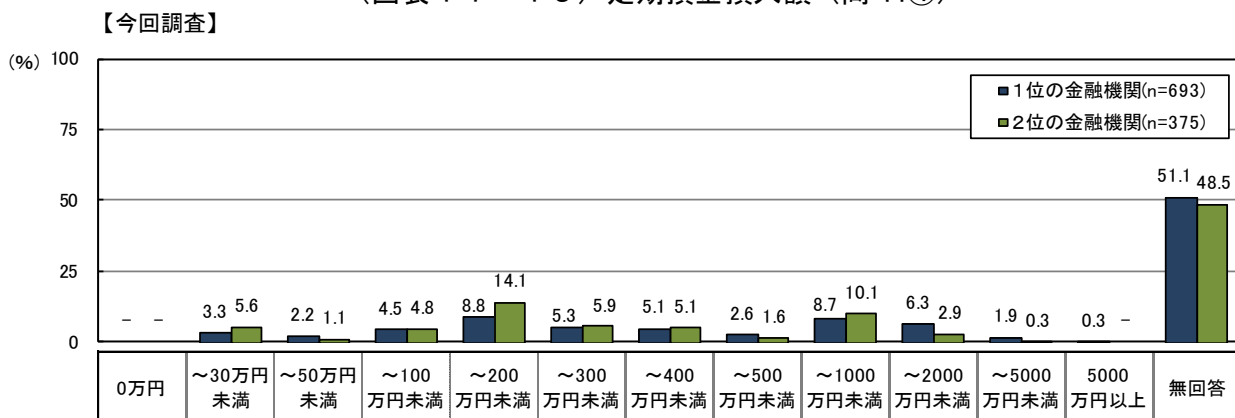


【1位/2位の金融機関残高回答】

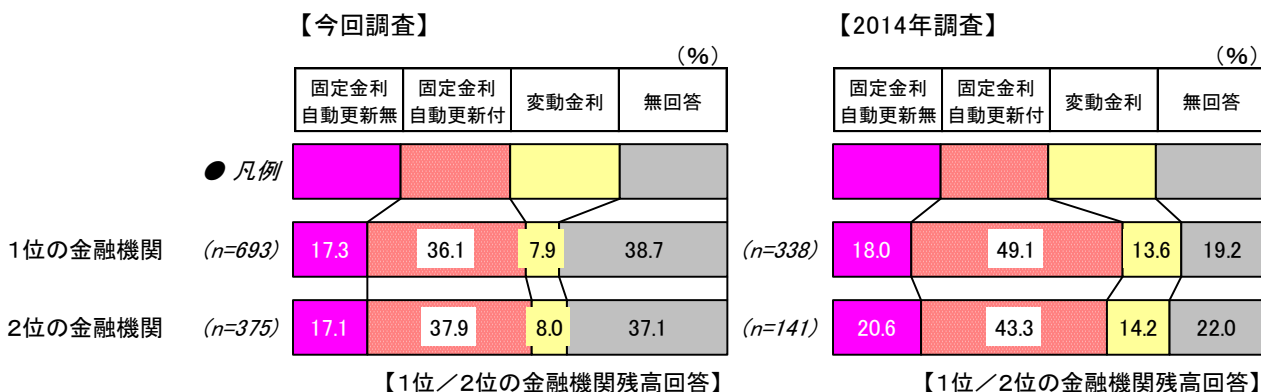
②預入額・金利方式・金利・特典の契約時点での提供

- 預金等残高1位の金融機関への“預入額”については(図表 11-15)、「100万円以上 200万円未満」が8.8%、「500万円以上 1,000万円未満」が8.7%など、回答が分散した。平均預入額は、485万4千円となった。預金等残高2位の金融機関への“預入額”の平均額は、292万4千円であった。
- “金利方式”は(図表 11-16)、預金等残高上位2機関のどちらも、「固定金利自動更新付」(1位 36.1%、2位 37.9%)が4割弱で最も多く、次いで「固定金利自動更新無」(同 17.3%、17.1%)、「変動金利」(同 7.9%、8.0%)の順であった。
- “金利(2016年10月末現在)”は(図表 11-17)、預金等残高上位2機関のどちらも、「0.05%未満」(1位 23.2%、2位 23.5%)が2割台で、平均金利は、ともに0.1%であった。
- “ATM手数料割引、金利優遇その他の当該預金以外の商品等の特典の契約時点での提供”は(図表 11-18)、預金等残高上位2機関のどちらも、4割以上は「無」(1位 45.9%、2位 48.5%)と回答し、「有」(同 17.0%、13.3%)は、ともに1割台であった。

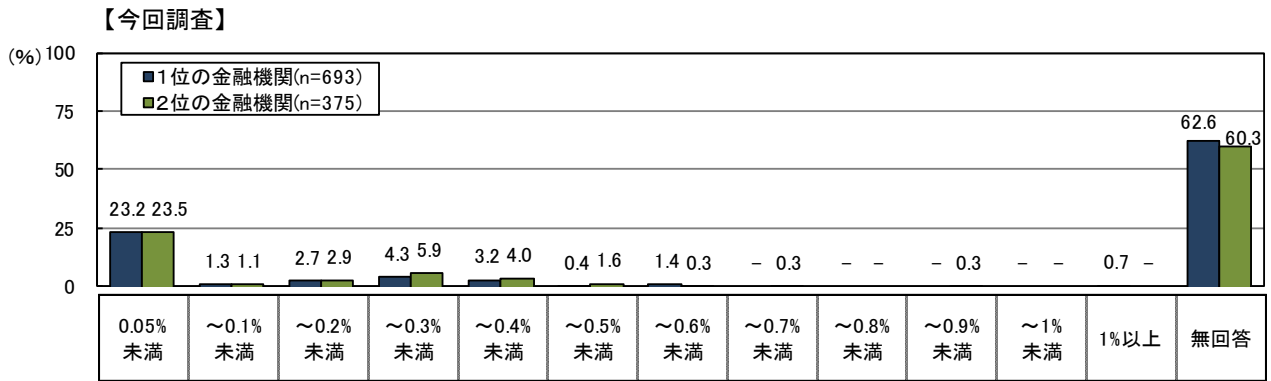
(図表 11-15) 定期預金預入額 (問 44④)



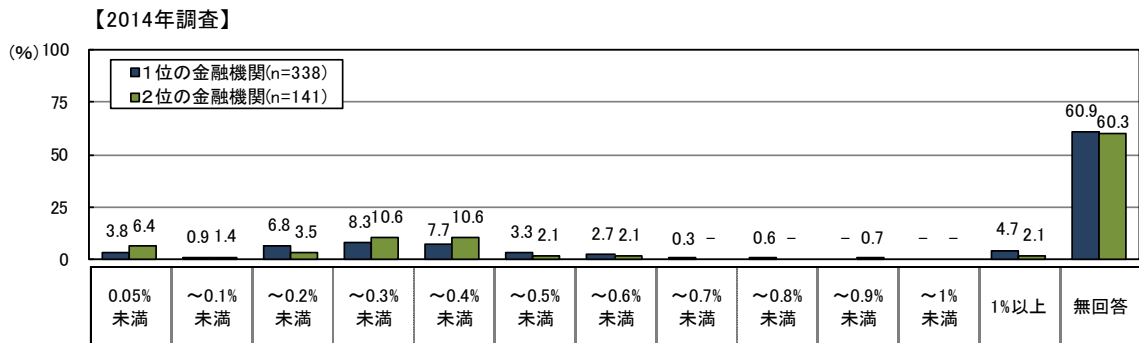
(図表 11-16) 定期預金金利方式 (問 44⑤)



(図表 1 1 - 1 7) 定期預金金利 (問 44⑥)

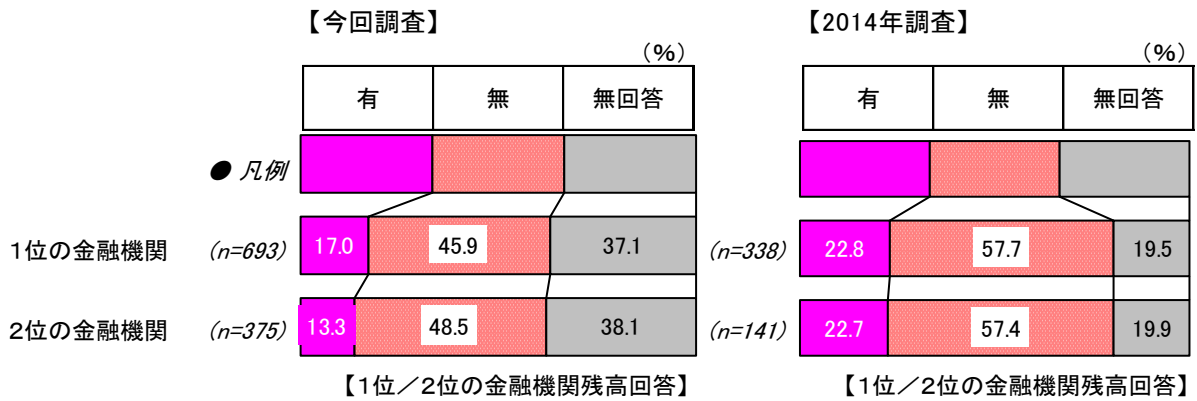


【1位/2位の金融機関残高回答】



【1位/2位の金融機関残高回答】

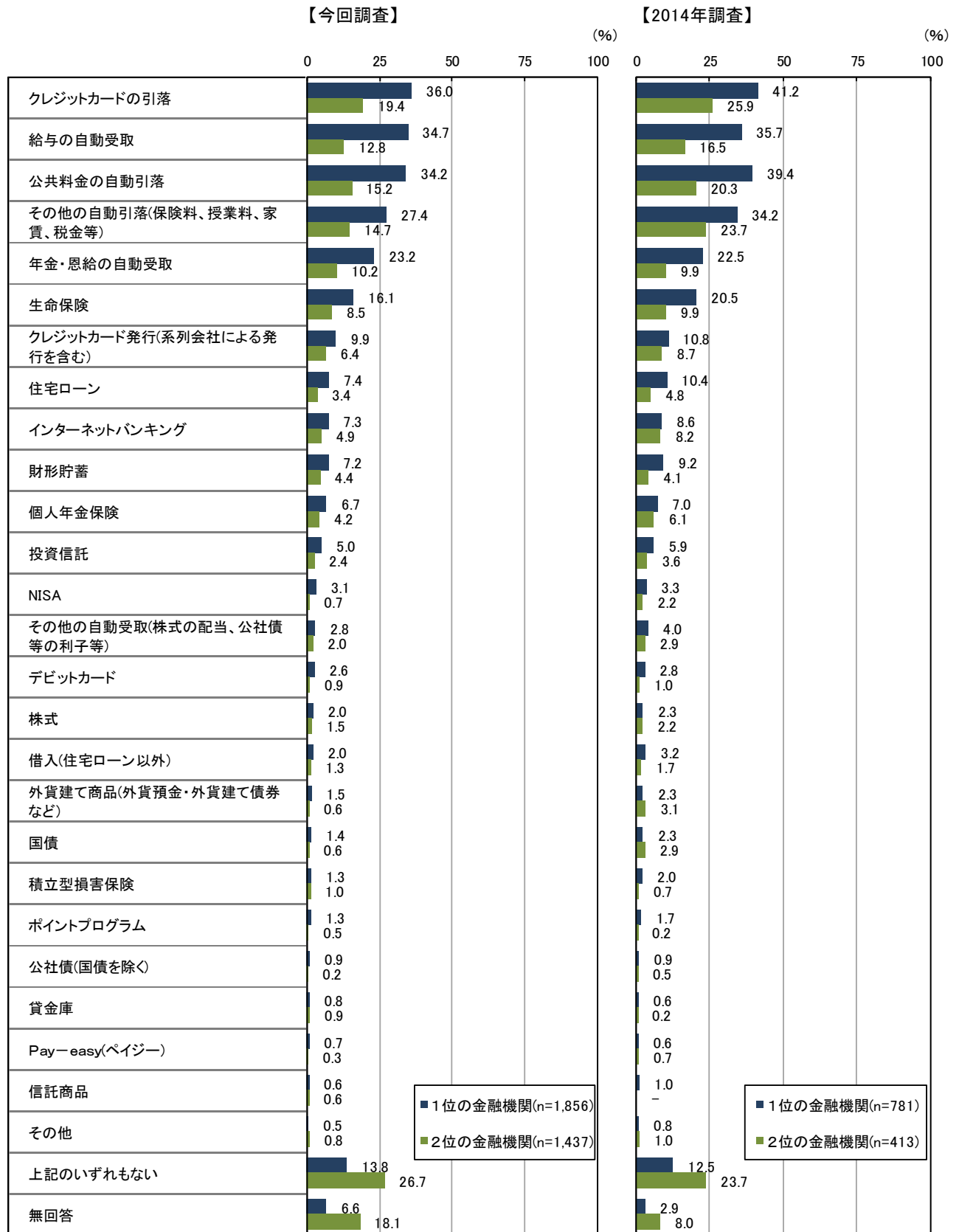
(図表 1 1 - 1 8) ATM・手数料割引・金利優遇等の契約時点での特典提供有無 (問 44⑦)



(9) 預金等残高上位2機関での利用取引・商品・サービス内容

- 預金等残高の上位2機関（いずれもゆうちょ銀行は除く）で利用、購入している取引、商品、サービスの内容（複数回答）を聞いた(図表 11-19)。
- 預金等残高1位の金融機関（1,856人）における利用・購入状況としては、「クレジットカードの引落」（36.0%）、「給与の自動受取」（34.7%）、「公共料金の自動引落」（34.2%）がいずれも3割台で上位に挙げられ、以下、「その他の自動引落（保険料、授業料、家賃、税金等）」（27.4%）と「年金・恩給の自動受取」（23.2%）がともに2割台、「生命保険」（16.1%）が1割台でこれに続いた。
- 預金等残高2位の金融機関（1,437人）における利用・購入状況としては、「クレジットカードの引落」（19.4%）、「公共料金の自動引落」（15.2%）、「その他の自動引落」（14.7%）、「給与の自動受取」（12.8%）、「年金・恩給の自動受取」（10.2%）など、上位項目は預金等残高1位の金融機関と同様であるが、いずれも1割台と、利用率は低い。

(図表 11-19) 預金等残高上位2機関での利用取引・商品・サービス内容 (問 45、複数回答)



【1位/2位の金融機関残高回答あり】

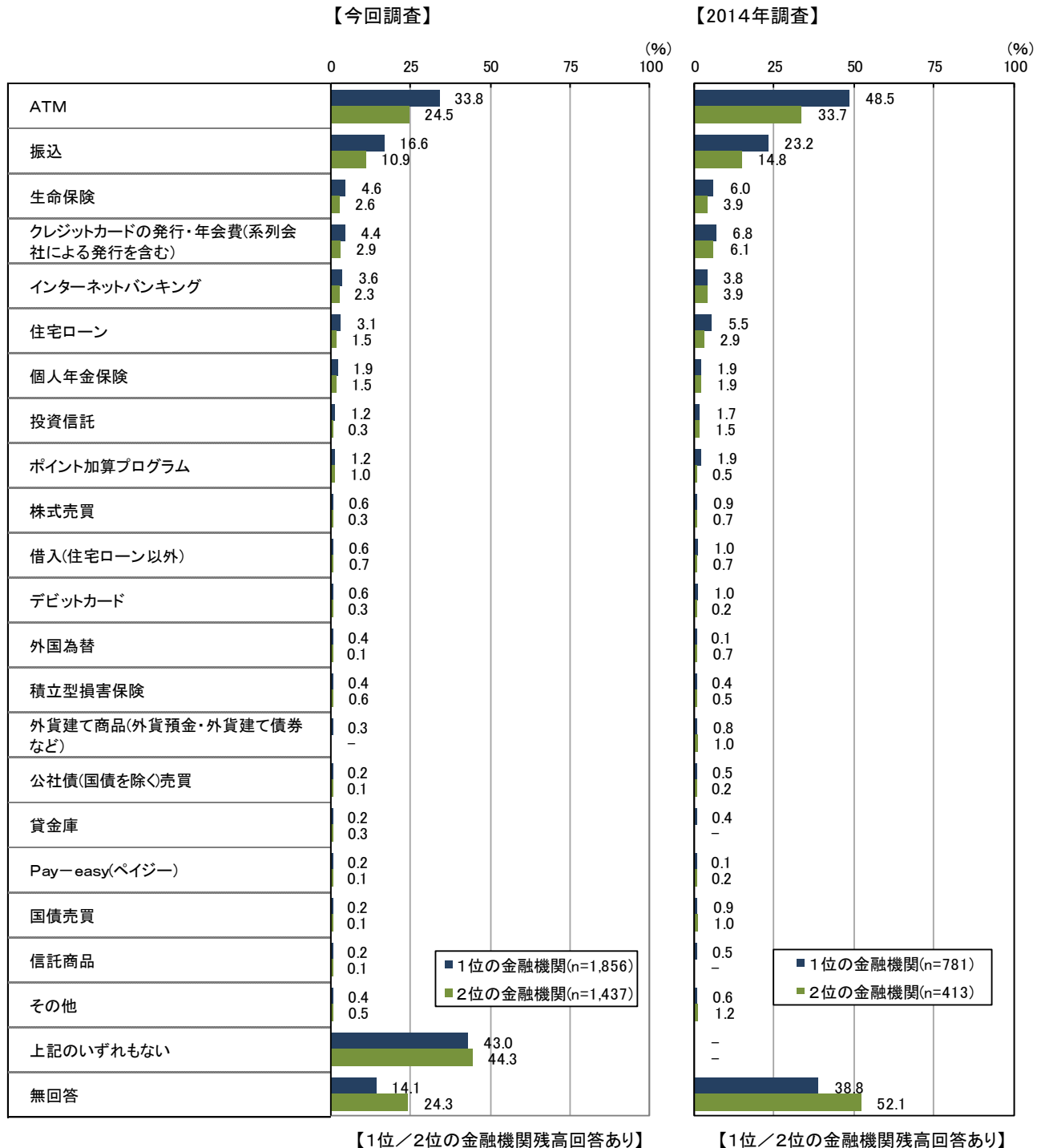
【1位/2位の金融機関残高回答あり】

(10) 預金等残高上位2機関で提供を受けている割引・優遇サービス内容

- 預金等残高の上位2機関（いずれもゆうちょ銀行は除く）で提供を受けている手数料割引や金利優遇の内容（複数回答）をみると（図表11-20）、預金等残高上位2機関のどちらも「ATM」（1位33.8%、2位24.5%）と「振込」（同16.6%、10.9%）が上位に挙げられた。特に、預金等残高1位の金融機関の「ATM」の利用が3割を上回った。

(図表11-20) 預金等残高上位2機関で提供を受けている割引・優遇サービス内容

(問46、複数回答)



Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）

「第3回(2016年)暮らしと生活設計に関する調査」 調査票

- ・この調査は金融や暮らしについて、日ごろお考えになられていることなどをおうかがいするものです。
- ・お答えいただいた結果は、「〇〇という回答が△△%」というように統計的に集計処理し、家計の金融行動に関する今後の学術研究に役立てます。個人情報が出ることは一切ございませんので、ご安心ください。
- ・お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」にあてはまるときは選択肢の番号を○で囲み、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけおたずねする部分もありますが、その場合は指定された方法に従ってお答えください。
- ・ご回答いただいた調査票は調査員が引き取りに訪問しますが、記入内容を見られたくない方は、添付の封筒に入れてお渡しく下さい。郵送でお送りいただく場合は、**12月5日(月)まで**にご投函ください。
- ・ご協力いただいた方には、謝礼として**1,000円分の図書カード**を贈呈いたします。訪問提出の場合は記入済調査票と引き換えにお渡しします。郵送提出の場合は2017年1月中にお送りさせていただきます。

調査票の引き渡し（訪問引き渡しの場合）

月 日 () 時 分頃に受け取りにお伺いします。

郵送提出をご希望の場合は、**12月5日(月)**までにご投函ください。

【調査の企画】 一般財団法人ゆうちょ財団 金融行動調査ワーキングチーム

〒101-0061

東京都千代田区三崎町3-7-4

ホームページ <http://www.yu-cho-f.jp/>

慶應義塾大学 商学部教授 渡部 和孝

文京学院大学 人間学部准教授 寺島 拓幸

(独)労働政策研究・研修機構 主任研究員 周 燕飛

【調査の実施】 株式会社日本リサーチセンター



〒103-0023

東京都中央区日本橋本町2-7-1

ホームページ <http://www.nrc.co.jp/>

担当: 高田、鈴木(大)



担当調査員							
-------	--	--	--	--	--	--	--

消費生活についておうかがいします。

問1 次に示された買い物についての考え方や行動が、あなたにどのくらいあてはまるかお答えください。

(○はそれぞれ1つずつ)

(N=2,219)

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 新しい商品が出るとほしくなる	⇒	(5.4)	(27.7)	(42.7)	(23.5)	(0.7)
b. 広告を見ると、その商品がほしくなる	⇒	(3.3)	(24.7)	(48.1)	(23.1)	(0.9)
c. 周囲の人がもっている商品をもっていないと気になる	⇒	(1.8)	(10.0)	(41.5)	(45.8)	(0.9)
d. 流行や話題になっている商品を選ぶ	⇒	(3.3)	(26.2)	(41.8)	(27.4)	(1.2)
e. ショッピングは楽しい	⇒	(29.7)	(40.2)	(21.7)	(7.6)	(0.9)
f. いろいろなお店を見てまわるのが好きだ	⇒	(25.4)	(31.6)	(26.5)	(15.3)	(1.1)
g. 必要なものを必要な量だけ買う	⇒	(33.1)	(44.8)	(16.4)	(4.6)	(1.1)
h. 買い物は素早く済ませる	⇒	(29.0)	(37.2)	(26.5)	(6.4)	(0.9)
i. コストパフォーマンスをよく検討して商品を選ぶ	⇒	(23.2)	(41.9)	(24.2)	(9.2)	(1.4)
j. 事前にいろいろと情報収集してから商品を買う	⇒	(19.3)	(38.0)	(30.1)	(11.6)	(0.9)
k. できるだけセール価格で商品を買う	⇒	(22.8)	(42.9)	(25.7)	(7.4)	(1.2)
l. 少し値段が高くても、品質のよい商品を選ぶ	⇒	(21.1)	(50.6)	(22.3)	(5.0)	(1.1)
m. 少し値段が高くても、有名なブランドやメーカーの商品を選ぶ	⇒	(7.8)	(28.5)	(39.7)	(23.2)	(0.8)
n. インテリアや服装などはコーディネート(組み合わせ)を考えて商品を選ぶ	⇒	(18.9)	(42.4)	(25.2)	(12.5)	(1.0)
o. おしゃれにお金をかける	⇒	(4.5)	(19.0)	(45.5)	(30.0)	(1.0)
p. 性能よりもデザイン(色や形)を重視して商品を選ぶ	⇒	(3.7)	(25.0)	(49.0)	(21.0)	(1.2)
q. 人とは違った個性的な商品を選ぶ	⇒	(6.0)	(21.9)	(48.2)	(22.8)	(1.0)
r. 自分のこだわりの商品を探求する	⇒	(12.5)	(35.5)	(35.5)	(15.4)	(1.1)
s. 長く使えるものを選ぶ	⇒	(32.9)	(51.9)	(12.4)	(2.1)	(0.7)
t. 環境にやさしい商品を選ぶ	⇒	(15.2)	(43.7)	(32.9)	(7.3)	(0.8)

小学生の頃のことについておうかがいします。

問2 あなたが小学校高学年の頃、ご家族とどれくらい外食をしていましたか。(〇は1つ)

(N=2,219)

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------------------|
| (1.6) 1 週に数回以上 | (24.2) 3 年に数回程度 | (12.5) 5 覚えていない |
| (18.1) 2 月に数回程度 | (43.4) 4 ほとんどない | (0.2) 6 その他 (具体的に) |

(0.1) 無回答

問3 あなたが小学校高学年の頃、世間一般と比べてご家庭の収入状況は、以下のどれに最もあてはまりますか。

(〇は1つ) (N=2,219)

- | | | |
|---------------------|-------------------|-------------------|
| (11.2) 1 平均よりかなり少ない | (37.8) 3 ほぼ平均 | (3.7) 5 平均よりかなり多い |
| (17.4) 2 平均よりやや少ない | (14.5) 4 平均よりやや多い | (15.3) 6 覚えていない |

(0.2) 無回答

問4 あなたが小学校高学年の頃、お父様がしていたお仕事は、次のどれにあたりますか。(〇は1つ)

(N=2,219)

- | | |
|--|---------------------------|
| (16.4) 1 経営者、役員、理事、課長相当以上の
管理職 (公務員を含む) | (1.4) 5 臨時雇い・パート・アルバイト・内職 |
| (42.5) 2 常時雇用されている一般従業者
(公務員を含む) | (0.9) 6 その他 (具体的に) |
| (13.2) 3 農林漁業の自営業 | (0.7) 7 無職 |
| (15.1) 4 農林漁業以外の自営業 | (3.2) 8 わからない |
| | (6.2) 9 父親はいなかった |

(0.5) 無回答

問5 あなたが小学校高学年の頃、お母様は働いていらっしゃいましたか。あてはまるものに1つだけ〇をつけてください。(〇は1つ)(N=2,219)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| (24.8) 1 自営業、自由業 (家族従業員も含む) | (1.7) 5 その他の職業 (具体的に) |
| (3.4) 2 公務員 | (29.1) 6 無職 |
| (9.9) 3 民間企業の正社員 | (2.6) 7 わからない |
| (25.7) 4 パート・アルバイト | (2.3) 8 母親はいなかった |

(0.5) 無回答

問6 あなたが小学校高学年の頃、ご両親からもらうおこづかいやプレゼントの金額は友達とくらべてどれくらいでしたか。(〇は1つ) (N=2,219)

- | | | |
|-----------------|-------------------|---------------------|
| (4.7) 1 多いほうだった | (18.6) 3 少ないほうだった | (18.9) 5 もらうことがなかった |
| (42.7) 2 ふつうだった | (13.7) 4 覚えていない | (1.2) 6 その他 (具体的に) |

(0.1) 無回答

問7 あなたが小学校高学年の頃、家の仕事(料理、洗濯、掃除、おつかいなど)を手伝いましたか。(〇は1つ)

(N=2,219)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| (26.8) 1 よく手伝った | (11.7) 4 手伝わなかった |
| (34.7) 2 やや手伝った | (3.5) 5 覚えていない |
| (23.1) 3 あまり手伝わなかった | (0.2) 6 その他 (具体的に) |

(0.1) 無回答

問8 あなたが小学生の頃、ご両親は次のようなことをしていましたか。(○はそれぞれいくつでも)

(N=2,219)	父親	母親
	↓	↓
a. 宝くじ	(12.7)	(8.0)
b. 公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)	(6.7)	(0.2)
c. パチンコ・パチスロ	(16.9)	(1.8)
d. マージャン	(8.8)	(0.7)
e. 上記、いずれもしていなかった	(51.7)	(72.6)
f. 当時、父親(母親)はいなかった	(4.9)	(2.1)
g. 覚えていない	(8.3)	(8.9)
無回答	(3.4)	(6.6)

金融の知識についておうかがいします。

問9 あなたは、どのような金融に関する知識・情報が暮らしに役立つと思いますか。(○は3つまで)

(N=2,219)

- (24.5) 1 金融商品・サービスの種類や商品性(リスクを含む)に関する知識・情報
- (27.6) 2 金融機関が破たん(倒産)しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報
- (18.0) 3 金融・経済の仕組みに関する知識・情報(例:金融機関や株式市場の役割・機能について)
- (8.2) 4 多重債務に陥らないための知識・情報
- (24.4) 5 金融取引においてトラブルにまきこまれないための知識・情報
- (43.3) 6 将来の生活設計やこれに必要となる資金計画などに関する知識・情報
- (60.5) 7 介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報
- (18.8) 8 子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報
- (5.4) 9 どれも役立つと思わない
- (0.7) 10 その他(具体的に)

(2.6) 無回答

問10 銀行で取り扱われている以下の金融商品のうち預金保険の保護の対象となっているのは、どれだと思いますか。(○は1つ) (N=2,219)

- | | | | |
|----------------|-----------------|----------------|--------------|
| (0.8) 1 外貨預金 | (1.3) 3 公社債投資信託 | (7.3) 5 住宅火災保険 | (17.8) 7 どれも |
| (0.8) 2 株式投資信託 | (8.2) 4 国債 | (53.0) 6 定期預金 | 保護されない |

(10.8) 無回答

問11 現金口座に100万円あり、預金金利が年率2%であるとします。

預金を引き出さずにそのままにした場合、10年後の金額はいくらだと思いますか。(○は1つ)

(N=2,219)

- | | | |
|-----------------|--------------------|------------------|
| (31.7) 1 120万円超 | (19.6) 2 120万円ちょうど | (44.2) 3 120万円未満 |
|-----------------|--------------------|------------------|

(4.6) 無回答

クレジットカードや消費者金融についておうかがいします。

問12 クレジットカードに対する次の意見について、あなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)
(N=2,219)

	⇒	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わな い	そう 思わない	無回答
a.持っている则便利だ	⇒	(45.7)	(28.3)	(12.4)	(12.0)	(1.5)
b.現金で買うよりもお得(ポイントなど)	⇒	(27.9)	(35.4)	(22.2)	(12.4)	(2.1)
c.持っている则ステータスになる	⇒	(4.3)	(11.4)	(40.4)	(40.6)	(3.3)
d.使いすぎる恐れがある	⇒	(41.9)	(33.6)	(13.3)	(9.7)	(1.5)
e.犯罪に利用される恐れがある	⇒	(40.6)	(41.1)	(11.0)	(4.9)	(2.4)
f.宣伝を法律で制限すべきだ	⇒	(16.0)	(25.9)	(39.4)	(15.7)	(3.1)

問13 あなたは、ご自分名義のクレジットカードを持っていますか。家族カードや使用していないものも含みます。
(○は1つ) (N=2,219)

(63.3) 1 持っている	(29.9) 2 持っていない	→ 6ページの間14へお進みください
-----------------------	------------------------	--------------------

(6.8) 無回答

【問13で「1」を回答した方へ】

問13-1 何枚のクレジットカードをお持ちですか。(N=1,404)

(27.3) 1枚	(8.0) 4枚	(0.2) 11~20枚
(31.6) 2枚	(5.9) 5枚	(-) 21枚以上
(21.6) 3枚	(4.8) 6~10枚	

(0.6) 無回答

問13-2 あなたご自身のひと月あたりの私的なショッピングでのクレジットカード利用額はどれくらいですか。クレジットカードを複数枚お持ちの方は合計利用額をお答えください。

※ショッピングでの利用がない場合は「× 利用していない」に○をおつけください。(N=1,404)

ひと月あたり約	(11.4)	1万円未満	(2.2)	~5万円未満	(1.1)	~9万円未満
	(18.2)	~2万円未満	(7.3)	~6万円未満	(0.1)	~10万円未満
	(11.3)	~3万円未満	(0.9)	~7万円未満	(4.9)	~20万円未満
	(8.6)	~4万円未満	(0.9)	~8万円未満	(2.0)	20万円以上
					(15.5)	利用していない

(15.7) 無回答

問13-3 あなたがお持ちのクレジットカードのうち、年間利用額が最も多いものの年会費(税抜き)はいくらですか。
(○は1つ) (N=1,404)

(57.4) 1 無料	(7.1) 3 1万円以上2万円未満	(0.9) 5 3万円以上5万円未満
(29.6) 2 1円以上1万円未満	(0.9) 4 2万円以上3万円未満	(2.1) 6 5万円以上

(1.9) 無回答

問13-4 あなたは、どのような基準で年間利用額が最も多いクレジットカードを選びましたか。(〇はいくつでも)
(N=1,404)

(42.5) 1 ポイントやマイルを貯めやすい	(5.2) 10 各種補償や保険が充実している
(49.3) 2 年会費が安い、または無料	(4.9) 11 空港ラウンジなどの付帯サービスが充実している
(16.7) 3 銀行・ゆうちょなどのキャッシュカードと一体型	(11.7) 12 発行会社の知名度が高い
(4.8) 4 交通系電子マネー (Suica や PASMO など) と一体型	(2.5) 13 ステータスがある
(25.4) 5 よく利用するお店で割引サービスなどが受けられる	(1.5) 14 カードのデザインが良い
(15.8) 6 ポイントと交換できる商品などが良い	(3.6) 15 その他
(5.0) 7 サポート体制 (サービスデスクなど) がしっかりしている	(具体的に)
(2.1) 8 利用限度額が高い	(12.9) 16 特に理由はない
(7.1) 9 入会時などのキャンペーンが充実している	

(0.5) 無回答

問13-5 あなたは、どのような支払いにクレジットカードを利用していますか。(〇はいくつでも)
(N=1,404)

(45.1) 1 インターネットショッピング	(34.3) 8 ガソリンスタンド
(32.7) 2 公共料金・通信費	(17.9) 9 航空券・乗車券・定期券
(26.5) 3 スーパーマーケット	(35.9) 10 高速道路料金 (ETC)
(9.4) 4 コンビニエンスストア	(6.9) 11 電子マネーのチャージ
(11.0) 5 ドラッグストア	(8.5) 12 病院・医療機関
(44.0) 6 百貨店・家電量販店	(4.8) 13 その他 (具体的に)
(19.2) 7 レストラン・飲食店	(1.9) 利用していない

(2.7) 無回答

問13-6 クレジットカードを使い始めてから、あなたの生活にはどのような変化がありましたか。(〇はそれぞれ1つつ) (N=1,404)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 現金を持ち歩かなくなった	(5.2)	(18.0)	(31.3)	(43.7)	(1.7)
b. 手持ちのお金がどれくらいあるか気にしなくなった	(2.4)	(13.0)	(33.5)	(49.1)	(1.9)
c. 月々の支出を管理しやすくなった	(4.8)	(17.8)	(35.5)	(39.4)	(2.4)
d. お金を節約できるようになった	(1.3)	(8.8)	(43.3)	(44.2)	(2.5)
e. クレジットカード支払いができる店を選ぶようになった	(6.0)	(19.7)	(29.6)	(42.6)	(2.1)
f. クレジットカードのサービス (ポイントや割引) が受けられる店を選ぶようになった	(7.0)	(21.7)	(30.6)	(38.7)	(2.1)
g. つい必要以上の買い物もするようになった	(5.0)	(16.4)	(32.3)	(44.5)	(1.8)
h. つい高額なものも買うようになった	(3.0)	(11.5)	(31.8)	(51.7)	(2.0)

【 全員の方へ 】

問14 このところ、ATM や無人契約機などで手軽にお金を借りられるカードローンや消費者金融が普及していますが、次の意見について、あなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)
(N=2,219)

	⇒	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう思わ ない	無回答
a. あると便利だ	⇒	(11.9)	(18.5)	(26.2)	(41.9)	(1.5)
b. 使いすぎる恐れがある	⇒	(52.3)	(26.5)	(8.5)	(11.1)	(1.5)
c. 犯罪に利用される恐れがある	⇒	(50.6)	(31.0)	(9.4)	(7.4)	(1.6)
d. 宣伝を法律で制限すべきだ	⇒	(34.7)	(27.3)	(23.7)	(12.2)	(2.1)

問15 あなたは、これまでにカードローンや消費者金融から借入したことがありますか。(○は1つ)

*カードローン:銀行などの使い道が自由なローン

*消費者金融:消費者金融会社からの使い道が自由なローン (N=2,219)

(10.3) 1 カードローンはある	(2.4) 2 消費者金融はある	(3.8) 3 カードローンも 消費者金融もある	(82.2) 4 どちらもない
--------------------	------------------	-----------------------------	-----------------

▶ 9ページの間18へお進みください

(1.3) 無回答

【 問15で「1~3」と回答した方へ 】

問15-1 カードローンや消費者金融から借入した際に、次のようなことをされた経験がありますか。

ア)カードローンと、イ)消費者金融について、それぞれお知らせください。(○はそれぞれいくつでも)

*問15で借入したことがあるものについてお答えください。

	ア) カード ローン (N=313) ↓	イ) 消費 者 金 融 (N=138) ↓
a. 必要金額以上の借入を勧められた	(9.3)	(34.1)
b. 貸付可能金額の増額を提案された	(22.7)	(44.2)
c. 新規あるいは追加の借入を勧められた	(6.7)	(26.1)
d. 電話等で追加の借入を勧められ、店舗に行かないまま銀行口座にお金が振り込まれた	(1.9)	(10.9)
e. 一括(または一部)返済しようとした際、また借りるよう言われた	(4.2)	(18.1)
f. 一括(または一部)返済しようとした際、返済しないよう言われた	(1.6)	(7.2)
g. ATMで借入限度額が表示されるので、つい必要以上の借入をしてしまった	(12.5)	(21.7)
h. 上記いずれも経験したことがない	(59.4)	(30.4)

無回答

(7.0)

(8.0)

問15-2 カードローンや消費者金融から借入したことで、あなたの日常生活にどのような変化が起きましたか。

(○はいくつでも) (N=367)

(10.4) 1 高額の商品を買うことができた	(1.9) 8 経営する会社(個人経営を含む)が倒産した
(4.9) 2 事業の資金繰りが円滑になった	(2.5) 9 自宅を手放した
(24.5) 3 上記以外の臨時の出費にも対応できるようになった	(1.1) 10 親戚との付き合いがなくなった
(1.4) 4 自殺を考えるようになった	(1.4) 11 保証人に請求があり、顔向けできなくなった
(2.5) 5 職場を辞めた	(6.5) 12 その他(具体的に)
(2.7) 6 家族の別居や離婚など、家庭崩壊を招いた	(51.5) 13 特に大きな変化はなかった
(0.8) 7 子供が学校を退学した、進学を断念した	

(1.9) 無回答

問16 あなたは、なぜカードローンや消費者金融から借入をしましたか。

ア)カードローンと イ)消費者金融について、それぞれの理由をお答えください。(○はそれぞれいくつでも)

*問15で借入したことがあるものについてお答えください。

	ア) カードローン (N=313) ↓	イ) 消費者金融 (N=138) ↓
a. 住宅ローンの返済	(7.7)	(6.5)
b. 車のローンや借金の返済	(19.2)	(11.6)
c. 生活資金の補てん	(45.0)	(38.4)
d. 事業資金の補てん	(5.1)	(9.4)
e. 訪問販売の物品の購入	(0.6)	(-)
f. パチンコ、競馬等のギャンブル費	(6.1)	(11.6)
g. 保証人・肩代わり	(1.9)	(7.2)
h. 趣味や遊興費	(26.8)	(34.8)
i. その他(具体的に)	(8.0)	(4.3)
無回答	(6.7)	(8.0)

問17 現在、カードローンや消費者金融からの借入残高はありますか。(○は1つ) (N=367)

(22.1) 1	カードローン がある	(5.4) 2	消費者金融が ある	(2.5) 3	カードローンと 消費者金融両方ある	(70.0) 4	現在は両方ともない
							→ 次ページの間18へお進みください

(-)無回答

【 問17で「1～3」と回答した方へ 】

問17-1 あなたは、最近3年の間にカードローンや消費者金融から何回お金を借りましたか。(○はそれぞれ1つずつ)

* 問17で現在、借入残高があるものについてお答えください。

	ア) カード ローン (N=90) ↓	イ) 消費者 金融 (N=29) ↓
a. 1回ある	(20.0)	(10.3)
b. 2～5回ある	(41.1)	(31.0)
c. 6～9回ある	(7.8)	(3.4)
d. 10回以上ある	(17.8)	(17.2)
e. 最近3年間はない	(12.2)	(27.6)
無回答	(1.1)	(10.3)

問17-2 現在の借入残高の総額はいくらですか。カードローン・消費者金融それぞれについてお答えください。

回答可能な範囲でお答え頂ければ結構です。* 問17で現在、借入残高があるものについてお答え下さい。

ア)カードローン → (N=90)

(-) 0万円	(15.6)	～300万円未満
(4.4) ～10万円未満	(2.2)	～500万円未満
(21.1) ～30万円未満	(2.2)	～1000万円未満
(14.4) ～50万円未満	(1.1)	1000万円以上
(22.2) ～100万円未満		
(16.7) 無回答		

イ)消費者金融 → (N=29)

(-) 0万円	(13.8)	～300万円未満
(3.4) ～10万円未満	(6.9)	～500万円未満
(17.2) ～30万円未満	(-)	～1000万円未満
(6.9) ～50万円未満	(6.9)	1000万円以上
(27.6) ～100万円未満		
(17.2) 無回答		

問17-3 カードローンや消費者金融からの借入について、その返済に困難を感じていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

* 問17で現在、借入残高があるものについてお答え下さい。

	ア) カード ローン (N=90) ↓	イ) 消費者 金融 (N=29) ↓
a. まったく困難を感じていない	(50.0)	(41.4)
b. 少し困難を感じている	(42.2)	(41.4)
c. すでに返済困難な状況になっている	(4.4)	(3.4)
d. 多重債務、個人破産に追い込まれている	(-)	(3.4)
無回答	(3.3)	(10.3)

【 全員の方へ 】

マイナス金利政策についておうかがいします。

問18 本年2月から日本銀行がマイナス金利政策を導入しましたがご存知でしたか。(○は1つ) (N=2,219)

(20.9) 1 内容まで知っている	(50.1) 2 聞いたことはあるが内容は知らない	(24.8) 3 知らない
↓	→ 問19へお進みください	→ 問19へお進みください

(4.2) 無回答

【 問18で「1」と回答した方へ 】

問18-1 マイナス金利政策とは次のうちどれだと思いますか。(○は1つ) (N=464)

(7.8) 1 銀行などの預貯金金利がマイナスになる
(33.4) 2 金融機関が日本銀行の当座預金に預けている資金の全部にマイナス金利が適用される
(58.0) 3 金融機関が日本銀行の当座預金に預けている資金の一部にマイナス金利が適用される

(0.9) 無回答

問18-2 マイナス金利政策導入で日本銀行が目標としている「2017年度中に物価上昇率2%」に到達すると思いますか。(○は1つ) (N=464)

(69.8) 1 到達しないと思う	(1.5) 3 2%を超えと思う
(4.7) 2 2%に到達すると思う	(23.7) 4 わからない

(0.2) 無回答

【 全員の方へ 】

問19 マイナス金利政策に対して不安を感じますか。(○は1つ) (N=2,219)

(26.7) 1 感じる	(10.4) 2 感じない → 問19-2へお進みください	(59.0) 3 わからない → 次ページの問20へお進みください
--------------	-------------------------------	-----------------------------------

(4.0) 無回答

【 問19で「1」と回答した方へ 】

問19-1 不安を感じる理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=592)

(71.6) 1 預貯金などの金融資産の利息など収益が減る	(7.3) 4 ローンなどの審査が厳しくなる
(11.0) 2 金融商品の取扱い中止など運用する商品が限られてくる	(31.6) 5 金融機関の経営が悪化し経営難や倒産する
(40.7) 3 ATMなどの手数料や生命保険などの保険料が値上がりする	(51.2) 6 年金の運用益が減り年金支給額が減る
	(2.4) 7 その他 (具体的に)

(0.3) 無回答

* 回答後、次ページの問20へお進みください。

【 問19で「2」と回答した方へ 】

問19-2 不安を感じない理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=230)

(23.0) 1 住宅ローンなどローンの金利が下がる	(7.8) 3 金融機関の競争で手数料や保険料が安くなる
(53.0) 2 今まで低い金利であったので金融資産の利息など収益に期待していない	(2.6) 4 その他 (具体的に)
	(16.1) 5 金融資産を保有していない

(15.7) 無回答

【 全員の方へ 】

問20 マイナス金利導入後(本年2月以降)、預貯金など保有されている金融資産の運用先を変更されましたか。(〇は1つ) (N=2,219)

(1.7) 1 変更した	(2.5) 2 変更を検討している	(92.1) 3 変更する予定はない	→問21へ お進みください (3.8) 無回答
--------------	-------------------	--------------------	-------------------------------

【 問20で「1」又は「2」と回答した方へ 】

問20-1 運用先を変更されたり、変更を検討されている理由は何ですか。(〇はいくつでも) (N=92)

(72.8) 1 預貯金金利や投資金融商品の利回りが低下したから	(10.9) 3 手数料などが値上がりしたから
(3.3) 2 金融商品が取扱い停止になったから	(5.4) 4 その他(具体的に)

(10.9) 無回答

問20-2 (1) マイナス金利導入前に保有していた金融商品等をお知らせください。(〇はいくつでも)
 (2) ① マイナス金利導入後に運用先を変更されたり、変更を検討されている金融資産は次のどれですか。(〇はいくつでも)
 また、(2) ② 回答可能な範囲でお答えいただければ結構ですので、総額でおおよそいくら位変更されましたか。マイナス金利導入後に運用先を変更した金融資産の総額をお知らせください。

	(1) マイナス金利導入前に保有していた金融商品等 (N=92) ↓	(2) ① マイナス金利導入後に変更したり変更を検討している金融商品等 (N=92) ↓
a. 郵便貯金〈通常貯金〉	(46.7)	(8.7)
b. 郵便貯金〈定期貯金・定額貯金〉	(42.4)	(18.5)
c. 預貯金〈普通預金〉	(58.7)	(17.4)
d. 預貯金〈定期性預金・定期積立〉	(51.1)	(26.1)
e. 外貨建て金融商品(外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等)	(17.4)	(15.2)
f. 生命保険(定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含みません。)	(33.7)	(15.2)
g. 個人年金(公的年金の保険料は含みません。)	(22.8)	(8.7)
h. 債券(国債、金融債(ワイド	(13.0)	(7.6)
i. 株式(従業員特殊制度による株式を含みます。)	(20.7)	(14.1)
j. 投資信託(公社債投信、株式投信、MMF、REIT等)	(19.6)	(14.1)
k. 財形貯蓄、社内預金	(9.8)	(4.3)
l. その他の金融商品(貸付信託、積立型損害保険、金融貯蓄口座等)	(2.2)	(2.2)
m. クラウドファンディング等の融資	(4.3)	(-)
n. 現金	(25.0)	(5.4)
無回答	(14.1)	(25.0)

(2) ② マイナス金利導入後に運用先を変更した金融資産の総額 →
(N=37)

(-) 0万円	(8.1) ~200万円未満	(10.8) ~1000万円未満
(5.4) ~30万円未満	(10.8) ~300万円未満	(10.8) ~2000万円未満
(-) ~50万円未満	(8.1) ~400万円未満	(5.4) ~5000万円未満
(8.1) ~100万円未満	(5.4) ~500万円未満	(-) 5000万円以上

(27.0) 無回答

【 全員の方へ 】

問21 マイナス金利導入後(本年2月以降)、住宅ローンの借り換えや新規契約をされましたか。(〇は1つ)
(N=2,219)

(72.8) 1 住宅ローンはない	(15.1) 4 住宅ローンの借り換えをする予定はない
(0.9) 2 住宅ローンの借り換えをした	(0.4) 5 住宅ローンの新規契約をした
(1.6) 3 住宅ローンの借り換えを検討している	

(9.2) 無回答

【 全員の方へ 】

ジュニア NISA(未成年者少額投資非課税制度)についておうかがいします。

問22 本年 4 月から金融機関でジュニア NISA(未成年者少額投資非課税制度)の取扱いが開始されましたがご存知でしたか。(○は 1 つ) (N=2,219)

(11.8) 1 聞いたこともあり内容も知っている	(33.8) 2 聞いたことはあるが内容は知らない	(52.6) 3 聞いたことはない	(1.8) 無回答
---------------------------	---------------------------	-------------------	------------

【 問22で「1」と回答した方へ 】

次ページの間25へお進みください

問23 あなたには 20 歳未満の未成年のお子さんやお孫さんがいらっしゃいますか。(○は 1 つ) (N=262)

(24.4) 1 子どもがいる	(33.2) 2 孫がいる	(42.0) 3 未成年の子どもや孫はいない	(0.4) 無回答
-----------------	---------------	------------------------	------------

【 問23で「1」又は「2」と回答した方へ 】

次ページの間25へお進みください

問24 あなたは、お子さんかお孫さんのジュニア NISA 口座を開設されていますか。(○は 1 つ) (N=151)

(6.6) 1 開設した経験がある	(92.1) 2 開設した経験はない	→次ページの間25へお進みください	(1.3) 無回答
--------------------	--------------------	-------------------	------------

【 問24で「1」と回答した方へ 】

問24-1 ジュニア NISA を開設された金融機関は次のどこですか。(○はいくつでも) (N=10)

(30.0) 1 証券会社	(-) 5 ゆうちょ銀行
(20.0) 2 信託銀行	(-) 6 インターネット専門銀行 (楽天銀行など)
(-) 3 都市銀行	(20.0) 7 インターネット専門証券 (マネックス証券など)
(20.0) 4 地方銀行	(-) 8 その他 (具体的に)

(10.0) 無回答

問24-2 あなたご自身名義の NISA 口座は開設されていますか。(○は 1 つ) (N=10)

(90.0) 1 開設している	(10.0) 2 開設していない → 問24-4へお進みください
-----------------	----------------------------------

(-) 無回答

【 問24-2で「1」と回答した方へ 】

問24-3 ジュニア NISA 口座を開設された金融機関と、あなたが開設されている NISA 口座の金融機関は同じですか。(○は 1 つ) ※複数口座がある場合、同じ金融機関があれば同じ金融機関をお選びください。(N=9)

(55.6) 1 同じ金融機関	(44.4) 2 違う金融機関
-----------------	-----------------

(-) 無回答

問24-4 ジュニア NISA は開設された口座で運用をされていますか。(○は 1 つ) (N=10)

(40.0) 1 現在運用している	(10.0) 2 運用していたが解約した	(50.0) 3 まだ運用を開始していない	→ 次ページの間 24-8 へお進みください
-------------------	----------------------	-----------------------	------------------------

(-) 無回答

【 問24-4で「1」又は「2」と回答した方へ 】

問24-5 ジュニア NISA の開設口座での投資対象は次のどれですか。(○は 1 つ) (N=5)

(40.0) 1 上場株式のみ	(40.0) 2 投資信託のみ	(20.0) 3 上場株式と投資信託の両方
-----------------	-----------------	-----------------------

(-) 無回答

問24-6 ジュニア NISA 口座で運用された原資は次のどれですか。(〇はいくつでも) (N=10)

(10.0) 1 普通預金(ゆうちょ銀行の通常貯金など)	(-) 5 債券
(40.0) 2 定期預金(ゆうちょ銀行の定額貯金など)	(-) 6 給与・賞与
(10.0) 3 株式	(10.0) 7 年金
(-) 4 投資信託	(10.0) 8 退職金
	(-) 9 その他(具体的に)

(50.0) 無回答

問24-7 本年 10 月末現在でのジュニア NISA の運用額はいくらですか。(N=4)

(-) 0 万円	(50.0) ~100 万円未満
(25.0) ~30 万円未満	(25.0) ~200 万円未満
(-) ~50 万円未満	(-) 200 万円以上

(-) 無回答

問24-8 ジュニア NISA の利用目的は次のどれですか。(〇はいくつでも) (N=10)

(20.0) 1 子や孫への生前贈与の機会になるから	(20.0) 5 世帯全体で非課税運用を活用するため
(70.0) 2 子や孫の教育資金を準備するため	(-) 6 成人時に一定の金融資産を保有させたいため
(-) 3 子や孫の結婚資金を準備するため	(-) 7 投資教育が受けられるため
(10.0) 4 非課税贈与の基礎控除を活用するため	(-) 8 その他(具体的に)

(-) 無回答

【 全員の方へ 】

お仕事についておうかがいします。

問25 あなたは、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(〇は1つ) (N=2,219)

(60.0)1 している	(6.4)2 していない(求職中)	} →14ページの間26へお進みください
	(30.4)3 していない(求職活動もしていない)	

(3.2) 無回答

↓
次ページの間25-1へお進みください

【 問25で「1」と回答した方へ 】

問25-1 あなたの現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(N=1,133)

①雇用形態 (〇は1つ)	(47.0)1 正社員・正規職員 (8.5)2 嘱託・契約社員 (2.3)3 派遣社員	(26.4)4 パート・アルバイト (4.1)5 自営業(雇人あり) (7.9)6 自営業(雇人なし)	(1.8)7 自営業の手伝い (0.1)8 内職 (0.6)9 その他() (1.4)無回答
②業種 (〇は1つ)	(2.3)1 農林漁業 (7.1)2 建設業 (13.4)3 製造業 (2.3)4 電気・ガス・熱供給・水道業 (3.3)5 情報通信業 (4.4)6 運輸業	(13.2)7 卸売・小売業 (4.6)8 飲食業・宿泊業 (11.6)9 医療・福祉 (6.4)10 教育・学習支援業 (2.6)11 複合サービス業(協同組合・郵便局)	(10.4)12 複合サービス業(協同組合・郵便局以外) (7.0)13 公務 (8.9)14 その他(具体的に) (2.6)無回答
③職種 (〇は1つ)	(20.1)1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (5.7)2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (15.9)3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (15.0)4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (14.1)5 技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (4.4)6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (1.4)7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (2.3)8 農林漁業 (12.7)9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (5.9)10 その他(具体的に) (2.3)無回答		
④従業員数 (パート・アルバイトなどを含む)(〇は1つ)	(16.2)1 5人未満 (6.8)2 5人以上10人未満 (13.4)3 10人以上30人未満	(15.7)4 30人以上100人未満 (10.2)5 100人以上300人未満 (4.7)6 300人以上500人未満	(4.8)7 500人以上1,000人未満 (13.1)8 1,000人以上 (4.6)9 官公庁 (6.4)10 わからない (4.1)無回答
※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。			
⑤就労時間	週平均 (35.27時間)	(11.8)10 時間未満 (7.7)20 時間未満 (11.6)30 時間未満 (8.7)40 時間未満	(32.8)50 時間未満 (11.7)60 時間未満 (5.0)70 時間未満 (2.0)80 時間以上 (0.3)90 時間未満 (0.2)100 時間未満 (0.5)100 時間以上 (7.7)無回答
⑥就職時期 (現在の就業先について) (〇は1つ)	西暦 (0.2)1950年代以前 (0.9)1960年代 (3.2)1970年代	(9.0)1980年代 (12.9)1990年代 (22.5)2000年代	(40.3)2010年代 (11.0)無回答 月
※昭和元年は西暦1926年、平成元年は西暦1989年になります。 ※最終ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。 ※いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。 ※自営業の場合には、事業を始められた時期を記入してください。			
⑦仕事に対する満足度 (〇は1つ)	(15.7)1 満足 (42.7)2 まあまあ満足	(17.9)3 やや不満 (6.8)4 不満	(14.1)5 どちらともいえない (2.9)無回答

【 全員の方へ 】

問26 あなたの配偶者は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。配偶者のいない方は「4 配偶者はいない」をお選びください。(〇は1つ) (N=2,219)

(40.6) 1 している	(4.0) 2 していない(求職中)	} →次ページの問27へお進みください
	(21.5) 3 していない(求職活動もしていない)	
	(30.2) 4 配偶者はいない	
		(3.6) 無回答

【 問26で「1」と回答した方へ 】

問26-1 配偶者の方のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(N=902)

①雇用形態 (〇は1つ)	(54.9) 1 正社員・正規職員 (6.9) 2 嘱託・契約社員 (0.9) 3 派遣社員	(19.2) 4 パート・アルバイト (5.4) 5 自営業(雇人あり) (6.8) 6 自営業(雇人なし)	(4.2) 7 自営業の手伝い (0.1) 8 内職 (0.2) 9 その他() (1.4) 無回答		
②業種 (〇は1つ)	(2.7) 1 農林漁業 (7.5) 2 建設業 (15.0) 3 製造業 (2.2) 4 電気・ガス・熱供給・水道業 (3.7) 5 情報通信業 (4.5) 6 運輸業	(12.6) 7 卸売・小売業 (4.4) 8 飲食業・宿泊業 (13.5) 9 医療・福祉 (4.0) 10 教育・学習支援業 (0.9) 11 複合サービス業(協同組合・郵便局)	(9.9) 12 複合サービス業(協同組合・郵便局以外) (7.4) 13 公務 (7.3) 14 その他(具体的に) (4.3) 無回答		
③職種 (〇は1つ)	(18.7) 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (9.4) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (14.6) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (14.2) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (16.2) 5 技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (3.8) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (1.7) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (3.1) 8 農林漁業 (12.1) 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (2.2) 10 その他(具体的に) (4.0) 無回答				
④従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ)	(17.5) 1 5人未満 (6.3) 2 5人以上10人未満 (12.2) 3 10人以上30人未満	(14.6) 4 30人以上100人未満 (8.5) 5 100人以上300人未満 (2.3) 6 300人以上500人未満	(4.4) 7 500人以上1,000人未満 (12.5) 8 1,000人以上 (4.4) 9 官公庁 (12.0) 10 わからない (5.1) 無回答		
⑤就労時間	週平均 (37.26時間)	(9.3) 10時間未満 (7.5) 20時間未満 (9.0) 30時間未満 (6.7) 40時間未満	(34.5) 50時間未満 (13.2) 60時間未満 (5.3) 70時間未満 (2.4) 80時間未満	(0.3) 90時間未満 (0.4) 100時間未満 (0.3) 100時間以上 (11.0) 無回答	※残業時間を含みます。休職中の方は、0とご記入ください。
⑥就職時期 (現在の就業先について) (〇は1つ)	西暦	(0.6) 1950年代以前 (1.2) 1960年代 (4.9) 1970年代	(11.3) 1980年代 (13.0) 1990年代 (22.3) 2000年代	(29.0) 2010年代 (17.7) 無回答	月
※昭和元年は西暦1926年、平成元年は西暦1989年になります。※「西暦・元号対比表」をご参照下さい。 ※いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。 ※自営業の場合には、事業を始められた時期を記入してください。					

収入と支出、社会保険についておうかがいします。

【 全員の方へ 】

問27 (1)あなたご自身の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。収入なしの場合には「0」を記入してください。また、昨年1年間、就労していなかった場合は、「X 昨年1年間は、就労していなかった」に○をつけてください。

(2)【配偶者がいる方に】 配偶者の方の就労収入も、ご記入ください。(N=2,219)

①あなた(税込)			②配偶者(税込)		
(27.2)0万円	(4.8)~500万円未満	(0.4)~1000万円未満	(19.1)0万円	(3.5)~500万円未満	(0.5)~1000万円未満
(7.5)~100万円未満	(4.2)~600万円未満	(1.6)~1500万円未満	(4.6)~100万円未満	(2.8)~600万円未満	(1.1)~1500万円未満
(9.9)~200万円未満	(2.8)~700万円未満	(0.1)~2000万円未満	(4.9)~200万円未満	(2.6)~700万円未満	(0.1)~2000万円未満
(8.0)~300万円未満	(2.0)~800万円未満	(0.0)2000万円以上	(3.2)~300万円未満	(1.5)~800万円未満	(0.3)2000万円以上
(6.5)~400万円未満	(2.1)~900万円未満	(22.9)無回答	(4.0)~400万円未満	(1.1)~900万円未満	(36.0)無回答

X 昨年1年間は、就労していなかった

X 昨年1年間は、就労していなかった

(14.6)Y 配偶者はいない

問28 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしているご家族)の昨年1年間の総収入は、どこから得たものですか。次のうちあてはまるものすべてお答えください。(○はいくつでも) (N=2,219)

(53.1) 1 あなたの就業収入	(0.5) 6 失業給付	(0.3) 11 特別児童扶養手当
(35.7) 2 配偶者の就業収入	(-) 7 元夫(妻)からの養育費	(0.8) 12 生活保護
(13.4) 3 その他の世帯員の就業収入	(1.7) 8 親族からの援助	(4.7) 13 財産収入(利子・配当・家賃など)
(33.7) 4 公的年金・恩給	(7.8) 9 児童手当	(0.7) 14 その他
(13.4) 5 個人年金・企業年金	(1.0) 10 児童扶養手当	(具体的に)

(6.6)無回答

問28-1 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしているご家族)の昨年1年間の収入の総額は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入(遺産を除く)と、税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額でお答えください。(N=2,219)

総収入: 税込	(-)0万円	(7.1)~500万円未満	(2.1)~1,000万円未満
	(1.1)~100万円未満	(7.1)~600万円未満	(6.4)~1,500万円未満
	(3.8)~200万円未満	(5.7)~700万円未満	(1.2)~2,000万円未満
	(7.1)~300万円未満	(4.1)~800万円未満	(0.7)2,000万円以上
	(8.9)~400万円未満	(4.6)~900万円未満	(40.0)無回答
手取り:	(-)0万円	(7.8)~500万円未満	(1.0)~1,000万円未満
	(3.2)~100万円未満	(5.1)~600万円未満	(2.1)~1,500万円未満
	(4.7)~200万円未満	(4.7)~700万円未満	(0.4)~2,000万円未満
	(9.8)~300万円未満	(2.6)~800万円未満	(0.1)2,000万円以上
	(9.1)~400万円未満	(2.2)~900万円未満	(47.1)無回答

問29 ①あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしている家族)の、昨年のひと月あたりの支出はどのくらいですか。最も平均的な月について、お答えください。(N=2,219)

ひと月あたり約	(-)0万円	(16.4)~25万円未満	(1.1)~50万円未満	※支出には次のものを含みます。食費、被服費、光熱・水道費、住居費(但し住宅購入費、住宅改修費、住宅ローンの返済を除く)、耐久消費財購入費、交通・通信費、保育料・教育費、教養娯楽・交際費、保健・医療費、保険料
	(0.6)5万円未満	(8.7)~30万円未満	(4.3)50万円以上	
	(3.2)~10万円未満	(12.1)~35万円未満		
	(8.7)~15万円未満	(3.5)~40万円未満		
	(10.1)~20万円未満	(3.1)~45万円未満	(28.3)無回答	

②また、昨年ひと月あたりの住宅ローン返済額をお知らせください。昨年1年間、住宅ローン返済がなかった場合は、「X 昨年1年間は、住宅ローンの返済はなかった」に○をつけてください。(N=2,219)

ひと月あたり約	(62.2)0万円	(0.2)~25万円未満	(-)~50万円未満	(60.0)X 昨年1年間は、住宅ローンの返済はなかった
	(1.6)5万円未満	(0.0)~30万円未満	(0.8)50万円以上	
	(8.1)~10万円未満	(0.2)~35万円未満		(40.0)無回答
	(4.3)~15万円未満	(-)~40万円未満		
	(0.9)~20万円未満	(-)~45万円未満	(21.6)無回答	

問30 お宅の家計の収支状況は次のうちどれが最も近いですか。(○は1つ) (N=2,219)

(22.8) 1 黒字	(22.8) 2 赤字	(44.3) 3 収支ほぼ拮抗
-------------	-------------	-----------------

(10.0) 無回答

問31 お宅の家計で保有されている金融資産残高はいくら位ですか。

(3.1) 0万円	(5.8) ~200万円未満	(8.2) ~1,000万円未満
(3.1) ~30万円未満	(4.0) ~300万円未満	(7.7) ~2,000万円未満
(1.0) ~50万円未満	(4.6) ~400万円未満	(6.3) ~5,000万円未満
(2.3) ~100万円未満	(1.4) ~500万円未満	(2.0) 5,000万円以上

(50.2) 無回答

住居についておうかがいします。

問32 現在のお宅はどのような住居ですか。親族の住居に同居しており、生計をともにしている場合はその住居についてお答えください。(○は1つ) (N=2,219)

(67.7) 1 持ち家 (一戸建て)	(3.0) 4 民間の借家 (一戸建て)	} →18ページの 問35へお進み ください
(1.6) 2 持ち家 (定期借地権付き一戸建て住宅)	(10.9) 5 民間の借家 (マンション、アパート等の集合住宅)	
(8.4) 3 持ち家 (マンション)	(3.8) 6 住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅	
	(1.7) 7 社宅・官舎	
	(0.4) 8 その他 (具体的に)	

→ 次ページの間33へお進みください

(2.5) 無回答

【 問32で「1」~「3」と回答した方へ 】

問32-1 それはどなたの所有ですか。ご自分からみた続柄でお答えください。(○はいくつでも) (N=1,725)

(44.6) 1 本人 (自分)	(2.9) 3 子供	(1.0) 6 兄弟姉妹	(0.3) 9 その他 (具体的に)
(35.2) 2 配偶者	(0.3) 4 子供の配偶者	(23.5) 7 親、配偶者の親	
	(0.2) 5 孫	(2.3) 8 祖父母、配偶者の祖父母	

(1.0) 無回答

【 問32-1で「1」または「2」と回答した方へ 】

問32-2 それはどのようにして取得されましたか。(○は1つ) (N=1,234)

(76.0) 1 自分または配偶者が購入した	(1.4) 3 その他 (具体的に)	→次ページの間33へお進みください
(20.5) 2 相続または譲渡を受けた		

(2.1) 無回答

【 問32-2で「1」または「2」と回答した方へ 】

問32-3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(N=1,191)

(2.2) 1950年代以前	(12.6) 1980年代	(15.4) 2010年代
(1.9) 1960年代	(18.2) 1990年代	(14.6) 無回答
(9.9) 1970年代	(25.2) 2000年代	

(14.6) 無回答

※昭和元年は西暦1926年、平成元年は西暦1989年になります。
※最終ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

【 問32-2で「1」と回答した方へ(問32-2で「2」と回答した方は、問33へお進みください) 】

問32-4 自己資金以外の購入資金を利用しましたか。利用された場合はそれぞれの金額をお答えください。

※利用されていない場合は「× 利用していない」に○をおつけください。(N=938)

①金融機関からの借入金	(16.1) 0万円 (0.2) ~100万円未満	(1.2) ~300万円未満 (1.5) ~500万円未満	(6.5) ~1000万円未満 (18.2) ~2000万円未満	(25.9) ~5000万円未満 (1.3) 5000万円以上	(29.1)無回答
②それ以外の借入金	(44.5) 0万円 (0.2) ~100万円未満	(1.2) ~300万円未満 (1.2) ~500万円未満	(1.2) ~1000万円未満 (1.9) ~2000万円未満	(0.5) ~5000万円未満 (-) 5000万円以上	(49.4)無回答
③親族からの援助	(41.3) 0万円 (0.2) ~100万円未満	(2.6) ~300万円未満 (1.4) ~500万円未満	(4.9) ~1000万円未満 (2.7) ~2000万円未満	(0.5) ~5000万円未満 (-) 5000万円以上	(46.5) 無回答

「①金融機関からの借入金」をお答えの方は問32-5へ。それ以外の方は問33へお進みください。

問32-5 次のうちの主にどの金融機関から調達されましたか。(○は1つ) (N=514)

(57.4) 1 民間金融機関	(38.9) 2 住宅金融支援機構 (旧 住宅金融公庫)	} →次ページの間33へ
(1.8) 3 その他 (具体的に)		

(1.9)無回答

→ 問32-5-1 民間金融機関はどちらでしたか。金融機関名をご記入ください。複数ある場合は、主な金融機関1つだけをお答えください。

→ 問32-5-2 その金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ) (N=295)

(36.6) 1 変動金利型	(3.7) 4 全期間固定金利型 (10年以下)
(28.8) 2 固定金利期間選択型 (10年以下)	(11.5) 5 全期間固定金利型 (10年超)
(7.5) 3 固定金利期間選択型 (10年超)	(2.0) 6 その他 (具体的に)

(9.8) 無回答

→ 問32-5-3 その金融機関から借入れたときの金利はおおよそどの位でしたか。小数第1位までご記入ください。(N=295)

(1.0) ~0.5%未満	(8.1) ~2.0%未満	(3.7) ~3.5%未満	(-) ~5.0%未満
(10.2) ~1.0%未満	(7.5) ~2.5%未満	(2.0) ~4.0%未満	(8.1) 5.0%以上
(8.8) ~1.5%未満	(5.4) ~3.0%未満	(0.3) ~4.5%未満	

(44.7) 無回答

【 問32で「1、2、3、8」と回答した方へ 】

問33 お住まいの住居はどのような構造ですか。(○は1つ) (N=1,733)

(62.7) 1 木造	(1.2) 3 ブロック造	(2.9) 5 その他
(3.5) 2 防火木造	(14.9) 4 鉄筋コンクリート	(具体的に)

(14.8) 無回答

問33-1 お住まいの住居は築後何年になりますか。(N=1,733)

築後	(9.5) 10年未満	(17.8) ~30年未満	(13.2) ~50年未満
	(17.2) ~20年未満	(16.2) ~40年未満	(8.5) 50年以上

(17.7) 無回答

問33-2 敷地面積、床面積はそれぞれいくらですか。(マンションは床面積のみ)

※1坪=3.3㎡として算出してください。平方メートル(㎡)または坪数のどちらかでお知らせください。

(N=1,546)

ア) 敷地面積 ()㎡	(1.2) 50㎡未満 (7.7) ~100㎡未満 (9.1) ~150㎡未満	(14.9) ~200㎡未満 (15.2) ~300㎡未満	(12.9) ~500㎡未満 (7.8) 500㎡以上	(31.1) 無回答
-----------------	---	----------------------------------	--------------------------------	------------

(N=1,733)

イ) 床面積 ()㎡	(1.2) 50㎡未満 (19.6) ~100㎡未満 (23.4) ~150㎡未満	(10.3) ~200㎡未満 (4.3) ~300㎡未満	(1.7) ~500㎡未満 (0.5) 500㎡以上	(38.9) 無回答
----------------	---	---------------------------------	-------------------------------	------------

問34 現在のお住まいについて、3年後のその資産価値はどのようになりますか。

マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(○は1つ) (N=1,733)

(36.5) 1 下がる	(14.3) 3 変わらない	} 問36へお進みください
(1.7) 2 上がる→問34-2へお進みください	(36.1) 4 わからない	

(11.4) 無回答

【問34で「1」と回答した方へ】

問34-1 下がる幅はおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (N=632)

(15.5) 1 50%以上	(18.0) 3 30%未満~20%以上	(24.4) 5 10%未満~5%以上
(8.5) 2 50%未満~30%以上	(17.2) 4 20%未満~10%以上	(11.4) 6 5%未満

(4.9) 無回答

問36へお進みください

【問34で「2」と回答した方へ】

問34-2 上がる幅はおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ)

(N=30)

(33.3) 1 5%未満	(36.7) 3 10%以上~20%未満	(13.3) 5 30%以上~50%未満	(-) 7 100%以上
(3.3) 2 5%以上~10%未満	(-) 4 20%以上~30%未満	(-) 6 50%以上~100%未満	

(13.3) 無回答

【問32で「4」~「7」と回答した、「持ち家」以外にお住まいの方へ】

問35 ひと月の家賃はどれくらいですか。(千円未満は四捨五入してお答えください。)

支払っていない場合は、「0」とご記入ください。

(N=431)

(14.2) 3万円未満	(10.7) ~7万円未満	(4.4) ~9万円未満	(6.7) ~20万円未満
(13.5) ~5万円未満	(6.5) ~8万円未満	(2.3) ~10万円未満	(-) 20万円以上
(13.5) ~6万円未満			

(28.3) 無回答

金融機関の利用についておうかがいします。

【全員の方へ】

問36 現在、あなたご自身が預金等をしている金融機関の数をご記入ください。

預金が無ければ「0」とご記入ください。

(N=2,219)

金融機関の数	(6.9) 0機関 (18.9) 1機関	(29.2) 2機関 (23.5) 3機関	(7.9) 4機関 (2.9) 5機関	(1.2) 6機関以上
--------	-------------------------	--------------------------	------------------------	-------------

(9.5) 無回答

【 問36 で預金等をしている金融機関がある方へ 】

問37 現在、預金等をしている金融機関のうち、①残高が1番多い金融機関名と、②2番目に多い金融機関の種類は次のどれですか。(○はそれぞれ1つずつ)
また、回答可能であれば金融機関名をご記入ください。なお、ゆうちょ銀行は除いてお書きください。

	①残高が1番多い金融機関 (N=1,856)	②残高が2番目に多い金融機関 (N=1,437)
	↓	↓
a. 金融機関の種類	(22.0) 1 都市銀行 (41.4) 2 地方銀行 (2.4) 3 第二地方銀行 (1.5) 4 信託銀行 (11.4) 5 信用金庫 (1.5) 6 信用組合 (1.6) 7 労働金庫 (7.0) 8 農漁協 (4.3) 9 その他 (6.9)無回答	(20.3) 1 都市銀行 (30.6) 2 地方銀行 (4.2) 3 第二地方銀行 (0.8) 4 信託銀行 (11.8) 5 信用金庫 (1.2) 6 信用組合 (2.1) 7 労働金庫 (7.0) 8 農漁協 (6.4) 9 その他 (15.5)無回答
b. 金融機関名		

問38 (問37)でお答えになった各金融機関と、ご自宅の距離はどれくらいですか。(○はそれぞれ1つずつ)

	①残高が1番多い金融機関 (N=1,856)	②残高が2番目に多い金融機関 (N=1,437)
	↓	↓
500m 未満	(17.3)	(14.0)
500m 以上 1km 未満	(27.6)	(25.7)
1km 以上 10km 未満	(44.2)	(39.2)
10km 以上	(6.0)	(7.5)
ネット銀行なので支店はない	(1.6)	(2.0)
無回答	(3.2)	(11.6)

問39 ご自宅にもっとも近い金融機関はどちらになりますか。(○は1つ) (N=1,856)

(65.4) 1 残高が1番多い金融機関	} → 次ページの間40へお進みください
(21.6) 2 残高が2番目に多い金融機関	
(6.4) 3 その他の金融機関 (具体的に)	
(6.6)無回答	

【 問39で「3」と回答した方へ 】

問39-1 その金融機関までの距離はどれくらいですか。(○は1つ) (N=119)

(46.2)1 500m 未満	(25.2)3 1km 以上 10km 未満
(26.1)2 500m 以上 1km 未満	(2.5)4 10km 以上
(-)無回答	

【 全員の方へ 】

問40 ATM が設置されたコンビニとご自宅の距離はどれくらいですか。

最も近いものと、2番目に近いものについてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ) (N=2,219)

	⇒	500m 未満	500m 以上 1km 未満	1km 以上 10km 未満	10km 以上	無回答
最も近いコンビニ	⇒	(45.8)	(35.2)	(13.3)	(0.5)	(5.3)
2番目に近いコンビニ	⇒	(18.0)	(39.9)	(27.3)	(1.7)	(13.0)

問41 そのコンビニ ATM で利用できる金融機関をお答えください。(〇はそれぞれいくつでも)

	⇒	残高が1番 多い金融機関	残高が2番目に 多い金融機関	いずれも利用で きない	無回答	
最も近いコンビニで ATM が利用できる金融 機関 (N=1,856)	⇒	(70.5)	(27.4)	(10.0)	(11.4)	→ 問41-1へお進 みください
2番目に近いコンビニ でATM が利用できる金 融機関 (N=1,437)	⇒	(53.0)	(38.8)	(9.7)	(20.5)	→ 問41-1へお進 みください

【 残高の多い金融機関のいずれも、ご自宅に近いコンビニで利用できない方にうかがいます 】

問41-1 各金融機関の利用可能な ATM が設置されたコンビニまでの距離はどれくらいですか。(〇はそれぞれ1つずつ) (N=108)

	⇒	500m 未満	500m 以上 1km 未満	1km 以上 10km 未満	10km 以上	無回答
①残高が1番多い金融機関の ATM が利用 できるコンビニまでの距離	⇒	(13.0)	(18.5)	(29.6)	(7.4)	(31.5)
②残高が2番目に多い金融機関の ATM が利用できるコンビニまでの距離	⇒	(6.5)	(20.4)	(27.8)	(10.2)	(35.2)

【 全員の方へ 】

問42 コンビニ以外の、金融機関の支店やショッピングセンター等に設置された ATM とご自宅の距離は、どれくらいですか。最も近いものと2番目に近いものについてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ) (N=2,219)

	⇒	500m 未満	500m 以上 1km 未満	1km 以上 10km 未満	10km 以上	無回答
最も近い ATM	⇒	(24.5)	(31.7)	(31.1)	(3.2)	(9.5)
2番目に近い ATM	⇒	(10.9)	(26.4)	(36.8)	(4.5)	(21.4)

問43 預金の残高が、①1番多い金融機関と、②2番目に多い金融機関の各金融機関の営業担当者の状況について、最もあてはまるものをお選びください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	①残高が1番多 い金融機関 (N=1,856)	②残高が2番目 に多い金融機関 (N=1,437)
a.支店に内勤の担当者がいる	(23.2)	(18.9)
b.外勤の担当者がいる	(6.3)	(6.1)
c.プライベートバンキング(資産運用、資産管理全般に関する富裕層向け総合サービス)の担当者がいる	(2.5)	(1.7)
d.専任の担当者はいない	(62.1)	(61.1)
無回答	(6.0)	(12.2)

【 問43で1～3に回答された方へ 】

問43-1 あなたは、各金融機関の担当者とどれくらい接触(相対による面談)されますか。(○はそれぞれ1つつ)

	①残高が1番多い金融機関 (N=592)	②残高が2番目に多い金融機関 (N=384)
1週間に1回以上	(4.1)	(1.3)
1ヶ月に1回	(17.6)	(14.8)
2～3ヶ月に1回	(11.7)	(7.8)
半年に1回	(9.5)	(7.6)
1年に1回	(6.6)	(9.9)
1年に1回未満	(12.8)	(14.1)
直接の接触はない	(36.3)	(42.7)
無回答	(1.5)	(1.8)

【 全員の方へ 】

問44 あなたは、各金融機関に定期預金をお持ちですか。お持ちの場合には、預金の契約条件をつぎの表にご記入ください。

定期預金を複数お持ちの方は、預入額が最大のものに関してお答えください。

	①残高が1番多い金融機関	②残高が2番目に多い金融機関
	↓	↓
①定期預金の有無(○は1つ) (n=1,856) (n=1,437)	(37.3)1 有 (52.1)2 無 (10.6)無回答	(26.1)1 有 (56.2)2 無 (17.7)無回答
②契約年月 (固定金利自動更新付の場合は 預入当初、変動金利の場合は契約当初) ※最終ページの「西暦・元号対比表」を ご参照ください。(n=693) (n=375)	(4.6)1980年代以前 (3.3)2013年 (5.3)1990年代 (6.2)2014年 (11.0)2000年代 (8.8)2015年 (1.9)2010年 (8.1)2016年以降 (1.6)2011年 (1.0)2012年 (48.2)無回答	(3.7)1980年代以前 (3.7)2013年 (4.5)1990年代 (3.7)2014年 (10.7)2000年代 (9.9)2015年 (2.1)2010年 (9.3)2016年以降 (2.7)2011年 (2.4)2012年 (47.2)無回答
③預金期間 (固定金利自動更新付の場合は 自動更新までの期間) ※最終ページの「西暦・元号対比表」を ご参照ください。(n=693) (n=375)	(4.0)2012年以前 (12.4)2017年 (0.7)2013年 (3.9)2018年 (0.4)2014年 (4.5)2019年以降 (1.3)2015年 (8.5)2016年 (64.2)無回答	(3.7)2012年以前 (14.7)2017年 (1.3)2013年 (1.9)2018年 (0.5)2014年 (5.6)2019年以降 (1.3)2015年 (6.7)2016年 (64.3)無回答
④預入額 (n=693) (n=375)	(-)0円 (2.6)～500万円未満 (3.3)～30万円未満 (8.7)～1000万円未満 (2.2)～50万円未満 (6.3)～2000万円未満 (4.5)～100万円未満 (1.9)～5000万円未満 (8.8)～200万円未満 (0.3)5000万円以上 (5.3)～300万円未満 (5.1)～400万円未満 (51.1)無回答	(-)0円 (1.6)～500万円未満 (5.6)～30万円未満 (10.1)～1000万円未満 (1.1)～50万円未満 (2.9)～2000万円未満 (4.8)～100万円未満 (0.3)～5000万円未満 (14.1)～200万円未満 (-)5000万円以上 (5.9)～300万円未満 (5.1)～400万円未満 (48.5)無回答
⑤金利方式(○は1つ) (n=693) (n=375)	(17.3) 1 固定金利自動更新無 (36.1) 2 固定金利自動更新付 (7.9) 3 変動金利 (38.7) 無回答	(17.1) 1 固定金利自動更新無 (37.9) 2 固定金利自動更新付 (8.0) 3 変動金利 (37.1) 無回答
⑥金利 (10月末現在の) (n=693) (n=375)	(23.2)0.05%未満 (-)～0.7%未満 (1.3)～0.1%未満 (-)～0.8%未満 (2.7)～0.2%未満 (-)～0.9%未満 (4.3)～0.3%未満 (-)～1%未満 (3.2)～0.4%未満 (0.7)1%以上 (0.4)～0.5%未満 (1.4)～0.6%未満 (62.6)無回答	(23.5)0.05%未満 (0.3)～0.7%未満 (1.1)～0.1%未満 (-)～0.8%未満 (2.9)～0.2%未満 (0.3)～0.9%未満 (5.9)～0.3%未満 (-)～1%未満 (4.0)～0.4%未満 (-)1%以上 (1.6)～0.5%未満 (0.3)～0.6%未満 (60.3)無回答
⑦ATM手数料割引、金利優遇その他の当該預金以外の商品等の特典の契約時点での提供(○は1つ) (n=693) (n=375)	(17.0)1 有 (45.9)2 無 (37.1) 無回答	(13.3)1 有 (48.5)2 無 (38.1) 無回答

問45 あなたが各金融機関で利用、購入している取引、商品、サービスをお答えください。(〇はそれぞれいくつでも)

	① 残高が1番多い金融機関 (N=1,856)	② 残高が2番目に多い金融機関 (N=1,437)
	↓	↓
a. 財形貯蓄	(7.2)	(4.4)
b. 国債	(1.4)	(0.6)
c. 公社債(国債を除く)	(0.9)	(0.2)
d. 投資信託	(5.0)	(2.4)
e. 株式	(2.0)	(1.5)
f. 信託商品	(0.6)	(0.6)
g. 外貨建て商品(外貨預金・外貨建て債券など)	(1.5)	(0.6)
h. 生命保険	(16.1)	(8.5)
i. 個人年金保険	(6.7)	(4.2)
j. 積立型損害保険	(1.3)	(1.0)
k. クレジットカードの引落	(36.0)	(19.4)
l. 公共料金の自動引落	(34.2)	(15.2)
m. その他の自動引落(保険料、授業料、家賃、税金等)	(27.4)	(14.7)
n. 給与の自動受取	(34.7)	(12.8)
o. 年金・恩給の自動受取	(23.2)	(10.2)
p. その他の自動受取(株式の配当、公社債等の利子等)	(2.8)	(2.0)
q. クレジットカード発行(系列会社による発行を含む)	(9.9)	(6.4)
r. 住宅ローン	(7.4)	(3.4)
s. 借入(住宅ローン以外)	(2.0)	(1.3)
t. インターネットバンキング	(7.3)	(4.9)
u. 貸金庫	(0.8)	(0.9)
v. P a y - e a s y (ペイジー)	(0.7)	(0.3)
w. デビットカード	(2.6)	(0.9)
x. ポイントプログラム	(1.3)	(0.5)
y. NISA	(3.1)	(0.7)
z. その他	(0.5)	(0.8)
上記のいずれもない	(13.8)	(26.7)
無回答	(6.6)	(18.1)

問46 あなたが各金融機関で提供を受けている手数料割引や金利優遇をお答えください。(〇はそれぞれいくつでも)

	① 残高が1番多い金融機関 (N=1,856)	② 残高が2番目に多い金融機関 (N=1,437)
a. ATM	(33.8)	(24.5)
b. 振込	(16.6)	(10.9)
c. 外国為替	(0.4)	(0.1)
d. 国債売買	(0.2)	(0.1)
e. 公社債(国債を除く)売買	(0.2)	(0.1)
f. 投資信託	(1.2)	(0.3)
g. 株式売買	(0.6)	(0.3)
h. 信託商品	(0.2)	(0.1)
i. 外貨建て商品(外貨預金・外貨建て債券など)	(0.3)	(-)
j. 生命保険	(4.6)	(2.6)
k. 個人年金保険	(1.9)	(1.5)
l. 積立型損害保険	(0.4)	(0.6)
m. クレジットカードの発行・年会費(系列会社による発行を含む)	(4.4)	(2.9)
n. 住宅ローン	(3.1)	(1.5)
o. 借入(住宅ローン以外)	(0.6)	(0.7)
p. インターネットバンキング	(3.6)	(2.3)
q. 貸金庫	(0.2)	(0.3)
r. P a y - e a s y (ペイジー)	(0.2)	(0.1)
s. デビットカード	(0.6)	(0.3)
t. ポイント加算プログラム	(1.2)	(1.0)
u. その他	(0.4)	(0.5)
v. 上記のいずれもない	(43.0)	(44.3)
無回答	(14.1)	(24.3)

最後に、あなたとご家族についておうかがいします。

F1 あなたの性別をお知らせください。(〇は1つ) (N=2,219)

(46.5) 1 男性 (53.5) 2 女性

F2 あなたの生年月(西暦)を教えてください。※最終ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。(N=2,219)

(9.4) 1930年代以前 (18.5) 1950年代 (17.0) 1970年代 (7.0) 1990年代
(19.1) 1940年代 (16.7) 1960年代 (12.3) 1980年代

F3 あなたは現在、ご結婚されていますか。(〇は1つ) (N=2,219)

(67.6)1 既婚	(20.0)2 未婚	(11.2)3 離別・死別	(1.2)無回答
------------	------------	---------------	----------

F4 現在、あなたの健康状態は良好ですか。既婚の方は配偶者についてもお答えください。配偶者のいない方は「5 配偶者はいない」をお選びください。(〇はそれぞれ1つずつ) (N=2,219)

		健康である	まあ健康である	あまり健康でない	健康でない	配偶者はいない	無回答
あなた ⇒		(46.8)	(37.6)	(9.6)	(3.7)		(2.3)
配偶者 ⇒		(32.0)	(27.3)	(5.4)	(2.3)	(21.7)	(11.3)

F5 あなた、あなた自身のご両親、配偶者(離別・死別の場合は元配偶者を含む)が最後に卒業された学校はどちらですか。(〇はそれぞれ1つずつ) (N=2,219)

	あなた	あなたの父親	あなたの母親	配偶者
a. 中学校(旧制小・高等小)	(10.6)	(31.2)	(29.0)	(8.1)
b. 高等学校(旧制中・旧制高女)	(40.4)	(28.9)	(36.3)	(29.8)
c. 専修学校・各種学校	(9.0)	(2.7)	(3.3)	(6.3)
d. 短大・高等専門学校	(12.5)	(2.7)	(7.6)	(8.8)
e. 大学・大学院(文系)	(15.9)	(9.9)	(3.2)	(12.5)
f. 大学・大学院(理系)	(7.5)	(3.9)	(0.4)	(5.9)
g. その他	(0.1)	(-)	(0.2)	(0.1)
h. わからない	(0.5)	(12.9)	(12.0)	(1.0)
無回答	(3.5)	(7.9)	(8.1)	(27.4)

F6 ご家族の生計を主として維持している方からみて、あなたは次のどの立場にあたりますか。(〇は1つ) (N=2,219)

(48.4)1 本人	(0.5)4 兄弟・姉妹	(12.5)7 子
(32.6)2 配偶者	(3.6)5 親	(0.5)8 子の配偶者
(0.3)3 内縁の妻(夫)	(0.3)6 配偶者の親	(0.1)9 その他(具体的に)
(1.3)無回答		

F7 あなたのご家庭(住居と生計をともにしている人々)は、あなたも含めて何人ですか。(別居している方は除いてお答えください。)(N=2,219)

(10.4)1人	(27.4)2人	(24.6)3人	(20.5)4人	(9.5)5人	(3.7)6人	(2.1)7人以上	(1.8)無回答
----------	----------	----------	----------	---------	---------	-----------	----------

F8 ご自身のお子さん(養子や継子を含む)は全部で何人いらっしゃいますか。生計をともにしている・していないにかかわらず、また、同居・別居に関係なくお答えください。(お子さんがいらっしゃらない場合は「0」とご記入ください。)(N=2,219)

(26.9)0人	(13.6)1人	(37.7)2人	(15.6)3人	(4.1)4人以上	(2.1)無回答	(2.1)無回答
----------	----------	----------	----------	-----------	----------	----------

【 ご自身のお子さん(養子や継子を含む)がいらっしゃる方へ 】

F9 それぞれのお子さんの状況について、①～⑤の項目にお答えください。

	1 人目(n=1,575)	2 人目(n=1,273)	3 人目 ※4人以上の場合は 末子について(n=436)
①性別(○は1つ)	(49.2)1 男 (47.2)2 女 (3.6)無回答	(48.5)1 男 (46.9)2 女 (4.6)無回答	(46.8)1 男 (39.7)2 女 (13.5)無回答
②生年月(西暦) ※最終ページ「西暦・元号 対比表」をご参照下さい。	(3.5)1950年代以前 (14.9)1990年代 (12.3)1960年代 (13.4)2000年代 (20.1)1970年代 (8.4)2010年代 (16.4)1980年代 (11.1)無回答	(2.1)1950年代以前 (14.3)1990年代 (9.9)1960年代 (13.4)2000年代 (19.6)1970年代 (8.5)2010年代 (20.5)1980年代 (11.7)無回答	(0.7)1950年代以前 (14.9)1990年代 (3.7)1960年代 (12.8)2000年代 (15.6)1970年代 (11.2)2010年代 (20.0)1980年代 (21.1)無回答
③同別居状況 (○は1つ)	(48.0)1 同居 (47.9)2 別居 (4.1)無回答	(46.7)1 同居 (48.7)2 別居 (4.6)無回答	(47.5)1 同居 (39.2)2 別居 (13.3)無回答
④健康状態 (○は1つ)	(90.2)1 おおむね良好 (4.2)2 軽い持病あり (0.3)3 重病・難病あり (1.0)4 障害あり (4.3) 無回答	(90.6)1 おおむね良好 (3.2)2 軽い持病あり (0.3)3 重病・難病あり (1.2)4 障害あり (4.7) 無回答	(82.6)1 おおむね良好 (2.8)2 軽い持病あり (0.5)3 重病・難病あり (0.9)4 障害あり (13.3) 無回答
⑤学校等教育機関 での在籍状況 (○は1つ)	(2.7)1 認可保育園 (0.3)2 認可外保育施設(認証保 育園、ベビーホテル等) (2.7)3 幼稚園 (14.6)4 小中高校(国公立) (2.7)5 小中高校(私立) (0.8)6 短大・高専 (16.8)7 大学・大学院 (1.2)8 その他教育機関 (35.0)9 該当なし (23.2) 無回答	(3.2)1 認可保育園 (0.3)2 認可外保育施設(認証保 育園、ベビーホテル等) (2.0)3 幼稚園 (14.5)4 小中高校(国公立) (2.4)5 小中高校(私立) (1.1)6 短大・高専 (14.5)7 大学・大学院 (0.7)8 その他教育機関 (36.2)9 該当なし (25.2) 無回答	(5.7)1 認可保育園 (0.5)2 認可外保育施設(認証保 育園、ベビーホテル等) (1.6)3 幼稚園 (14.9)4 小中高校(国公立) (1.8)5 小中高校(私立) (0.7)6 短大・高専 (8.7)7 大学・大学院 (1.1)8 その他教育機関 (35.3)9 該当なし (29.6) 無回答

F10 あなたは現在、どなたと一緒に住みますか。(○はいくつでも) (N=2,219)

(65.2) 1 配偶者	(4.5) 5 孫	(0.1) 9 友人・知人
(0.9) 2 内縁の夫(妻)	(21.0) 6 あなたの親	(0.2) 10 その他
(35.7) 3 未婚の子ども	(5.5) 7 配偶者の親	(具体的に)
(8.1) 4 既婚の子ども	(7.8) 8 その他の親族	(9.6) 11 いない(自分1人だけ)

(2.4)無回答

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。